

平成 20 年版

救急・救助の現況

総務省消防庁

は　じ　め　に

消防機関の行う救急業務は、昭和 38 年に法制化されて以来、我が国社会経済活動の進展に伴って年々その体制が整備され、現在、国民の生命・身体を守る上で不可欠な業務として定着している。平成 19 年中の救急出場件数については、過去最高の 529 万 3,403 件(対前年 5 万 2,925 件増)となり、救急搬送人員は、490 万 5,749 人(対前年 1 万 421 人増)となっている。こうした背景を受け現場到着平均時間も遅延傾向にあり、平成 19 年においては 7.0 分であり、この傾向が続いた場合、救命率の低下等が懸念されるところである。

このような状況の中、消防庁では、より質の高い救急業務を実施するため、引き続き、救急業務の高度化や、救急需要対策などに取り組んでいる。救急業務の高度化については、救急救命士の処置範囲の拡大について、平成 15 年 4 月から医師の包括的指示下での除細動、平成 16 年 7 月から医師の具体的指示下での気管挿管、平成 18 年 4 月からは医師の具体的指示下における薬剤(アドレナリン)投与が開始されるなど、近年大きな発展をみている。また、平成 16 年 7 月に非医療従事者による自動体外式除細動器(AED)の使用が認められたことを受け、救急隊員、一般消防職員による自動体外式除細動器(AED)の使用に係る実施体制の整備も順次進められ、救命率の向上に寄与している。

救急需要対策に関しては、トリアージの導入の検討や民間患者搬送事業者の活用などを通じ、消防救急体制を効果的かつ効率的に運用する方策について検討を重ねている。

また、傷病者に対する救命効果の向上のためには、現場に居合わせた人(バイスタンダー)による応急手当が重要であることから、消防庁においては、国際的な応急手当のガイドラインに基づいて、より効果的な応急手当の方法を取り入れつつ、住民に対する応急手当の普及啓発活動を推進している。消防機関による応急手当講習の受講者は、平成 19 年中に 150 万人を超えるなど、消防機関は住民に対する応急手当普及啓発の代表的機関となっている。

今後とも国民の救急業務に対する期待と信頼に的確に応えるため、消防庁としても、更なる救急業務の高度化を総合的・計画的に推進していくこととしている。

救助活動については、平成 20 年 4 月 1 日現在、全国の消防本部の 96.9%に当たる 782 本部に救助隊が配置されており、平成 19 年中の救助活動件数は 5 万 2,183 件、救助人員は 5 万 6,039 人に達している。

大規模災害や特殊な災害に対し、救助体制のより一層の強化を図るため、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令(昭和 61 年自治省令第 22 号)」を改正し(平成 19 年 10 月 1 日施行)、新たに特別高度救助隊及び高度救助隊の整備を行うこととし、高度救助隊には従来の救助器具に加え高度救助用器具を、特別高度救助隊には高度救助隊が備える資機材に加え、特殊災害対応自動車並びに地域実情に応じてウォーターカッター及び大型プロアーをそれぞれ備えるものとした。

さらに、消防庁として特別高度救助隊の装備の充実を図るため、平成18年度にウォーターカッター車及び大型プロア一車の各1台を5セット整備し、特別高度救助隊を配置する主要都市に配備した。平成20年度にはウォーターカッターと大型プロアーの装備を備えた特別高度工作車を更に5台整備し配備する。

特別高度救助隊及び高度救助隊は、専門的かつ高度な救助技術に関する知識・技術を兼ね備えた隊員で構成することとし、この高度救助隊員等の教育を平成18年度から消防大学校のカリキュラムに取り入れた。平成19年11月には「人命の救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた隊員」の対象となる教育訓練について定めた。

国際消防救助隊については、昭和61年4月の発足から平成20年5月の中国四川省における大地震災害の派遣まで、計16回の海外派遣実績を有しており、その高度な知識及び技術を用いた救助活動に対しては、被災国より高い評価が寄せられている。消防庁では、現在62消防本部、599人の隊員を登録し、被災国からの要請に応じ、速やかに国際消防救助隊を現地に派遣することができるよう体制の充実強化を図っている。

航空消防防災体制については、45都道府県域に72機（総務省消防庁保有1機を含む）の消防防災ヘリコプターが配備されている。

消防防災ヘリコプターは、消防防災業務に幅広く活用され、出動件数は増加傾向にあり、平成19年中の出動実績は、火災出動1,238件、救助出動1,720件、救急出動3,167件、その他224件で、総出動件数は6,349件となっている。特に、救急出動が年々増加しており、総出動件数の約半数（49.8%）を占めるに至っている。

消防防災ヘリコプターは、山間部、離島等における救急活動等に極めて有効であることから、今後とも、計画的な整備、積極的な活用と安全かつ効果的な運航を推進していくこととしている。

平成21年1月

目 次

はじめに

I 救急編

第1 救急業務実施体制の現状	5
1 消防本部	5
2 救急業務実施市町村	5
(1) 概要	5
(2) 実施率、実施形態	6
3 救急隊、救急隊員、救急自動車等	7
(1) 救急隊	7
(2) 救急隊員	7
(3) 救急自動車	12
4 交通事故に対する救急体制	14
5 高速自動車国道、瀬戸中央自動車道、神戸淡路鳴戸自動車道における 救急業務	14
6 救急業務の実施体制のない地域における補完体制	17
第2 救急業務の実施状況	18
1 救急出場件数及び搬送人員	18
2 救急自動車による事故種別出場件数及び搬送人員	20
3 救急自動車による医療機関別搬送人員の状況	29
4 救急自動車による傷病程度別搬送人員の状況	32
5 救急自動車による急病に係る搬送人員の状況	34
6 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数 及び収容所要時間別搬送人員の状況	37
(1) 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数の状況	37
(2) 救急自動車による収容所要時間別搬送人員の状況	38
7 救急自動車による転送の状況	39
8 救急自動車による覚知時刻別搬送人員の状況	40
9 医師の現場出場の状況	40
10 救急隊員の行った応急処置等の状況	41
11 応急手当の普及啓発活動等の状況及び応急手当の救命効果	45
(1) 応急手当の普及啓発活動等の状況	45
(2) 応急手当の救命効果	46
第3 救急医療体制等	49
1 救急医療機関	49
2 メディカルコントロール体制の構築と 救急救命処置範囲の拡大について	49
別表1 救急業務実施市町村数	52
別表2 救急業務実施市町村人口	53

別表3の1 都道府県別救急体制	54
別表3の2 資格別救急隊員数調	55
別表4 救急自動車による都道府県別事故種別救急出場件数	56
別表5 救急自動車による都道府県別事故種別救急搬送人員	58
別表6 医療機関別搬送人員の状況	60
別表7の1 現場到着所要時間別出場件数の状況	62
別表7の2 同(構成比)	63
別表8の1 収容所要時間別搬送人員の状況	64
別表8の2 同(構成比)	65
別表9 覚知時刻別事故種別搬送人員の状況	66
別表10 応急手当普及啓発活動状況	67
別表11 応急手当指導員養成状況	68
別表12 都道府県別経営主体別救急病院及び診療所告示状況一覧表	69

II 救 助 編

第1 救助活動体制の現状	75
1 救助隊の範囲	75
2 救助隊の設置状況	75
3 救助隊及び救助隊員	79
第2 救助活動の状況	81
1 救助活動の範囲	81
2 救助活動状況の概要	82
3 事故種別救助活動状況	82
4 救助出動人員及び救助活動人員	84
5 火災以外の事故時における出動車両等	85
第3 機械器具等の保有状況	87
1 救助活動のための車両	87
2 救助活動のための機械器具等	88
第4 救助隊員の教育訓練の実施状況	89
第5 国際消防救助隊の活躍	90
別表1 都道府県別救助体制	92
別表2 都道府県別救助隊数、救助隊員数	94
別表3 都道府県別事故種別救助出動件数	95
別表4 都道府県別事故種別救助活動件数	96
別表5 都道府県別事故種別救助人員	97
別表6 都道府県別事故種別救助出動人員	98
別表7 都道府県別事故種別救助活動人員	100
別表8 救助活動のための主な資機材の保有状況(省令別表第1)	102
別表9 救助活動のための主な資機材の保有状況(省令別表第2)	103
別表10 救助活動のための主な資機材の保有状況	

[省令別表第1(地域の実情に応じ備えるもの)]	104
別表1 1 救助活動のための主な資機材の保有状況 (省令別表第3)	105
別表1 2 救助活動に使用する車両等台数	106

III 航 空 編

ヘリコプターによる救急・救助業務	109
1 消防防災ヘリコプターの保有状況	109
2 消防防災ヘリコプターの災害活動状況	110
3 消防防災ヘリコプターによる救急業務実施状況	111
(1) 救急出動件数	111
(2) 事故種別救急出動件数	112
4 消防防災ヘリコプターによる救助業務実施状況	113
(1) 救助出動件数	113
(2) 事故種別救助出動件数	113

I 救急編

◎ 平成20年4月1日現在の救急業務実施体制

○ 消防本部数	807 本 部
	(単独 491本部、組合 316本部)
○ 救急業務実施市町村数	1,753 市町村
	(784市、 801町、 168村)
・ 救急隊数	4,871 隊
・ 救急隊員数	59,222 人
・ 救急自動車数	5,899 台
○ 救急業務未実施町村数	36 町村

(注) 東京都特別区は全体を1市として計上している。以下同じ。

◎ 平成19年中の救急業務実施状況

○ 救急出場件数 (ヘリコプターによる出場を含む。)	529万3,403 件
○ 搬送人員 (ヘリコプターによる搬送を含む。)	490万5,749 人
○ 交通事故による救急出場件数	60万1,931 件
○ 交通事故による搬送人員	62万7,702 人

参 考(警察庁交通事故統計)

・ 全国の交通事故件数	83万2,454 件
・ 交通事故による死者	5,744 人
・ 交通事故による負傷者	103万4,445 人

第1 救急業務実施体制の現状

1 消防本部

消防本部数は平成20年4月1日現在807本部で、全ての消防本部において救急業務が実施されている。

第1表 消防本部数の推移

区分	年 平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
単 独	422	427	463	482	487	491
組 合	472	459	385	329	320	316
計	894	886	848	811	807	807

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

2 救急業務実施市町村

(1) 概要

市町村合併の進展により全市町村数が大幅に減少したことなどに伴い、消防本部・署を設置して救急業務を実施している市町村及びこれらの市町村に委託して救急業務を実施している市町村(以下「救急業務実施市町村」という。)は、平成20年4月1日現在1,753市町村(784市、801町、168村)と、前年に比較し16市町村減少しているが、全国の1,789市町村のうち98.0%において救急業務が実施されている。(別表1参照)

第2表 救急業務実施市町村数の推移

区分	年 平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年
実施 市町村数	3,136	3,048	2,352	1,784	1,769	1,753
対前年 増減数	▲26	▲88	▲ 696	▲ 568	▲ 15	▲ 16
対前年 増減率(%)	▲0.8	▲2.8	▲ 22.8	▲ 24.1	▲ 0.8	▲ 0.9

(注) 実施市町村数は各年とも4月1日現在の数値である。

(2) 実施形態

救急業務実施市町村の中には人口規模、事故の発生状況、地域の地理的条件等から市町村ごとに単独で実施するよりも複数市町村が共同で実施した方がより効果的であるとの理由で、事務委託又は一部事務組合(広域連合を含む。以下同じ。)による広域的共同処理方式により実施している市町村が多い。救急業務を実施している 1,753 市町村のうち、事務委託方式による市町村が 135 市町村(7.7%)、一部事務組合方式による市町村が 1,127 市町村(64.3%)となっており、広域的共同処理方式によるものが、全体の 72.0% を占めている。(別表 1 参照)

第3表 救急業務実施状況の推移

	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年
全市町村数	3,191	3,101	2,396	1,821	1,805	1,789
救急業務 実施市町村	3,136 (98.3)	3,048 (98.3)	2,352 (98.2)	1,784 (98.0)	1,769 (98.0)	1,753 (98.0)
うち 事務委託方式	209	202	169	132	134	135
うち 一部事務組合方式	2,505	2,419	1,719	1,170	1,148	1,127
救急業務 未実施市町村	55	53	44	37	36	36

(注) 1 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。

2 ()内の数値は割合(単位%)を示す。

3 東京都特別区は 1 市として計上している。

3 救急隊、救急隊員、救急自動車等

(1) 救急隊

救急隊は、平成20年4月1日現在、救急業務を実施している1,753市町村に4,871隊設置されており、前年の4,846隊に比べて25隊(0.5%)増加している。(第4表参照)

このうち救急救命士運用隊数は、4,310隊であり、前年の4,181隊に比べて129隊(3.1%)増加している。救急救命士運用隊の割合は、全救急隊の88.5%(前年比2.2%増)を示し、着実に増加している。

(第7の1表、第7の2図及び第7の3表参照)

第4表 救急隊数の推移

区分	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年
救急隊数	4,649	4,711	4,751	4,779	4,846	4,871
対前年 増減数	53	62	40	28	67	25
対前年 増減率(%)	1.2	1.3	0.8	0.6	1.4	0.5

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

(2) 救急隊員

救急隊員数は平成20年4月1日現在、全国で5万9,222人(うち、女性隊員は712人(1.2%))で、前年の5万9,216人に比べて6人(0.01%)増加している。救急隊員のうち救急業務のみに専従している専任隊員は1万9,836人(33.5%)で、このうち女性は529人、一方、救急業務以外の消防業務を兼務している兼任隊員は、3万9,386人(66.5%)で、このうち女性は183人となっている。(第5の1表、第6図及び別表3参照)

また、消防職員のうち、救急隊員としての資格を有している職員は、平成20年4月1日現在で、11万2,185人(前年10万9,452人)で、このうち女性は1,401人である。(第5の3表参照)

なお、救急隊員の行う応急処置等の範囲の拡大に対応した、救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む)及び旧救急II課程修了者は、それぞれ3万6,898人(うち女性625人)、3万7,129人(うち女性165人)となっている。このうち救急隊員は、救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む)2万0,180人(うち女性240人)、旧救急II課程修了者1万7,635人(うち女性45人)となっている。

平成 20 年 4 月 1 日現在、救急救命士の資格を有する消防職員数は、2 万 1,840 人であり、このうち 1 万 9,245 人が 806 消防本部で救急救命士として運用されている。(第 5 の 1 表から第 7 の 4 図参照)

第 5 の 1 表 救急隊員の資格状況

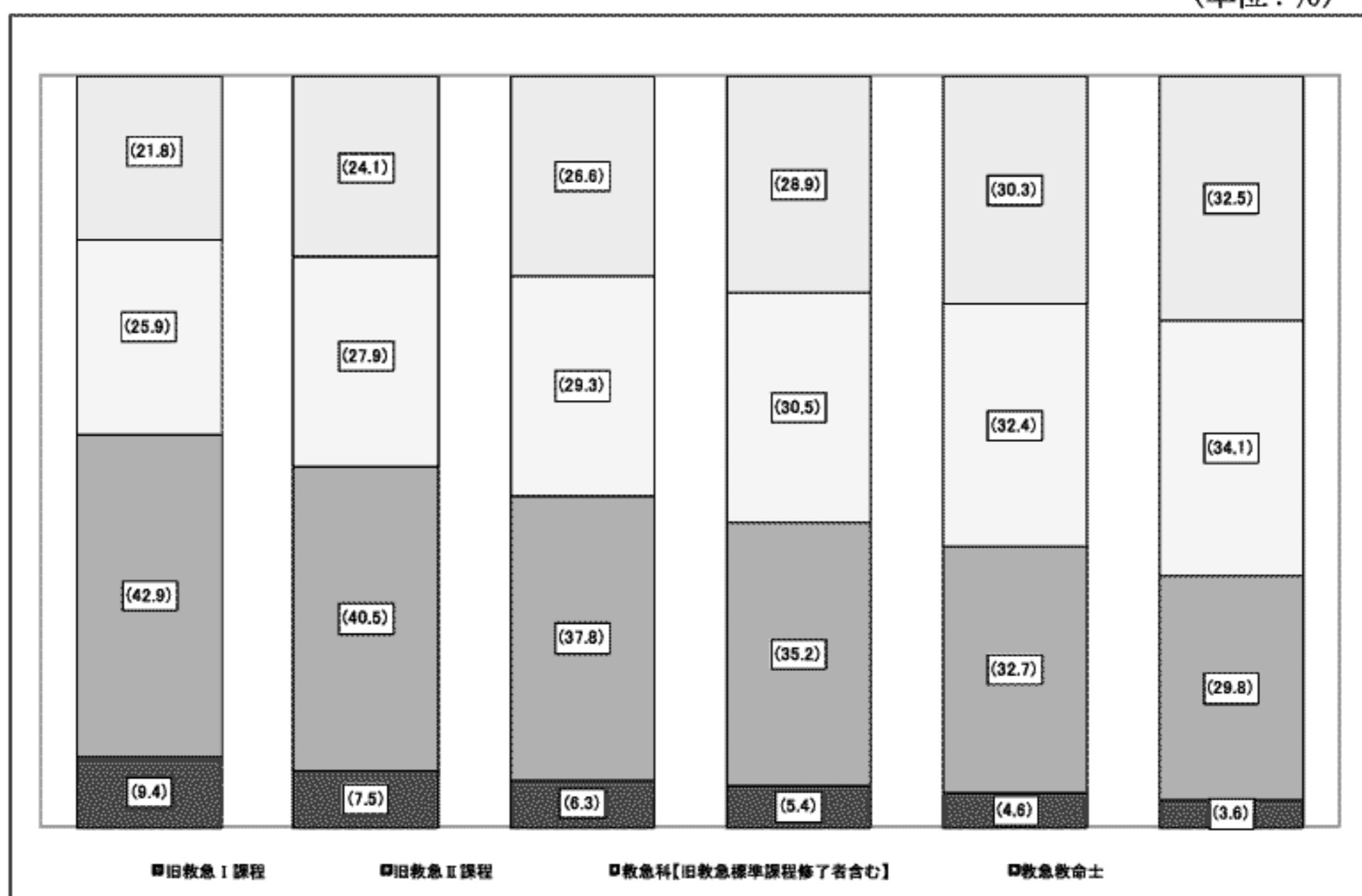
(単位:人)

区分	年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成19年～20年 増減数
旧救急 I 課程 (うち女性)		5,473 (4)	4,337 (6)	3,661 (6)	3,189 (2)	2,764 (0)	2,162 (5)	▲ 602 (5)
旧救急 II 課程 (うち女性)		24,845 (43)	23,441 (47)	21,913 (52)	20,612 (62)	19,385 (57)	17,635 (45)	▲ 1,750 (▲ 12)
救急科【旧救急標準課程修了者含む】 (うち女性)		14,984 (141)	16,203 (189)	16,998 (186)	17,823 (205)	19,157 (214)	20,180 (240)	1,023 (26)
救急救命士 (うち女性)		12,666 (120)	13,955 (151)	15,394 (205)	16,886 (277)	17,910 (342)	19,245 (422)	1,335 (80)
救急隊員総数 (うち女性)		57,968 (308)	57,936 (393)	57,966 (449)	58,510 (546)	59,216 (613)	59,222 (712)	6 (99)

(注) 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。

第 5 の 2 図 救急隊員の資格状況の割合

(単位: %)



(注) 各年とも 4 月 1 日現在の割合である

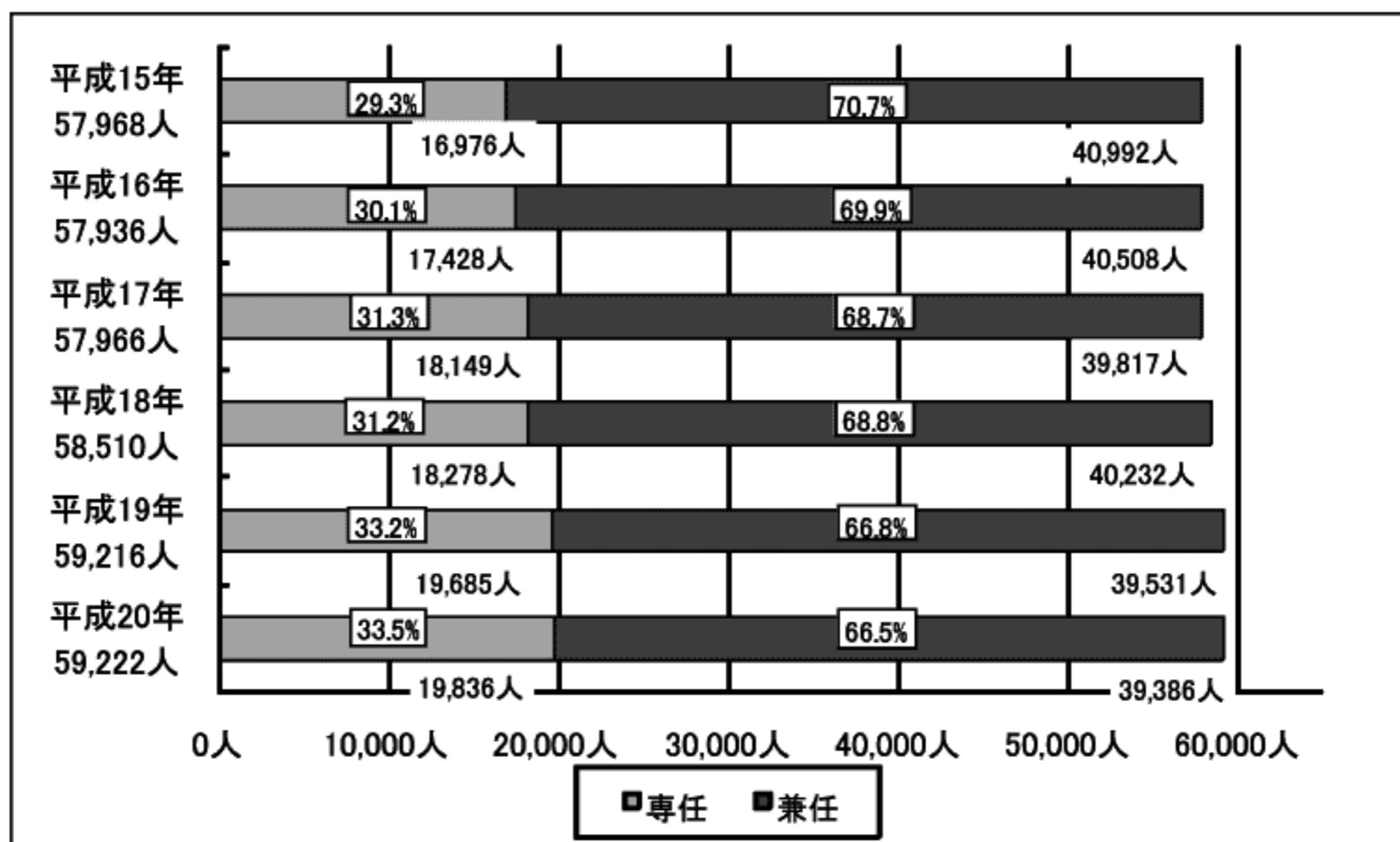
第5の3表 消防職員の救急資格の状況

(単位：人)

区分	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成19年～ 20年 増減
旧救急I課程 (うち女性)	24,958 (47)	23,137 (42)	21,134 (44)	20,926 (39)	18,008 (67)	16,318 (40)	▲ 1,690 ▲ (27)
旧救急II課程 (うち女性)	41,085 (126)	40,545 (152)	39,894 (171)	39,418 (179)	38,136 (171)	37,129 (165)	▲ 1,007 ▲ (6)
救急科【救急標準課程修了者を含む】 (うち女性)	22,012 (285)	24,564 (344)	26,894 (396)	29,847 (472)	33,240 (527)	36,898 (625)	3,658 (98)
救急救命士 (うち女性)	13,728 (158)	15,303 (199)	17,091 (282)	18,866 (370)	20,068 (456)	21,840 (571)	1,772 (115)
救急隊員資格者 (うち女性)	101,783 (616)	103,549 (737)	105,013 (893)	109,057 (1060)	109,452 (1221)	112,185 (1401)	2,733 (180)

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第6図 救急隊員の専任・兼任状況の推移



第7の1表 都道府県別の救急救命士運用状況

(平成20年4月1日現在)

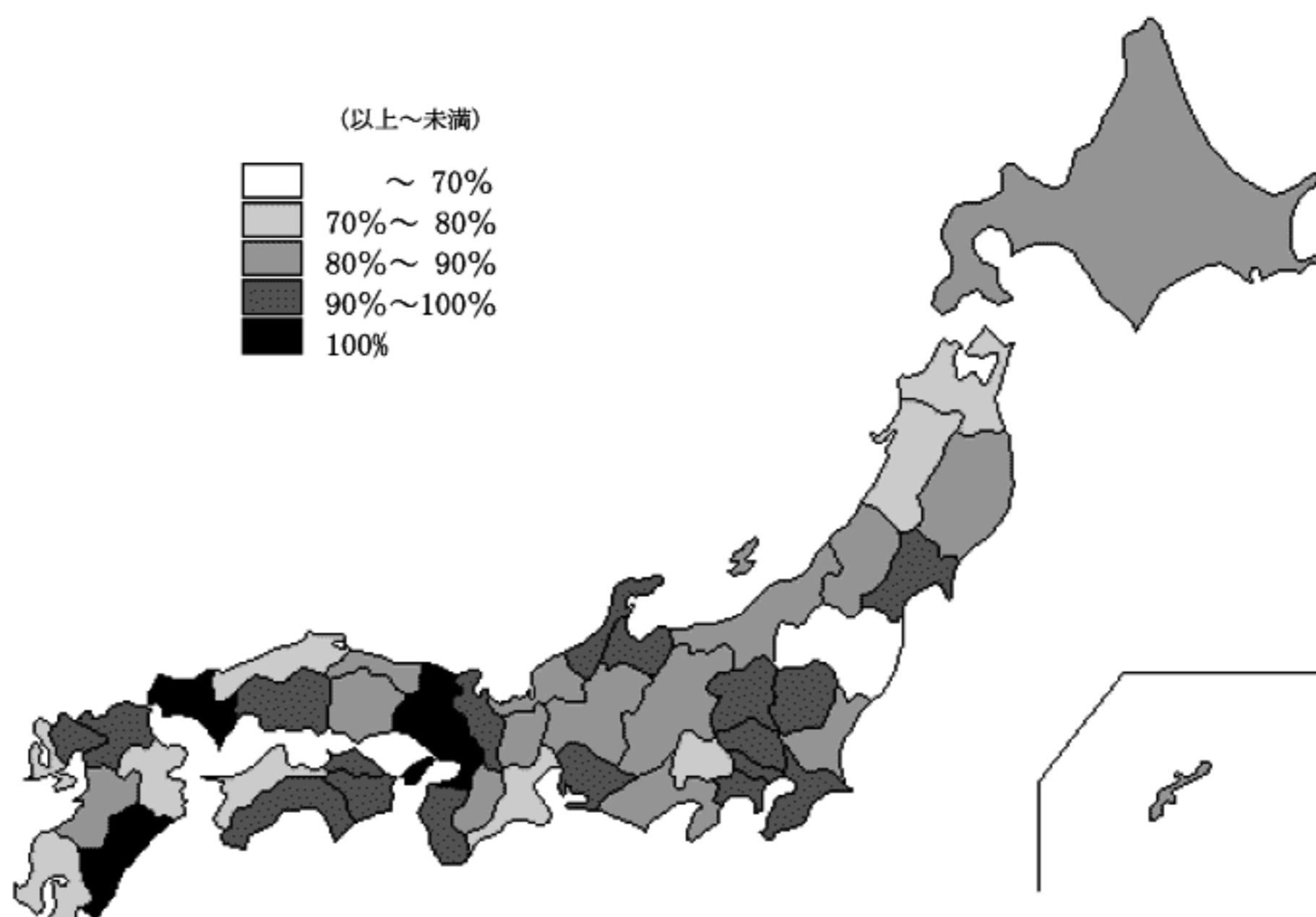
県名	救急隊					救急隊員			
	救急隊 総数 (a)	うち救命士 運用隊数 (b)	比 率 (b)/(a)	うち救命士 常時運用隊 (c)	比 率 (c)/(a)	総 数 (a)	救命士 有資格者 (b)	うち運用 救命士 (c)	比 率 (c)/(b)
北海道	305	255	83.6%	212	69.5%	4,497	1,440	1,315	91.3%
青森	87	69	79.3%	52	59.8%	1,212	274	251	91.6%
岩手	82	73	89.0%	55	67.1%	1,228	285	281	98.6%
宮城	85	79	92.9%	70	82.4%	911	321	317	98.8%
秋田	74	52	70.3%	43	58.1%	893	222	213	95.9%
山形	60	52	86.7%	38	63.3%	853	191	185	96.9%
福島	118	70	59.3%	52	44.1%	1,476	275	267	97.1%
茨城	147	130	88.4%	83	56.5%	2,336	446	418	93.7%
栃木	82	80	97.6%	78	95.1%	979	317	303	95.6%
群馬	93	84	90.3%	49	52.7%	950	277	264	95.3%
埼玉	212	202	95.3%	150	70.8%	2,196	845	829	98.1%
千葉	207	195	94.2%	165	79.7%	2,028	725	675	93.1%
東京	237	235	99.2%	235	99.2%	2,142	1,246	1,245	99.9%
神奈川	204	203	99.5%	202	99.0%	1,818	1,018	1,010	99.2%
新潟	132	106	80.3%	88	66.7%	1,651	402	389	96.8%
富山	55	52	94.5%	41	74.5%	600	221	214	96.8%
石川	47	46	97.9%	32	68.1%	667	205	194	94.6%
福井	49	42	85.7%	28	57.1%	474	148	145	98.0%
山梨	54	38	70.4%	27	50.0%	614	169	157	92.9%
長野	113	96	85.0%	69	61.1%	1,747	440	422	95.9%
岐阜	124	102	82.3%	74	59.7%	1,426	339	315	92.9%
静岡	131	113	86.3%	88	67.2%	1,402	423	403	95.3%
愛知	216	214	99.1%	203	94.0%	3,027	983	963	98.0%
三重	99	75	75.8%	55	55.6%	1,629	277	262	94.6%
滋賀	58	52	89.7%	51	87.9%	833	245	230	93.9%
京都	80	73	91.3%	71	88.8%	1,090	395	376	95.2%
大阪	209	209	100.0%	207	99.0%	2,451	1,167	1,110	95.1%
兵庫	179	179	100.0%	174	97.2%	2,116	1,005	925	92.0%
奈良	62	51	82.3%	43	69.4%	900	244	226	92.6%
和歌山	66	61	92.4%	49	74.2%	802	290	272	93.8%
鳥取	31	25	80.6%	22	71.0%	516	122	117	95.9%
島根	65	46	70.8%	32	49.2%	701	174	165	94.8%
岡山	99	85	85.9%	65	65.7%	1,786	312	293	93.9%
広島	127	116	91.3%	114	89.8%	1,218	544	539	99.1%
山口	69	69	100.0%	63	91.3%	890	272	258	94.9%
徳島	40	36	90.0%	27	67.5%	576	149	147	98.7%
香川	42	38	90.5%	33	78.6%	420	174	168	96.6%
愛媛	76	57	75.0%	51	67.1%	705	244	232	95.1%
高知	46	45	97.8%	34	73.9%	679	196	185	94.4%
福岡	143	133	93.0%	105	73.4%	1,527	574	516	89.9%
佐賀	42	40	95.2%	40	95.2%	545	170	165	97.1%
長崎	73	55	75.3%	46	63.0%	694	225	216	96.0%
熊本	91	73	80.2%	41	45.1%	939	279	248	88.9%
大分	58	41	70.7%	38	65.5%	660	193	188	97.4%
宮崎	38	38	100.0%	38	100.0%	502	182	161	88.5%
鹿児島	105	74	70.5%	57	54.3%	996	303	292	96.4%
沖縄	59	51	86.4%	41	69.5%	920	297	270	90.9%
合計	4,871	4,310	88.5%	3,631	74.5%	59,222	19,245	18,336	95.3%

(注) 「救命士運用隊」とは、特定行為に必要な資器材を積載する救急自動車に救急救命士の資格を持つ救急隊員が乗車し、医師からの指示体制を整えている救急隊をいう。

「救命士常時運用隊」とは、常に救急救命士が乗車している救急隊をいう。

第7の2図 都道府県別全救急隊のうち救急救命士運用隊の占める割合

(平成20年4月1日現在)



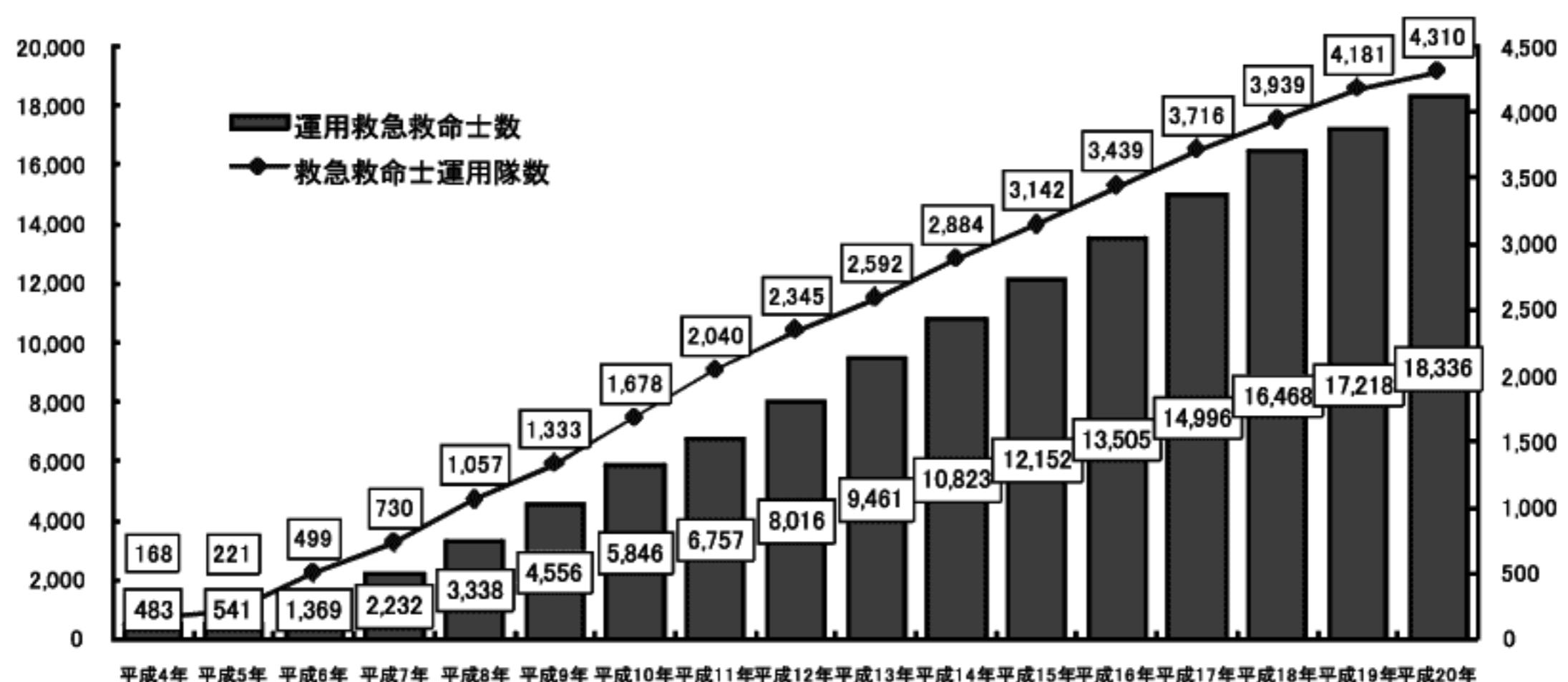
第7の3表 救急救命士の運用推移

項目 年	本部数	救命士が 救急業務に 従事して いる本部数	割合 (%)	救急隊数	救命士が 救急業務に 従事して いる隊数	割合 (%)
平成11年	911	751	82.4	4,553	2,040	44.8
平成12年	907	792	87.3	4,582	2,345	51.2
平成13年	904	842	93.1	4,563	2,592	56.8
平成14年	900	862	95.8	4,596	2,884	62.8
平成15年	894	866	96.9	4,649	3,142	67.6
平成16年	886	876	98.9	4,711	3,439	73.0
平成17年	848	843	99.4	4,751	3,716	78.2
平成18年	811	810	99.9	4,779	3,939	82.4
平成19年	807	806	99.9	4,846	4,181	86.3
平成20年	807	806	99.9	4,871	4,310	88.5

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第7の4図 運用救急救命士・救急救命士運用隊数の推移

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。



(3) 救急自動車

救急自動車の保有台数は非常用を含め5,899台で、前年の5,875台に比べて24台(0.4%)増加している。(第8の1表及び別表3の1参照)

また、救急自動車の保有台数のうち、高規格救急自動車の台数は、4,503台となっている。

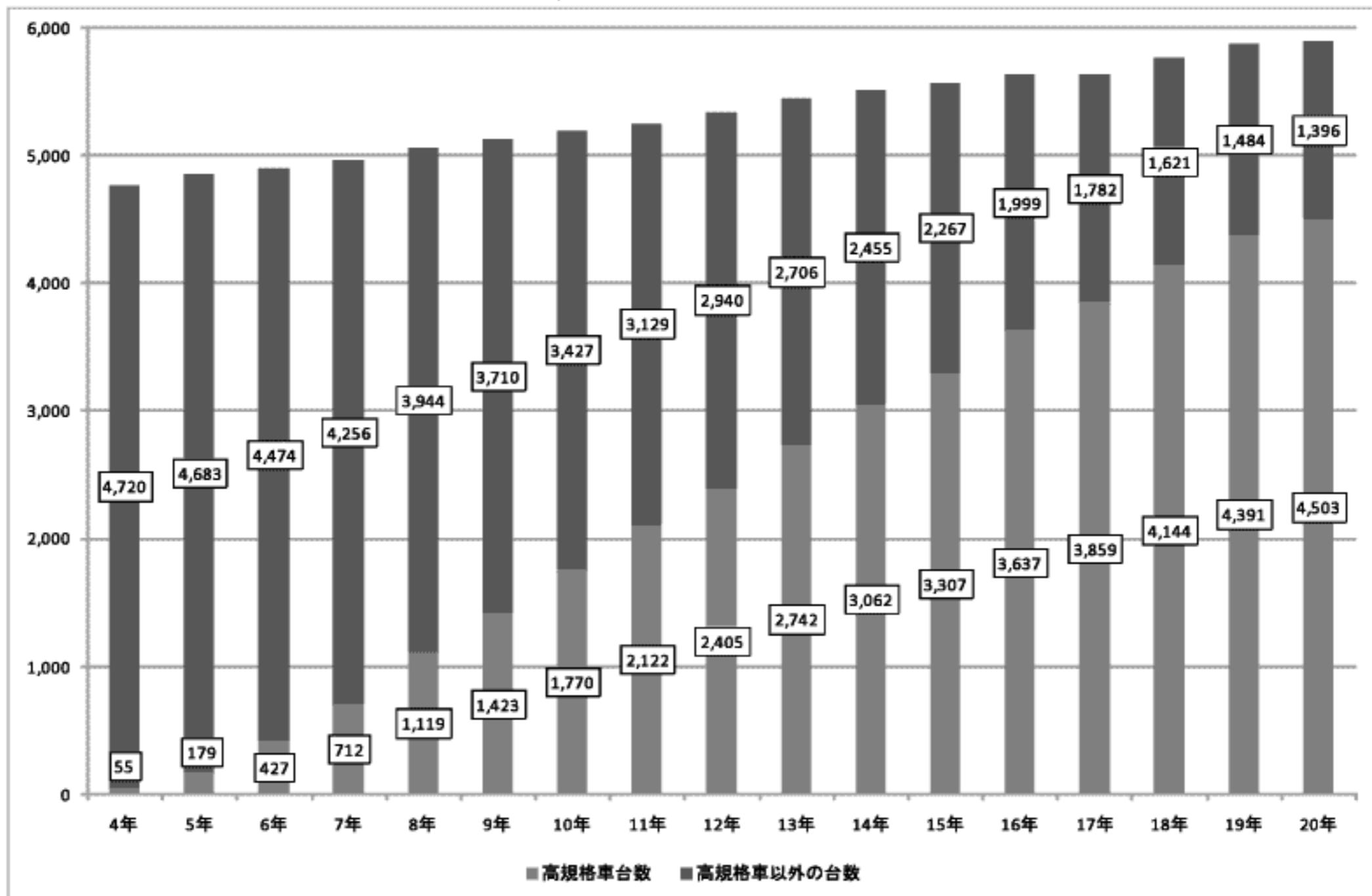
救急自動車については、交通安全対策特別交付金を含む一般財源、国庫補助金又は民間団体からの寄贈により整備を図っている。

第8の1表 救急自動車保有台数の推移

年 区分	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年
救急自動車数 (高規格車数)	5,251 (2,122)	5,345 (2,405)	5,448 (2,742)	5,517 (3,062)	5,574 (3,307)	5,636 (3,637)	5,641 (3,859)	5,765 (4,144)	5,875 (4,391)	5,899 (4,503)
対前年増減 (高規格車数)	54 (352)	94 (283)	103 (337)	69 (320)	57 (245)	62 (330)	5 (222)	124 (285)	110 (247)	24 (112)
対前年増減率(%) (高規格車数)	1.0 (19.9)	1.8 (13.3)	1.9 (14.0)	1.3 (11.7)	1.0 (8.0)	1.1 (10.0)	0.1 (6.1)	2.2 (7.4)	1.9 (6.0)	0.4 (2.6)

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第8の2図 高規格救急車と救急自動車の推移



(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

4 交通事故に対する救急体制

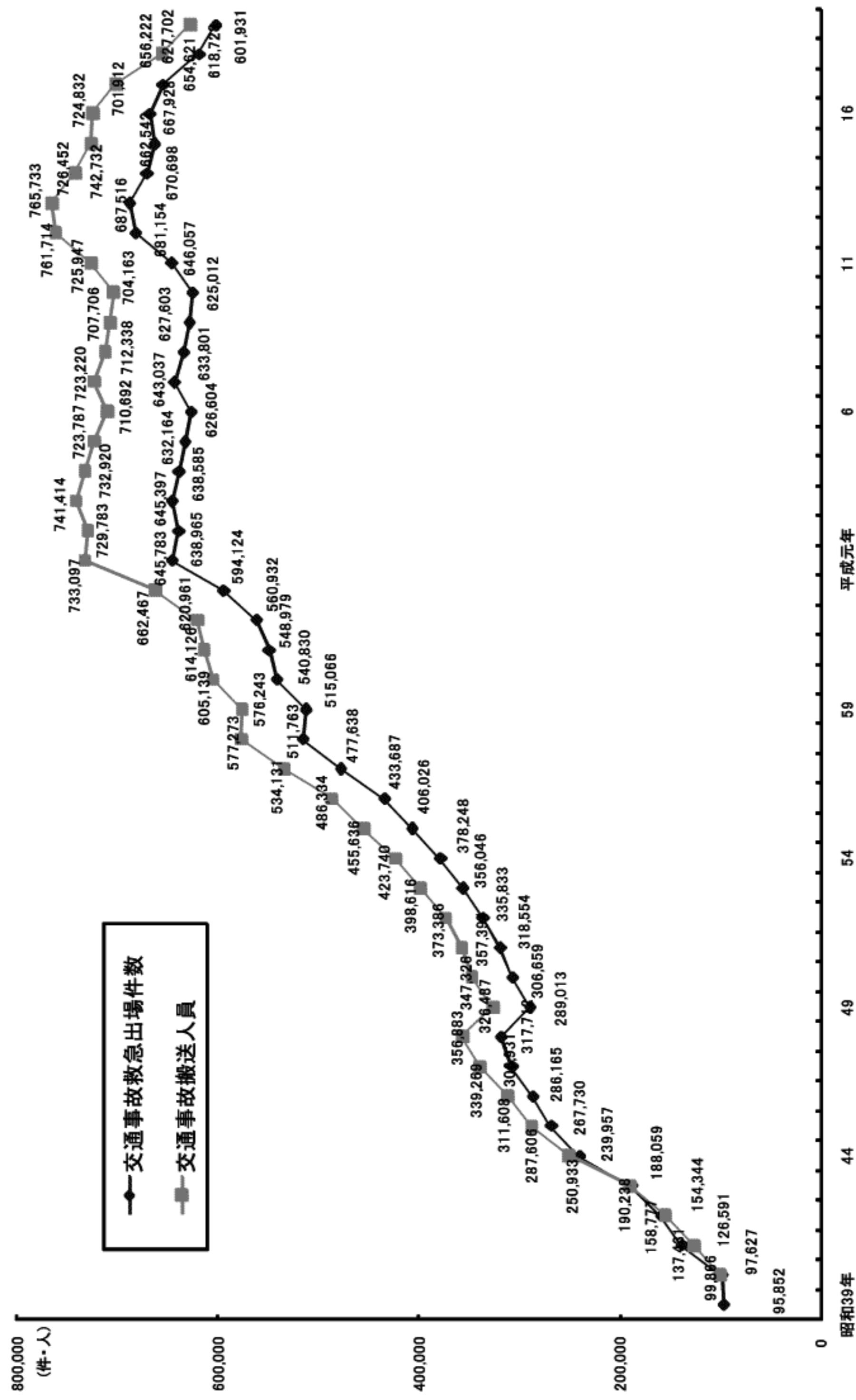
消防庁の救急に関する統計の交通事故(警察庁の交通事故統計による交通事故を含んだすべての交通機関相互の衝突及び接触又は单一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故を対象)に対する救急出場件数は、平成元年からはしばらく横ばいの傾向にあり、平成11年以降に増加、平成14年からは減少傾向にある。なお、交通事故による救急出場件数は昨年より16,792件(2.7%)減少している。(第9図及び第10図参照)

警察庁の交通事故統計による全国の交通事故発生件数(道路交通法に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた人身事故を対象)は、昭和44年頃に急激に増加し、その後、年々減少した後、昭和53年以降再び増加の傾向を示し、平成12年からは横ばいであったが、平成17年以降は減少傾向に転じている。(第10図参照)。

5 高速自動車国道、瀬戸中央自動車道、神戸淡路鳴戸自動車道における救急業務

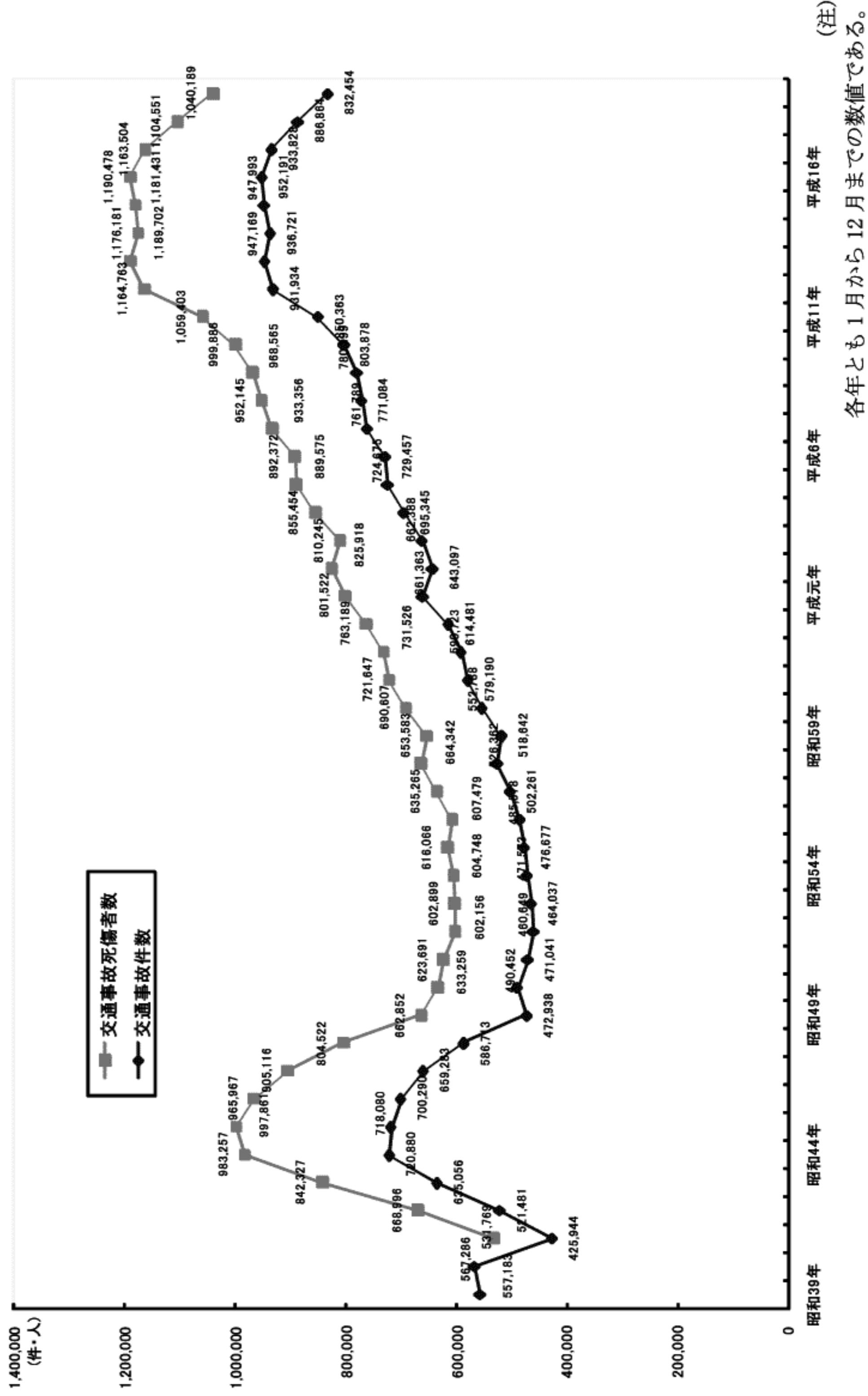
平成20年4月末現在における高速道路供用延長は、7,658kmとなり、全ての区間の救急業務を市町村の消防機関が行っている。
(第11表参照)

第9図 消防庁の救急統計による交通事故救急出場件数及び交通事故搬送人員の推移



(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

第10図 警察庁の交通事故統計による交通事故件数及び交通事故死傷者数の推移



第11表 高速自動車国道等の年次別供用延長距離

年 区分	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
距離(km)	7,470	7,490	7,515	7,548	7,658

(注)各年とも4月末の数値である。

平成19年中の高速自動車国道等上における死傷者を伴う事故(以下「死傷事故」という。)の発生件数は6,282件(前年6,851件)、死傷者数は1万1,040人(前年1万1,790人)であり、死傷事故1件あたりの死傷者数は1.8人(前年1.7人)となり、高速自動車国道等における1kmあたりの死傷事故発生件数は0.8件(前年0.9件)となっている。(警察庁調べ)

高速自動車国道等の救急業務を実施している消防本部は、全国807消防本部の49.9%にあたる403本部となっている。これらの消防本部の高速自動車国道等への救急出場件数は、平成19年中9,331件となっている。(第12表参照)

第12表 高速自動車国道等における救急出場件数及び搬送人員の推移

年 区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
出場件数	9,972	9,973	9,657	9,720	9,331
搬送人員	11,355	11,003	10,301	10,258	9,789

(注) 各年とも1月から12までの数値である。

6 救急業務の実施体制のない地域における補完体制

救急業務の実施体制のない地域においては、役場内に救急自動車を置き役場の職員が救急患者の搬送を実施する「役場救急」や、病院や診療所に救急車を置いて役場の職員などにより救急患者の搬送を実施する「病院(診療所)救急」という補完体制を整備しているところがある。

平成20年4月1日現在において救急業務を実施していない36町村(全市町村1,789市町村の2.0%)のうち、31町村が役場救急、1村が病院救急、1村が診療所救急、3町が役場救急・病院救急を併用して実施している。

(別表1参照)

第2 救急業務の実施状況

1 救急出場件数及び搬送人員

平成19年中における全国の救急業務実施状況をみると、救急出場件数は、ヘリコプターによる件数も含め、529万3,403件（対前年比5万2,925件増、対前年比1.0%増）、搬送人員は490万5,749人（対前年比1万421人増、対前年比0.2%増）である。

また、救急自動車による出場件数は、全国で1日平均1万4,494件（前年1万4,350件）であり、6.0秒に1回（前年6.0秒に1回）の割合で救急隊が出場し、国民の26人に1人（前年26人に1人）が救急隊によって搬送されたこととなる。

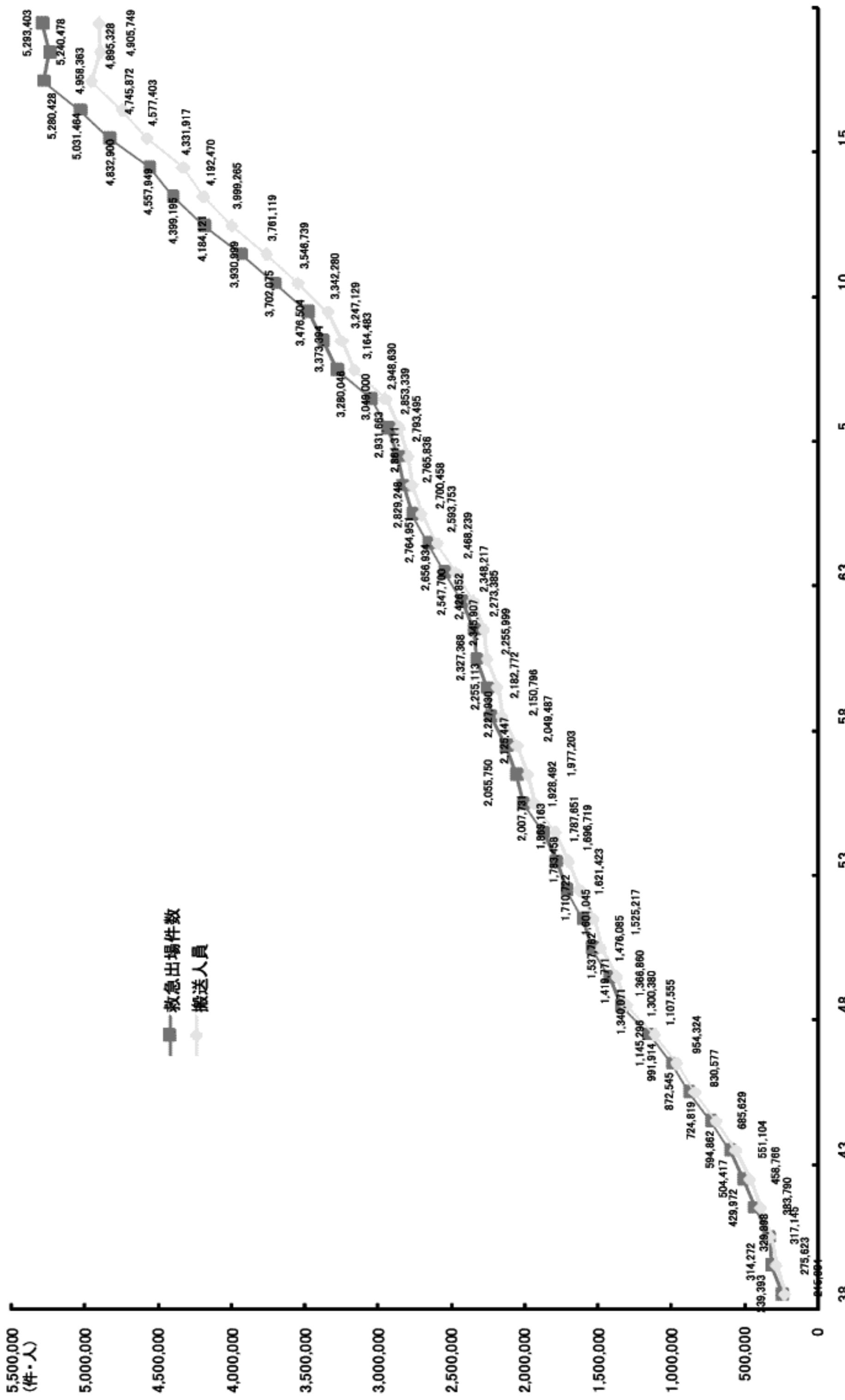
（第13の1表、第13の2図、別表4及び別表5参照）

第13の1表 救急出場件数及び搬送人員の推移

区分	救急出場件数			増加数 前年比 (%)	搬送人員			増加数 前年比 (%)		
	全出場件数		増加数 前年比 (%)		全搬送人員					
	うち 救急車に よる 件数	うち ヘリに よる 件数			うち 救急車に よる 人員	うち ヘリに よる 人員				
平成10年	3,702,075	3,701,315	760	225,571 (6.5)	3,546,739	3,545,975	764	204,459 (6.1)		
平成11年	3,930,999	3,930,024	975	228,924 (6.2)	3,761,119	3,759,996	1,123	214,380 (6.0)		
平成12年	4,184,121	4,182,675	1,446	253,122 (6.4)	3,999,265	3,997,942	1,323	238,146 (6.3)		
平成13年	4,399,195	4,397,527	1,668	215,074 (5.1)	4,192,470	4,190,897	1,573	193,205 (4.8)		
平成14年	4,557,949	4,555,881	2,068	158,754 (3.6)	4,331,917	4,329,935	1,982	139,447 (3.3)		
平成15年	4,832,900	4,830,813	2,087	274,951 (6.0)	4,577,403	4,575,325	2,078	245,486 (5.7)		
平成16年	5,031,464	5,029,108	2,356	198,564 (4.1)	4,745,872	4,743,469	2,403	168,469 (3.7)		
平成17年	5,280,428	5,277,936	2,492	248,964 (4.9)	4,958,363	4,955,976	2,387	212,491 (4.5)		
平成18年	5,240,478	5,237,716	2,762	▲ 39,950 (▲0.8)	4,895,328	4,892,593	2,735	▲ 63,035 (▲1.3)		
平成19年	5,293,403	5,290,236	3,167	52,925 (1.0)	4,905,749	4,902,753	2,996	10,421 (0.2)		

（注）各年とも1月から12月までの数値である。

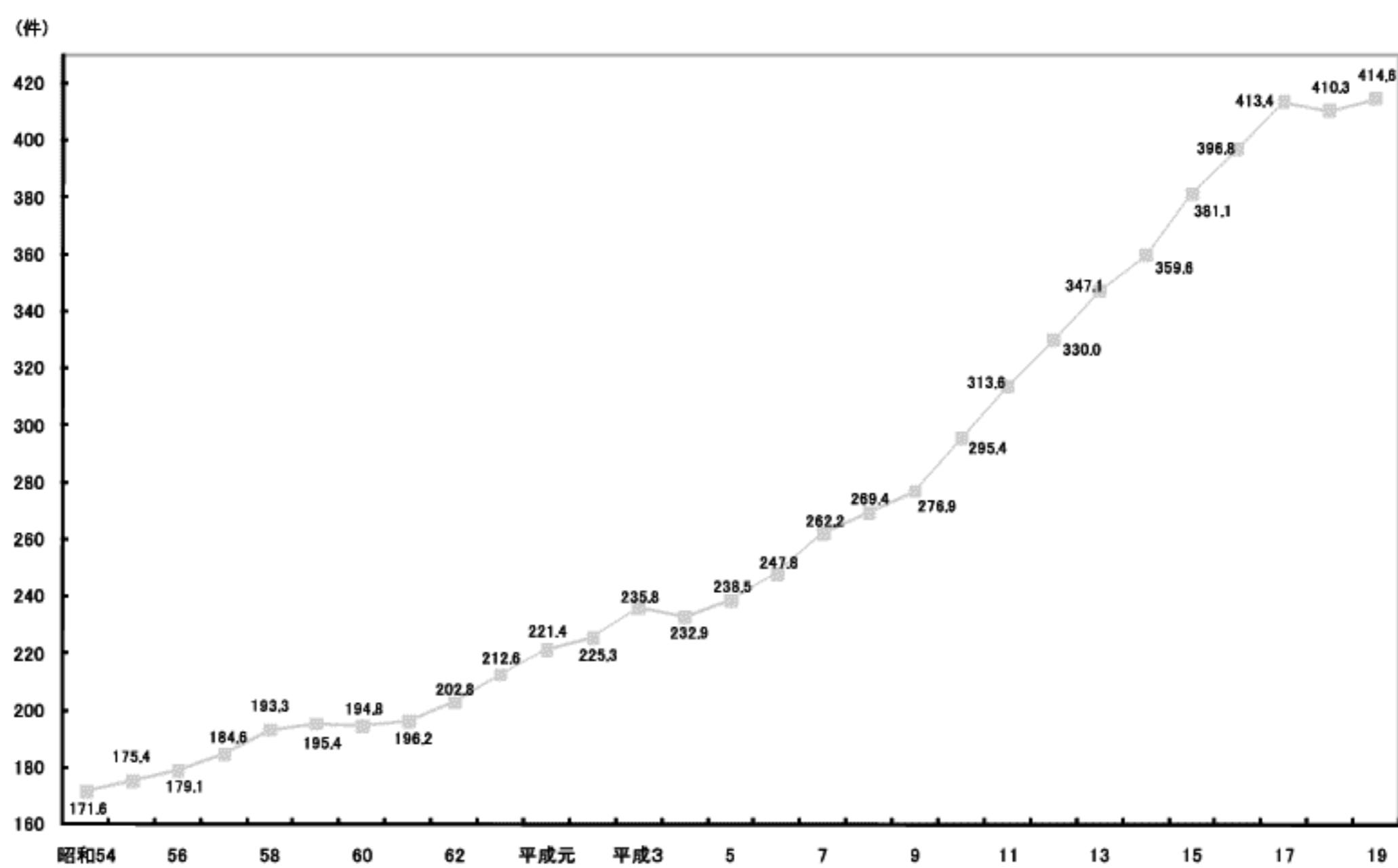
第13の2図 救急出場件数及び搬送人員の推移



(注) 1 平成10年以降の救急出場件数及び搬送人員についてははへリコプター出場分を含む。
2 各年とも1月から12月までの数値である。

また、全国の救急業務実施市町村における人口1万人当たりの平均救急出場件数（ヘリコプターによる出場を含む。）をみると全国平均は414.6件となっている。（第14図及び別表4参照）

第14図 人口1万人当たりの平均出場件数の推移



(注) 管轄市町村の1月から12月までの救急出場件数から、4月1日現在の管轄人口を基準に算出した値である。

2 救急自動車による事故種別出場件数及び搬送人員

救急自動車による出場件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出場件数、搬送人員共に、第1位が急病、第2位が一般負傷、第3位が交通事故の順となっている。

（第15表及び第16表参照）

また、救急自動車による事故種別出場件数の構成比の推移をみると、急病の占める割合が高くなってきている。（第17図参照）

第15表 救急自動車による事故種別出場件数

事故種別	平成18年中		平成19年中		対前年比	
	出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
急 病	3,163,822	60.4	3,223,990	60.9	60,168	1.9
交通事故	618,723	11.8	601,931	11.4	▲ 16,792	▲ 2.7
一般負傷	688,149	13.1	704,193	13.3	16,044	2.3
加 害	45,927	0.9	44,109	0.8	▲ 1,818	▲ 4.0
自損行為	71,113	1.4	71,866	1.4	753	1.1
労働災害	49,879	0.9	49,196	0.9	▲ 683	▲ 1.4
運動競技	37,668	0.7	38,292	0.7	624	1.7
火 災	25,601	0.5	25,466	0.5	▲ 135	▲ 0.5
水 難	4,334	0.1	4,264	0.1	▲ 70	▲ 1.6
自然災害	475	0.0	374	0.0	▲ 101	▲ 21.3
転院搬送	466,170	8.9	460,300	8.7	▲ 5,870	▲ 1.3
その 他 (転院搬送除く)	65,855	1.3	66,255	1.3	400	0.6
合 計	5,237,716	100.0	5,290,236	100.0	52,520	1.0

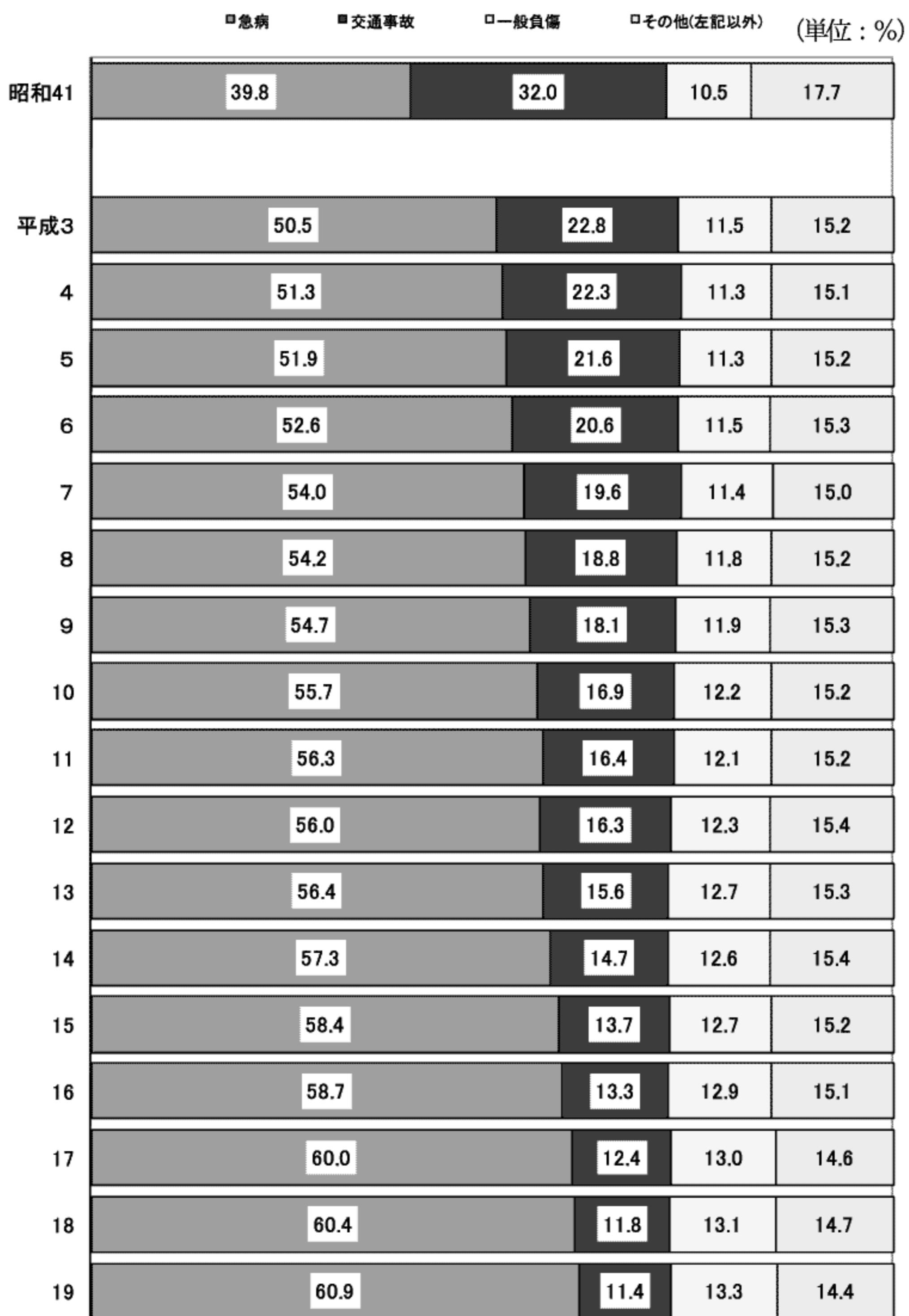
(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

第16表 救急自動車による事故種別搬送人員

事故種別	平成18年中		平成19年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
急 病	2,930,550	59.9	2,967,725	60.5	37,175	1.3
交通事故	656,222	13.4	627,702	12.7	▲ 28,520	▲ 4.3
一般負傷	643,228	13.1	653,730	13.3	10,502	1.6
加 害	40,861	0.8	38,649	0.8	▲ 2,212	▲ 5.4
自損行為	53,444	1.1	52,871	1.1	▲ 573	▲ 1.1
労働災害	48,962	1.0	48,056	1.0	▲ 906	▲ 1.9
運動競技	38,134	0.8	38,812	0.8	678	1.8
火 災	7,811	0.2	7,580	0.2	▲ 231	▲ 3.0
水 難	2,401	0.1	2,259	0.1	▲ 142	▲ 5.9
自然災害	412	0.0	346	0.0	▲ 66	▲ 16.0
その 他	470,568	9.6	465,023	9.5	▲ 5,545	▲ 1.2
合 計	4,892,593	100.0	4,902,753	100.0	10,160	0.2

(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

第17図 救急自動車による事故種別出場件数構成比の推移



(注) 各年とも1月から12月までの件数に基づいた割合を示す。

救急自動車による全出場件数のうち、急病と交通事故及び一般負傷の全件数に対する割合を地域別にみると、大都市においては、出場件数184万5,266件のうち、急病が62.7%(115万7,516件)、交通事故が10.7%(19万6,481件)及び一般負傷が14.2%(26万2,612件)であり、その他の市町村では、出場件数344万4,970件のうち急病が60.0%(206万6,474件)、交通事故11.8%(40万5,450件)及び一般負傷が12.8%(44万1,581件)となっており、大都市、その他の市町村ともに急病の割合が高くなっている。（第18表及び第19表参照）

第18表 救急自動車による全出場件数に対する急病と交通事故の占める割合

区分 年	大 都 市								小 計	
	急 病		交通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他（左記以外）			
	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)		
平成13年	840,466	58.5	205,207	14.3	192,277	13.4	198,066	13.8	1,436,016 100.0	
平成14年	908,102	59.4	208,007	13.6	203,549	13.3	209,374	13.7	1,529,032 100.0	
平成15年	972,382	60.3	205,425	12.7	216,789	13.5	217,222	13.5	1,611,818 100.0	
平成16年	1,010,583	60.8	205,275	12.3	226,185	13.6	220,395	13.3	1,662,438 100.0	
平成17年	1,084,868	62.0	203,794	11.6	240,784	13.7	221,630	12.7	1,751,076 100.0	
平成18年	1,145,922	62.3	203,861	11.1	256,921	14.0	232,547	12.6	1,839,251 100.0	
平成19年	1,157,516	62.7	196,481	10.7	262,612	14.2	228,657	12.4	1,845,266 100.0	

区分 年	その他の市町村								小 計	
	急 病		交通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他（左記以外）			
	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)		
平成13年	1,638,345	55.3	482,309	16.3	365,015	12.3	475,842	16.1	2,961,511 100.0	
平成14年	1,702,710	56.3	462,691	15.3	372,660	12.3	488,788	16.1	3,026,849 100.0	
平成15年	1,847,238	57.4	457,117	14.2	398,295	12.4	516,345	16.0	3,218,995 100.0	
平成16年	1,942,888	57.7	462,653	13.7	422,341	12.6	538,788	16.0	3,366,670 100.0	
平成17年	2,082,178	59.0	450,827	12.8	444,873	12.6	548,982	15.6	3,526,860 100.0	
平成18年	2,017,900	59.4	414,862	12.2	431,228	12.7	534,475	15.7	3,398,465 100.0	
平成19年	2,066,474	60.0	405,450	11.8	441,581	12.8	531,465	15.4	3,444,970 100.0	

(注) 大都市とは、政令指定都市【17都市(平成20年4月1日現在)】及び東京都特別区（事務委託団体に係わるもの）を含む。）をいう。以下同じ。各年とも1月から12月までの数値である。

第19表 救急自動車による人口段階別救急出場件数

(平成19年中)

事故種別 人口段階	急 病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	うち転院	合 計	
単独実施市町村	大都市	1,157,516 (62.7)	196,481 (10.7)	262,612 (14.2)	228,657 (12.4)	116,177 (6.3)	1,845,266 (100.0)
	30万人以上	495,335 (60.6)	97,934 (12.0)	104,381 (12.8)	119,668 (14.6)	71,614 (8.8)	817,318 (100.0)
	10万人以上	503,948 (60.2)	102,357 (12.2)	106,678 (12.7)	124,265 (14.9)	76,004 (9.1)	837,248 (100.0)
	30万人未満	190,747 (60.0)	37,420 (11.8)	41,564 (13.1)	48,086 (15.1)	31,302 (9.8)	317,817 (100.0)
	5万人以上	129,353 (59.2)	22,969 (10.5)	30,043 (13.7)	36,176 (16.6)	25,781 (11.8)	218,541 (100.0)
	10万人未満	2,476,899 (61.4)	457,161 (11.3)	545,278 (13.5)	556,852 (13.8)	320,878 (8.0)	4,036,190 (100.0)
	小 計	130,483 (60.0)	28,284 (13.0)	25,802 (11.9)	32,789 (15.1)	20,676 (9.5)	217,358 (100.0)
消防事務組合	30万人以上	383,043 (59.7)	77,832 (12.1)	79,986 (12.5)	101,143 (15.7)	68,086 (10.6)	642,004 (100.0)
	10万人以上	165,941 (59.5)	28,329 (10.1)	37,551 (13.5)	47,032 (16.9)	34,138 (12.2)	278,853 (100.0)
	30万人未満	67,624 (58.4)	10,325 (8.9)	15,576 (13.4)	22,306 (19.3)	16,522 (14.3)	115,831 (100.0)
	5万人以上	747,091 (59.6)	144,770 (11.5)	158,915 (12.7)	203,270 (16.2)	139,422 (11.1)	1,254,046 (100.0)
	10万人未満						
	小 計	3,223,990 (60.9)	601,931 (11.4)	704,193 (13.3)	760,122 (14.4)	460,300 (8.7)	5,290,236 (100.0)
	合 計						

(注) 1 () 内は、構成比(単位 : %)を示す。

2 他の市町村又は消防事務組合に救急業務を委託している市町村における数値は、委託先の市町村又は消防事務組合の数値に含めている。

年齢区分別事故種別搬送人員の状況は、第20表のとおりである。
高齢者は、平成17年国勢調査の人口割合20.2%に対して、搬送人員の割合では46.5%と高い割合を占め、高齢者11.3人に1人が搬送されていることとなり、全人口で算定した場合の26人に1人と比較して2.3倍となっている。

第20表 救急自動車による年齢区分別事故種別搬送人員の状況

(平成19年中)

年齢区分 事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計	(参考) 平成17年度 国勢調査人口 (構成比)
新生児 (構成比:%)	2,296 (0.1)	108 (0.0)	567 (0.1)	11,073 (1.7)	14,044 (0.3)	9,134,149 (7.2)
乳幼児 (構成比:%)	150,099 (5.0)	22,538 (3.6)	70,207 (10.8)	17,324 (2.6)	260,168 (5.3)	
少 年 (構成比:%)	77,920 (2.6)	69,409 (11.1)	34,843 (5.3)	33,944 (5.2)	216,116 (4.4)	12,207,797 (9.6)
成 人 (構成比:%)	1,201,186 (40.5)	428,314 (68.2)	202,865 (31.0)	301,265 (46.1)	2,133,630 (43.5)	80,271,702 (63.0)
高齢者 (構成比:%)	1,536,224 (51.8)	107,333 (17.1)	345,248 (52.8)	289,990 (44.4)	2,278,795 (46.5)	25,672,005 (20.2)
合 計 (構成比:%)	2,967,725 (100.0)	627,702 (100.0)	653,730 (100.0)	653,596 (100.0)	4,902,753 (100.0)	127,285,653 (100.0)

(注) 1 年齢区分は、次によっている。(以下同じ)

- (1) 新生児 生後28日未満の者
- (2) 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少 年 満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成 人 満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者 満65歳以上の者

2 本表には、平成17年国勢調査人口中の年齢不詳482,341人は、含まれていない。

事故種別ごとに曜日別の救急自動車による救急出場件数及び搬送人員数をみると、交通事故は金曜日及び土曜日、一般負傷は土曜日及び日曜日に多くなっている。
 (第21の1表及び第21の2表参照)

第21の1表 救急自動車による事故種別曜日別出場件数

(平成19年中)

区分 曜日	急 病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合 計	
	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)
月曜	491,068	15.2	86,418	14.4	101,266	14.4	116,610	15.3	75,160	16.3	795,362	15.0
火曜	447,454	13.9	85,580	14.2	92,449	13.1	114,936	15.1	75,137	16.3	740,419	14.0
水曜	442,798	13.7	85,553	14.2	93,245	13.3	109,314	14.4	69,312	15.1	730,910	13.8
木曜	446,853	13.9	85,502	14.2	94,637	13.4	109,541	14.4	68,691	14.9	736,533	13.9
金曜	452,905	14.0	91,014	15.1	97,215	13.8	117,388	15.5	76,740	16.7	758,522	14.4
土曜	463,116	14.4	89,661	14.9	109,970	15.6	103,379	13.6	57,708	12.5	766,126	14.5
日曜	479,796	14.9	78,203	13.0	115,411	16.4	88,954	11.7	37,552	8.2	762,364	14.4
合 計	3,223,990	100.0	601,931	100.0	704,193	100.0	760,122	100.0	460,300	100.0	5,290,236	100.0

第21の2表 救急自動車による事故種別曜日別搬送人員

(平成19年中)

区分 曜日	急 病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合 計	
	搬送 人員	割 合 (%)	搬送 人員	割 合 (%)	搬送 人員	割 合 (%)	搬送 人員	割 合 (%)	搬送 人員	割 合 (%)
月曜	453,733	15.3	89,902	14.3	94,367	14.4	101,319	15.5	739,321	15.1
火曜	413,412	13.9	88,047	14.0	86,139	13.2	100,006	15.3	687,604	14.0
水曜	408,675	13.8	88,020	14.0	86,563	13.2	94,671	14.5	677,929	13.8
木曜	412,229	13.9	87,599	14.0	87,806	13.4	94,499	14.5	682,133	13.9
金曜	416,683	14.0	93,616	14.9	89,953	13.8	102,286	15.6	702,538	14.3
土曜	423,440	14.3	95,118	15.2	101,863	15.6	87,701	13.4	708,122	14.5
日曜	439,553	14.8	85,400	13.6	107,039	16.4	73,114	11.2	705,106	14.4
合 計	2,967,725	100.0	627,702	100.0	653,730	100.0	653,596	100.0	4,902,753	100.0

事故種別ごとに月別の救急自動車による救急出場件数及び搬送人員数を見ると、急病は3月、8月及び12月に多く、交通事故は8月に多くなっている。
(第22の1表及び第22の2表参照)

第22の1表 救急自動車による事故種別月別出場件数

(平成19年中)

区分 月	急 病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合 計	
	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)
1月	282,870	8.8	43,562	7.2	60,734	8.6	62,338	8.2	39,540	8.6	449,504	8.5
2月	250,849	7.8	43,050	7.2	53,801	7.6	59,316	7.8	37,811	8.2	407,016	7.7
3月	295,895	9.2	49,977	8.3	59,252	8.4	67,806	8.9	43,034	9.3	472,930	8.9
4月	261,721	8.1	50,185	8.3	56,610	8.0	62,227	8.2	38,070	8.3	430,743	8.1
5月	263,547	8.2	51,209	8.5	56,968	8.1	64,330	8.5	38,654	8.4	436,054	8.2
6月	243,573	7.6	50,572	8.4	53,948	7.7	62,727	8.3	36,012	7.8	410,820	7.8
7月	262,734	8.1	52,072	8.7	58,126	8.3	63,464	8.3	36,691	8.0	436,396	8.3
8月	298,076	9.2	54,882	9.1	62,556	8.9	67,340	8.9	38,150	8.3	482,854	9.1
9月	250,591	7.8	49,469	8.2	55,641	7.9	60,990	8.0	34,524	7.5	416,691	7.9
10月	255,973	7.9	52,760	8.8	61,058	8.7	63,370	8.3	38,749	8.4	433,161	8.2
11月	258,434	8.0	50,950	8.5	59,822	8.5	61,169	8.0	38,255	8.3	430,375	8.1
12月	299,727	9.3	53,243	8.8	65,677	9.3	65,045	8.6	40,810	8.9	483,692	9.2
合計	3,223,990	100.0	601,931	100.0	704,193	100.0	760,122	100.0	460,300	100.0	5,290,236	100.0

第22の2表 救急自動車による事故種別月別搬送人員

(平成19年中)

区分 月	急 病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合 計	
	搬送 人員	割 合 (%)	搬送 人員	割 合 (%)	搬送 人員	割 合 (%)	搬送 人員	割 合 (%)	搬送 人員	割 合 (%)
1月	260,930	8.8	45,678	7.3	56,395	8.6	53,534	8.2	416,537	8.5
2月	230,990	7.8	44,786	7.1	49,897	7.6	51,186	7.8	376,859	7.7
3月	272,843	9.2	52,230	8.3	54,742	8.4	58,727	9.0	438,542	8.9
4月	241,517	8.1	52,389	8.3	52,602	8.1	53,745	8.2	400,253	8.2
5月	243,264	8.2	53,457	8.5	53,141	8.1	55,706	8.5	405,568	8.3
6月	224,154	7.6	52,565	8.4	49,994	7.7	53,572	8.2	380,285	7.7
7月	242,223	8.2	54,778	8.7	53,893	8.2	54,482	8.3	405,376	8.3
8月	273,719	9.2	58,912	9.4	58,381	8.9	57,183	8.8	448,195	9.1
9月	231,132	7.8	51,667	8.2	52,022	8.0	52,306	8.0	387,127	7.9
10月	235,491	7.9	54,330	8.7	56,843	8.7	54,676	8.4	401,340	8.2
11月	237,170	8.0	52,576	8.4	55,517	8.5	52,864	8.1	398,127	8.1
12月	274,292	9.2	54,334	8.7	60,303	9.2	55,615	8.5	444,544	9.1
合計	2,967,725	100.0	627,702	100.0	653,730	100.0	653,596	100.0	4,902,753	100.0

救急自動車による搬送人員490万2,753人の住所について、出場した救急隊の所属消防本部管内管外別の割合を示したのが第23表であり、428万2,155人（87.3%）が出場した救急隊の所属消防本部の管轄内に住所を有する者である。

救急自動車による発生場所別搬送人員の割合を示したものが第24図であり、住宅内で発生した割合が半数を超えている（54.1%）。

第23表 救急自動車による管内管外別搬送人員の状況

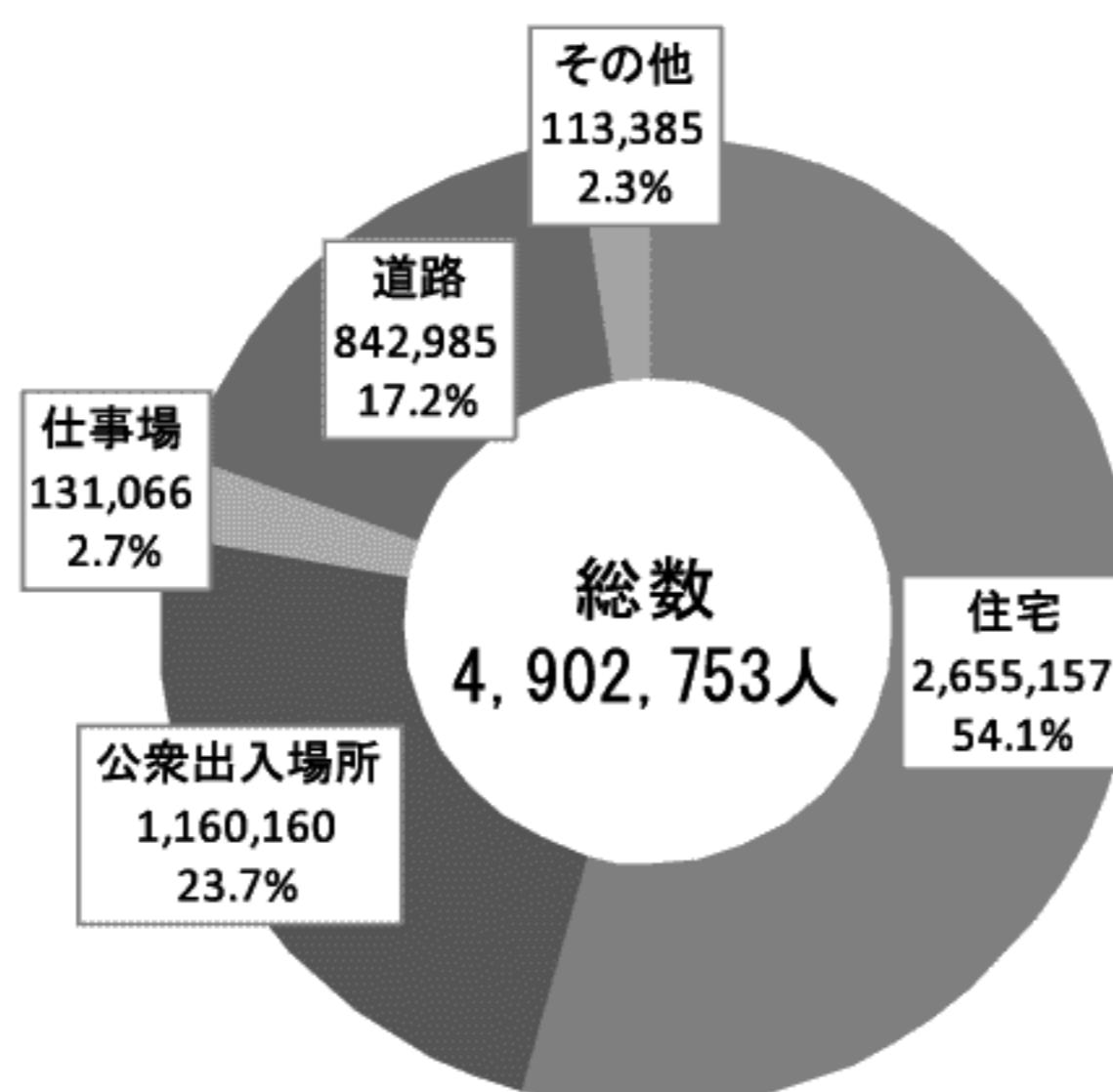
(平成19年中)

区分	事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合 計
管内に住所を有する者 (構成比: %)	2,706,467 (91.2)	474,313 (75.6)	578,337 (88.5)	523,038 (80.0)		4,282,155 (87.3)
管外に住所を有する者 (構成比: %)	235,665 (7.9)	149,912 (23.9)	70,098 (10.7)	126,177 (19.3)		581,852 (11.9)
その他 (構成比: %)	25,593 (0.9)	3,477 (0.5)	5,295 (0.8)	4,381 (0.7)		38,746 (0.8)
合 計 (構成比: %)	2,967,725 (100.0)	627,702 (100.0)	653,730 (100.0)	653,596 (100.0)		4,902,753 (100.0)

(注) 「その他」とは、外国人旅行者（外国人のうち日本に住所を有している者を除く外国人）、または住所が判明しない者等をいう。

第24図 救急自動車による発生場所別搬送人員

(平成19年中)



3 救急自動車による医療機関別搬送人員の状況

平成19年中における救急自動車による搬送人員490万2,753人について、医療機関等への搬送人員の状況を示したのが第25表である。医療機関に搬送された者489万6,390人について、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づく告示の有無ごとに開設者別搬送人員割合を示したのが第26図であり、開設者ごとに告示・非告示別に搬送人員割合を示したのが第27図である。(別表6参照)

第25表 救急自動車による医療機関種別搬送人員の状況

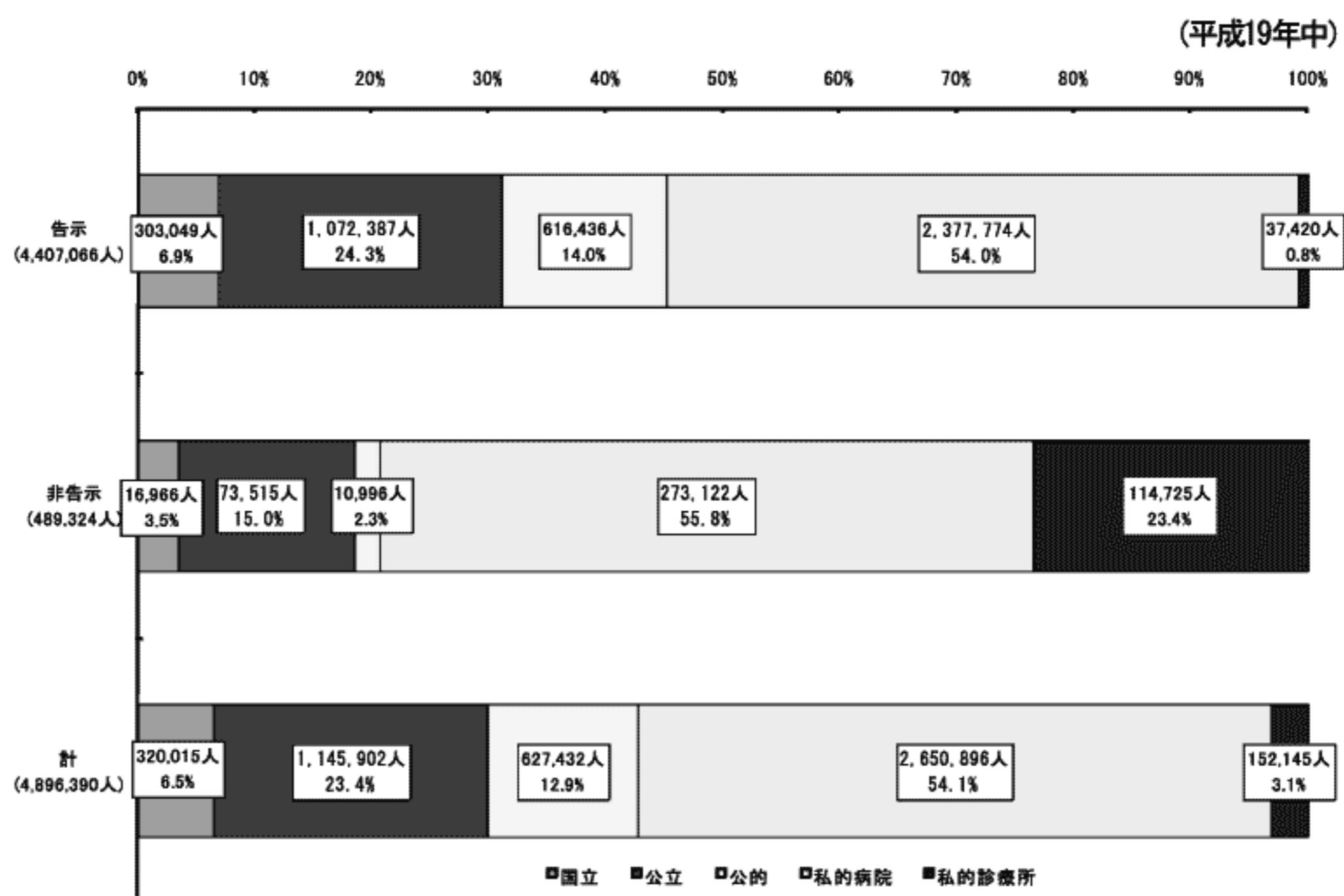
(平成19年中 単位:人)

		告 示	(うち管外)	非告示	(うち管外)	合 計	(うち管外)
医 療 機 関	国 立	303,049	53,408	16,966	7,314	320,015	60,722
	公 立	1,072,387	159,527	73,515	18,028	1,145,902	177,555
	公 的	616,436	113,675	10,996	3,854	627,432	117,529
	私的病院	2,377,774	367,921	273,122	69,872	2,650,896	437,793
	私的診療所	37,420	3,290	114,725	13,781	152,145	17,071
	計	4,407,066	697,821	489,324	112,849	4,896,390	810,670
その他の場所	接骨院等	—	—	494	31	494	31
	その他	—	—	5,869	1,549	5,869	1,549
	計	—	—	6,363	1,580	6,363	1,580
合 計		4,407,066	697,821	495,687	114,429	4,902,753	812,250

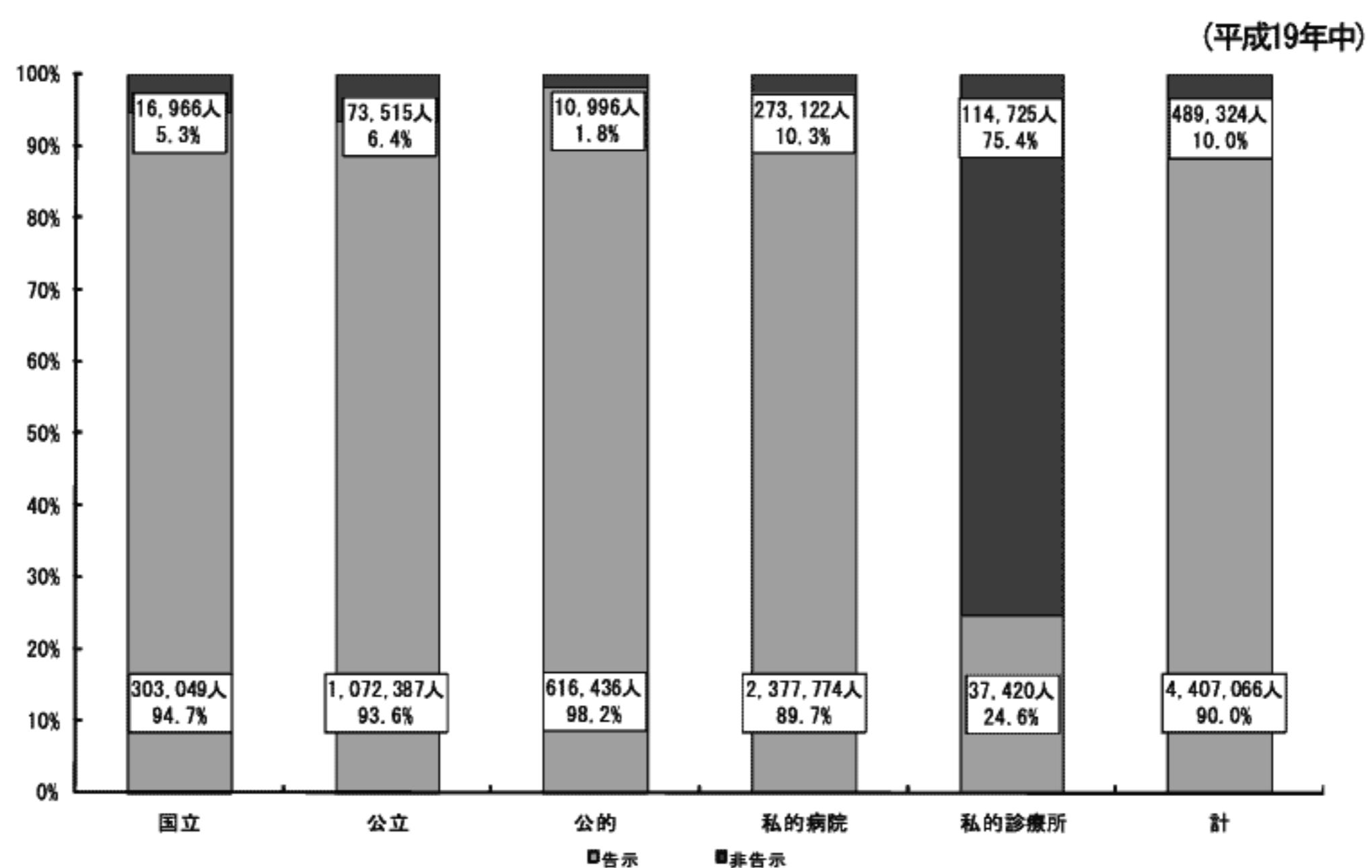
(注) 1 医療機関の分類は次により記載した。

- (1) 「国立」とは、開設者が国(国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人国立病院機構等を含む。)であるもの。
- (2) 「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第284条第1項に規定する地方自治体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは開設者が次のものであるもの。
 - a 普通国民健康保険組合
 - b 日本赤十字社
 - c 社会福祉法人恩賜財团済生会
 - d 全国厚生農業協同組合の会員である厚生(医療)農業協同組合連合会
 - e 社会福祉法人北海道社会事業協会
- 2 医療機関以外の場所へ搬送した場合は、「その他の場所」の欄に、その搬送人員を記載した。
- 3 「その他の場所」へ搬送した場合で搬送先があんま、はり、灸、接骨院及び助産所の場合は「接骨院等」の欄に、その他の場合は「その他」の欄に、その搬送人員を記載した。
- 4 医療機関の区分は、傷病者を医療機関に収容した時点における区分によるものとした。
- 5 一つの搬送事例につき、傷病者を2以上の医療機関等へ搬送した場合は、収容された最終の医療機関等について記載した。

第26図 告示・非告示別の開設者別搬送人員割合



第27図 開設者別の告示・非告示別搬送人員割合



救急自動車による搬送人員490万2,753人のうち、81万2,250人（16.6%）が、出場した救急隊が所属する消防本部の管轄外の医療機関等に搬送されている。これを人口段階別にみると、単独、組合の別にかかわらず、人口段階が小さくなるほど管外搬送率が高くなる傾向が顕著であり、単独消防本部では大都市の平均が4.8%となっているのに対し、人口5万未満では46.9%となっている。（第28表参照）

第28表 救急自動車による人口段階別管外搬送状況

（平成19年中）

人口段階	搬送人員	搬送人員		管外 搬送率
		搬送人員	うち管外 搬送人員	
単独実施市町村	大都市	1,652,518	80,137	4.8%
	30万人以上	754,799	86,251	11.4%
	10万人以上30万人未満	787,962	146,536	18.6%
	5万人以上10万人未満	303,029	108,770	35.9%
	5万人未満	210,973	98,905	46.9%
	計	3,709,281	520,599	14.0%
消防事務組合	30万人以上	204,180	16,932	8.3%
	10万人以上30万人未満	611,215	142,278	23.3%
	5万人以上10万人未満	266,144	90,551	34.0%
	5万人未満	111,933	41,890	37.4%
	計	1,193,472	291,651	24.4%
合 計		4,902,753	812,250	16.6%

（注）他の市町村又は消防事務組合に救急業務を委託している市町村における数値は、委託先の市町村又は消防事務組合の数値に含めている。

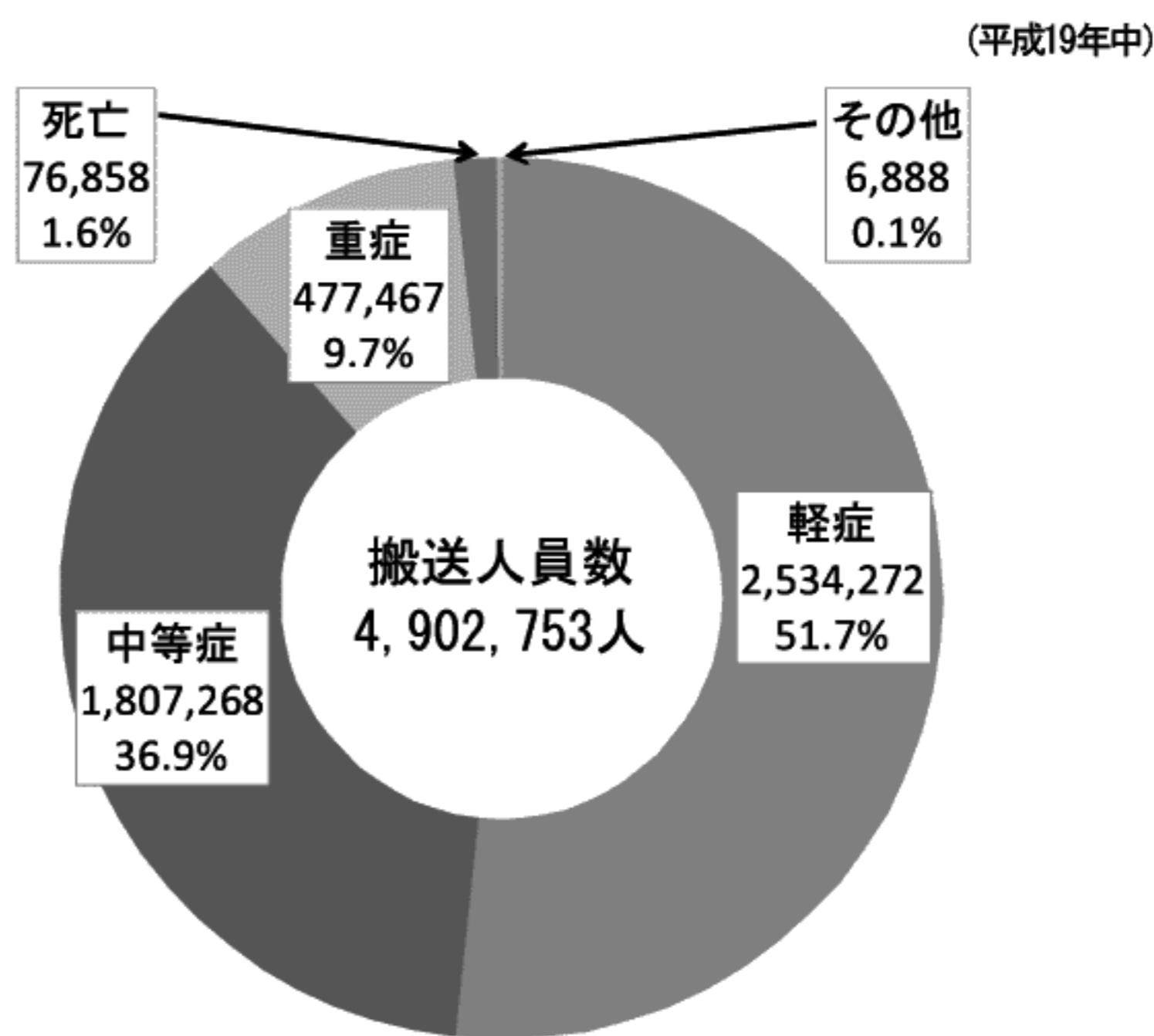
4 救急自動車による傷病程度別搬送人員の状況

平成19年中の救急自動車による搬送人員490万2,753人について、傷病程度別搬送状況を示したのが第29図であり、事故種別ごとに傷病程度の状況を示したのが第31表である。事故種別ごとに軽症者の占める割合の推移をみると、交通事故に占める軽症者の割合が高くなっている。（第30表・第31表参照）

なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているので、骨折等で入院の必要はないが、通院による治療が必要な者は軽症者として分類されている。

また、各年齢区別傷病程度別搬送人員の状況は第32表のとおりである。

第29図 救急自動車による傷病程度別搬送人員の状況



(注) 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のように分類した。

- (1) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
- (2) 重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。
- (3) 中等症とは、傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。
- (4) 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
- (5) その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したものという。

第30表 救急自動車による事故種別軽症者割合の推移

(単位: %)

年 事故種別	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
軽症者の割合 (単位: %)	51.2	51.3	51.6	52.1	52.0	51.7
急 病	47.9	48.4	48.9	49.8	50.1	49.9
交通事故	77.0	77.4	78.0	78.6	78.9	78.7
一般負傷	62.7	62.8	63.0	63.1	63.0	62.4
その 他	22.9	23.1	23.4	23.2	23.4	23.2

(注) 各年の数値は1月から12月までの数値に基づく割合である。

第31表 事故種別の傷病程度別搬送人員の状況

(平成19年中)

事故種別 程度	急 病	交通事故	一般負傷	その他(左記以外)	合 計
大 都 市	死 亡	9,653 (0.9)	346 (0.2)	824 (0.3)	1,821 (1.0)
	重 症	65,425 (6.3)	4,480 (2.3)	8,456 (3.6)	25,135 (13.8)
	中等症	392,359 (37.7)	25,344 (13.1)	63,462 (26.8)	101,456 (55.7)
	軽 症	572,802 (55.0)	162,891 (84.3)	163,593 (69.2)	53,430 (29.4)
	その 他	511 (0.1)	91 (0.1)	209 (0.1)	230 (0.1)
	計	1,040,750 (100.0)	193,152 (100.0)	236,544 (100.0)	182,072 (100.0)
その 他 の 市 町 村	死 亡	47,053 (2.5)	4,462 (1.0)	5,588 (1.3)	7,111 (1.5)
	重 症	197,347 (10.2)	20,860 (4.8)	42,092 (10.1)	113,672 (24.1)
	中等症	771,844 (40.1)	77,566 (17.8)	124,401 (29.8)	250,836 (53.2)
	軽 症	908,271 (47.1)	330,938 (76.2)	244,439 (58.6)	97,908 (20.8)
	その 他	2,460 (0.1)	724 (0.2)	666 (0.2)	1,997 (0.4)
	計	1,926,975 (100.0)	434,550 (100.0)	417,186 (100.0)	471,524 (100.0)
全 体	死 亡	56,706 (1.9)	4,808 (0.8)	6,412 (1.0)	8,932 (1.4)
	重 症	262,772 (8.9)	25,340 (4.0)	50,548 (7.7)	138,807 (21.2)
	中等症	1,164,203 (39.2)	102,910 (16.4)	187,863 (28.8)	352,292 (53.9)
	軽 症	1,481,073 (49.9)	493,829 (78.7)	408,032 (62.4)	151,338 (23.2)
	その 他	2,971 (0.1)	815 (0.1)	875 (0.1)	2,227 (0.3)
	合 計	2,967,725 (100.0)	627,702 (100.0)	653,730 (100.0)	653,596 (100.0)

(注) ()内は、事故種別ごとの構成比(単位: %)を示す。

第32表 救急自動車による年齢区分別の傷病程度別搬送人員の状況

(平成19年中)

年齢区分 程度	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
死 亡	112 (0.8)	1,747 (0.7)	996 (0.5)	21,451 (1.0)	52,552 (2.3)	76,858 (1.6)
重 症	2,657 (18.9)	4,479 (1.7)	5,482 (2.5)	136,061 (6.4)	328,788 (14.4)	477,467 (9.7)
中等症	8,928 (63.6)	46,601 (17.9)	45,207 (20.9)	633,578 (29.7)	1,072,954 (47.1)	1,807,268 (36.9)
軽 症	2,204 (15.7)	206,916 (79.5)	164,126 (76.0)	1,339,599 (62.8)	821,427 (36.1)	2,534,272 (51.7)
その他	143 (1.0)	425 (0.2)	305 (0.1)	2,941 (0.1)	3,074 (0.1)	6,888 (0.1)
合 計	14,044 (100.0)	260,168 (100.0)	216,116 (100.0)	2,133,630 (100.0)	2,278,795 (100.0)	4,902,753 (100.0)

(注) ()内は年齢区分別の構成比(単位: %)を示す。

5 救急自動車による急病の搬送人員の状況

平成19年中の救急自動車による急病の搬送人員296万7,725人の疾病分類別、年齢区分別、傷病程度別の状況を示したのが第33表、第34表及び第35表である。これによると、疾病分類別では脳疾患、心疾患等を含む循環器系が多く59万2,055人(20.0%)となっている。特に高齢者では、その割合が高くなっている(27.3%)。(第33表参照)

また、傷病程度でみると中等症以上の割合は、50.0%となっているが、高齢者では64.0%と高くなっている。(第35表参照)

第33表 救急自動車による急病の年齢区分別の疾病分類別搬送人員の状況

(平成19年中)

年齢区分 分類項目	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高 齢 者	合 計
循環器系	35 (1.5)	3,130 (2.1)	3,063 (3.9)	87,206 (7.3)	220,207 (14.3)	313,641 (10.6)
	30 (1.3)	415 (0.3)	997 (1.3)	77,138 (6.4)	199,834 (13.0)	278,414 (9.4)
消化器系	125 (5.5)	7,508 (5.0)	8,306 (10.7)	155,246 (12.9)	143,082 (9.3)	314,267 (10.6)
呼吸器系	265 (11.5)	21,489 (14.3)	9,989 (12.8)	72,911 (6.1)	175,341 (11.4)	279,995 (9.4)
精神系	9 (0.4)	467 (0.3)	6,630 (8.5)	122,325 (10.2)	20,301 (1.3)	149,732 (5.0)
感覚器系	66 (2.9)	9,833 (6.6)	8,006 (10.3)	65,351 (5.4)	47,141 (3.1)	130,397 (4.4)
泌尿器系	7 (0.3)	338 (0.2)	985 (1.3)	59,652 (5.0)	38,371 (2.5)	99,353 (3.3)
新生物	3 (0.1)	59 (0.0)	93 (0.1)	14,014 (1.2)	33,719 (2.2)	47,888 (1.6)
その他	896 (39.0)	28,970 (19.3)	14,325 (18.4)	207,890 (17.3)	239,090 (15.6)	491,171 (16.6)
症状・徴候・診断名不明確の状態	860 (37.5)	77,890 (51.9)	25,526 (32.7)	339,453 (28.2)	419,138 (27.3)	862,867 (29.1)
合 計	2,296 (100.0)	150,099 (100.0)	77,920 (100.0)	1,201,186 (100.0)	1,536,224 (100.0)	2,967,725 (100.0)

- (注) 1 急病の疾病分類とは、急病に係るものについて初診時の医師の診断に基づく傷病名をWHO(世界保健機関)で定める国際疾患分類(I CD)により分類したものである。
- (1) 「脳疾患」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a-0904脳梗塞」及び「a-0905その他の脳疾患」をいう。
 - (2) 「心疾患等」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a-0901高血圧性疾患」から「a-0903その他の心疾患」まで、及び「a-0906その他循環器系の疾患」までをいう。
 - (3) 「消化器系」とは、「XI消化器系の疾患」をいう。
 - (4) 「呼吸器系」とは、「X呼吸器系の疾患」をいう。
 - (5) 「精神系」とは、「V精神及び行動の傷害」をいう。
 - (6) 「感覚器系」とは、「VI神経系の疾患」、「VII眼及び付属器の疾患」、「VIII耳及び鼻様突起の疾患」をいう。
 - (7) 「泌尿器系」とは、「XIV腎尿路生殖器系の疾患」をいう。
 - (8) 「新生物」とは、「II新生物」をいう。
 - (9) 「症状・徴候・診断名不明確の状態」とは、「I・III・IV・XII・XIII・XV・XVI・XVII・XVIII・IX・XX・XXI・XXII」に分類されるものおよび医療機関以外に搬送されたものをいう。なお「○○の疑い」はすべてその疾患分類により分類している。

2 () 内は年齢区分別の構成比(単位: %)を示す。

第34表 救急自動車による急病の傷病程度別の疾病分類別搬送人員の状況
(平成19年中)

分類項目	程度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他の	合 計
循環器系	脳疾患	2,867 (5.1)	78,484 (29.9)	164,442 (14.1)	67,848 (4.6)	0 (0.0)	313,641 (10.6)
	心疾患等	21,375 (37.7)	50,642 (19.3)	117,796 (10.1)	88,601 (6.0)	0 (0.0)	278,414 (9.4)
消化器系		1,954 (3.5)	18,972 (7.2)	144,263 (12.4)	149,078 (10.1)	0 (0.0)	314,267 (10.6)
呼吸器系		3,281 (5.8)	30,810 (11.7)	135,114 (11.6)	110,790 (7.5)	0 (0.0)	279,995 (9.4)
精神系		306 (0.5)	2,017 (0.8)	29,487 (2.6)	117,922 (7.9)	0 (0.0)	149,732 (5.0)
感覚器系		167 (0.3)	2,329 (0.9)	39,881 (3.4)	88,020 (5.9)	0 (0.0)	130,397 (4.4)
泌尿器系		528 (0.9)	3,526 (1.3)	34,795 (3.0)	60,504 (4.1)	0 (0.0)	99,353 (3.3)
新生物		1,996 (3.5)	13,907 (5.3)	27,113 (2.3)	4,872 (0.3)	0 (0.0)	47,888 (1.6)
その他		7,152 (12.6)	20,663 (7.8)	184,974 (15.9)	278,382 (18.8)	0 (0.0)	491,171 (16.6)
症状・徵候・診断名 不明確の状態		17,080 (30.1)	41,422 (15.8)	286,338 (24.6)	515,056 (34.8)	2,971 (100.0)	862,867 (29.1)
合 計		56,706 (100.0)	262,772 (100.0)	1,164,203 (100.0)	1,481,073 (100.0)	2,971 (100.0)	2,967,725 (100.0)

(注) ()内は構成比(単位: %)を示す。

第35表 救急自動車による急病に係る年齢区分別の傷病程度別搬送人員の状況
(平成19年中)

年齢区分 程度	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
死 亡	88 (3.8)	1,023 (0.7)	331 (0.4)	12,131 (1.0)	43,133 (2.8)	56,706 (1.9)
重 症	129 (5.6)	1,373 (0.9)	894 (1.2)	65,720 (5.5)	194,656 (12.7)	262,772 (8.9)
中等症	840 (36.6)	27,899 (18.6)	16,932 (21.7)	372,853 (31.0)	745,679 (48.5)	1,164,203 (39.2)
軽 症	1,222 (53.2)	119,696 (79.7)	59,671 (76.6)	749,226 (62.4)	551,258 (35.9)	1,481,073 (49.9)
その他の	17 (0.8)	108 (0.1)	92 (0.1)	1,256 (0.1)	1,498 (0.1)	2,971 (0.1)
合 計	2,296 (100.0)	150,099 (100.0)	77,920 (100.0)	1,201,186 (100.0)	1,536,224 (100.0)	2,967,725 (100.0)

(注) ()内は構成比(単位: %)を示す。

6 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数及び収容所要時間別搬送人員の状況

(1) 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数の状況

平成19年中の救急自動車による救急出場件数529万236件について、現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の救急出場件数の状況を示したのが第36表及び第37図である。これによると最も多いのが5分以上10分未満の321万5,647件で全体の60.8%を占めている。

（別表7の1及び別表7の2参照）

第36表 救急自動車による現場到着所要時間別事故種別出場件数の状況

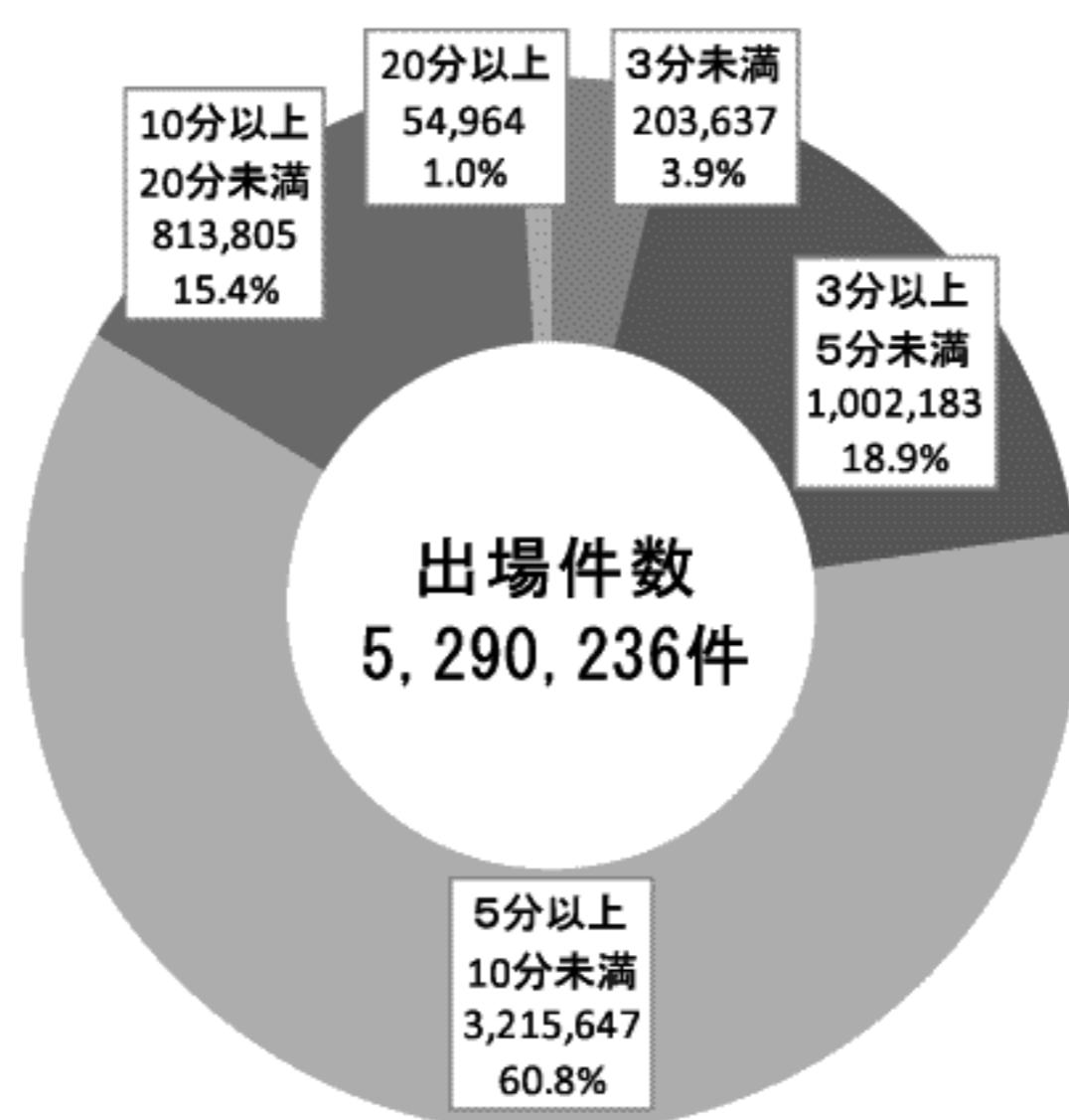
（平成19年中）

事故種別	現場到着 所要時間 3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合 計	平均(分)
件 数	203,637 (3.9)	1,002,183 (18.9)	3,215,647 (60.8)	813,805 (15.4)	54,964 (1.0)	5,290,236 (100.0)	7.0
	107,928 (3.3)	578,054 (17.9)	2,007,562 (62.3)	502,915 (15.6)	27,531 (0.9)	3,223,990 (100.0)	7.0
	25,535 (4.2)	118,359 (19.7)	351,351 (58.4)	96,800 (16.1)	9,886 (1.6)	601,931 (100.0)	7.1
	25,883 (3.7)	130,251 (18.5)	427,883 (60.7)	111,931 (15.9)	8,245 (1.2)	704,193 (100.0)	7.1
その他	44,291 (5.8)	175,519 (23.1)	428,851 (56.4)	102,159 (13.5)	9,302 (1.2)	760,122 (100.0)	6.6

（注）（ ）内は構成比(単位：%)を示す。

第37図 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数の状況

（平成19年中）



(2) 救急自動車による収容所要時間別搬送人員の状況

平成19年中の救急自動車による搬送人員490万2,753人について、収容所要時間別(救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別)の搬送人員の状況を示したのが第38表及び第39図である。これによると最も多いのが30分以上60分未満の216万1,931人で全体の44.1%を占めている。(別表8の1及び別表8の2参照)

第38表 救急自動車による収容所要時間別事故種別搬送人員の状況

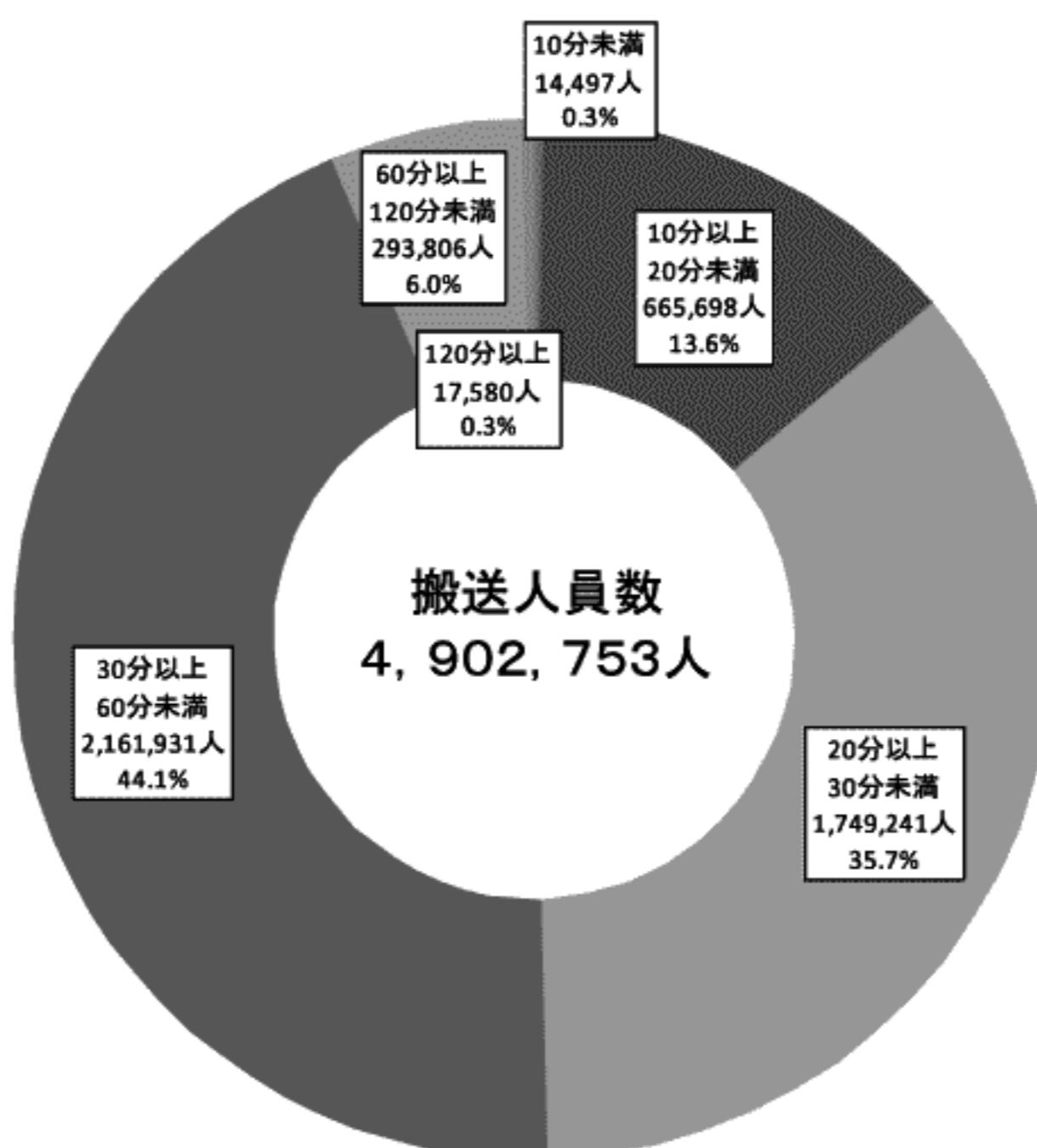
(平成19年中)

事故種別	収容所要時間	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	合計	平均(分)
搬送人員	10分未満	14,497 (0.3)	665,698 (13.6)	1,749,241 (35.7)	2,161,931 (44.1)	293,806 (6.0)	17,580 (0.3)	4,902,753 (100.0)	33.4
	急病	7,726 (0.3)	370,554 (12.5)	1,081,775 (36.4)	1,337,641 (45.1)	160,747 (5.4)	9,282 (0.3)	2,967,725 (100.0)	33.2
	交通事故	1,957 (0.3)	103,908 (16.6)	229,423 (36.5)	258,942 (41.2)	31,876 (5.1)	1,596 (0.3)	627,702 (100.0)	32.0
	一般負傷員	2,155 (0.3)	85,269 (13.0)	223,302 (34.2)	292,997 (44.8)	46,991 (7.2)	3,016 (0.5)	653,730 (100.0)	34.5
その他 (上記以外)	10分未満	2,659 (0.4)	105,967 (16.2)	214,741 (32.8)	272,351 (41.7)	54,192 (8.3)	3,686 (0.6)	653,596 (100.0)	34.5

(注) ()内は構成比(単位: %)を示す。

第39図 救急自動車による収容所要時間別搬送人員の状況

(平成19年中)



7 救急自動車による転送の状況

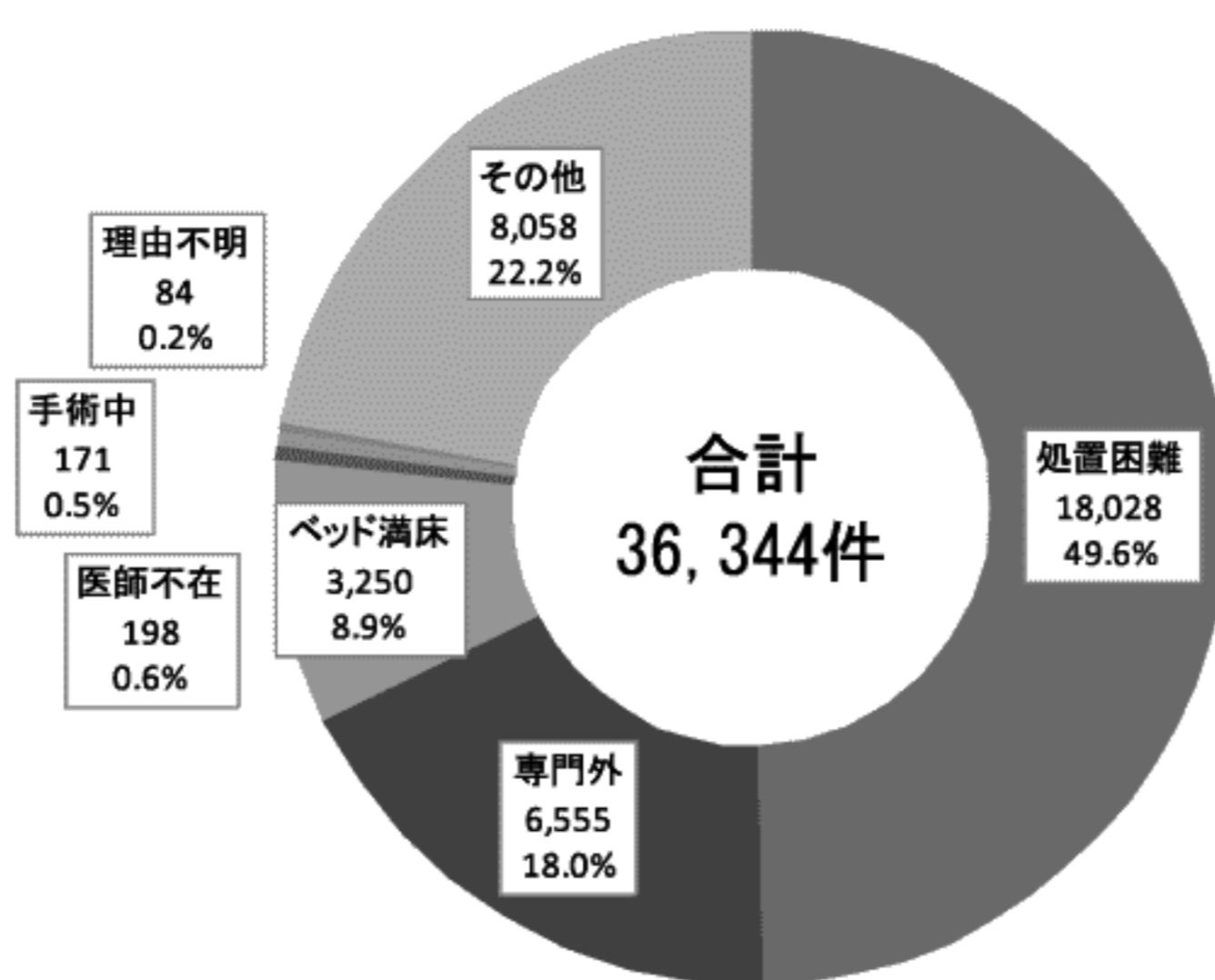
「転送」とは、傷病者を搬送した医療機関が収容不能であったため同一救急隊が引き続いて同一傷病者を他の医療機関に搬送した場合をいう。平成19年中の救急自動車による搬送人員490万2,753人のうち、3万6,202人(0.7%)が何らかの理由により1回以上転送されている。

1回以上転送された者3万6,202人(転送回数3万6,344回)について、転送されたつど医療機関側において収容できなかった理由を示したのが第40図である。

また転送者数の推移を見ると、平成19年中の全搬送人員のうち0.7%の傷病者が1回以上転送されているが、ここ数年その割合は横ばいである。

第40図 救急自動車による転送理由の状況

(平成19年中)



(注) 1件の事故で2名以上転送した場合は、搬送人員ごとにその転送理由を記載している。

したがって、1件の事故で2名を転送した場合は、その理由が同じであっても、転送件数(理由)は2件となっている。

第41表 転送者数と全搬送人員数に占める割合の推移

区分	年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
転送者数		33,901	33,708	35,122	33,232	36,202
搬送人員数に占める 転送者数の割合(%)		0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
対前年増減数 (増減率%)		▲1,156 (▲3.3)	▲193 (▲0.6)	1,414 (4.2)	▲1,890 (▲5.4)	2,970 (8.9)

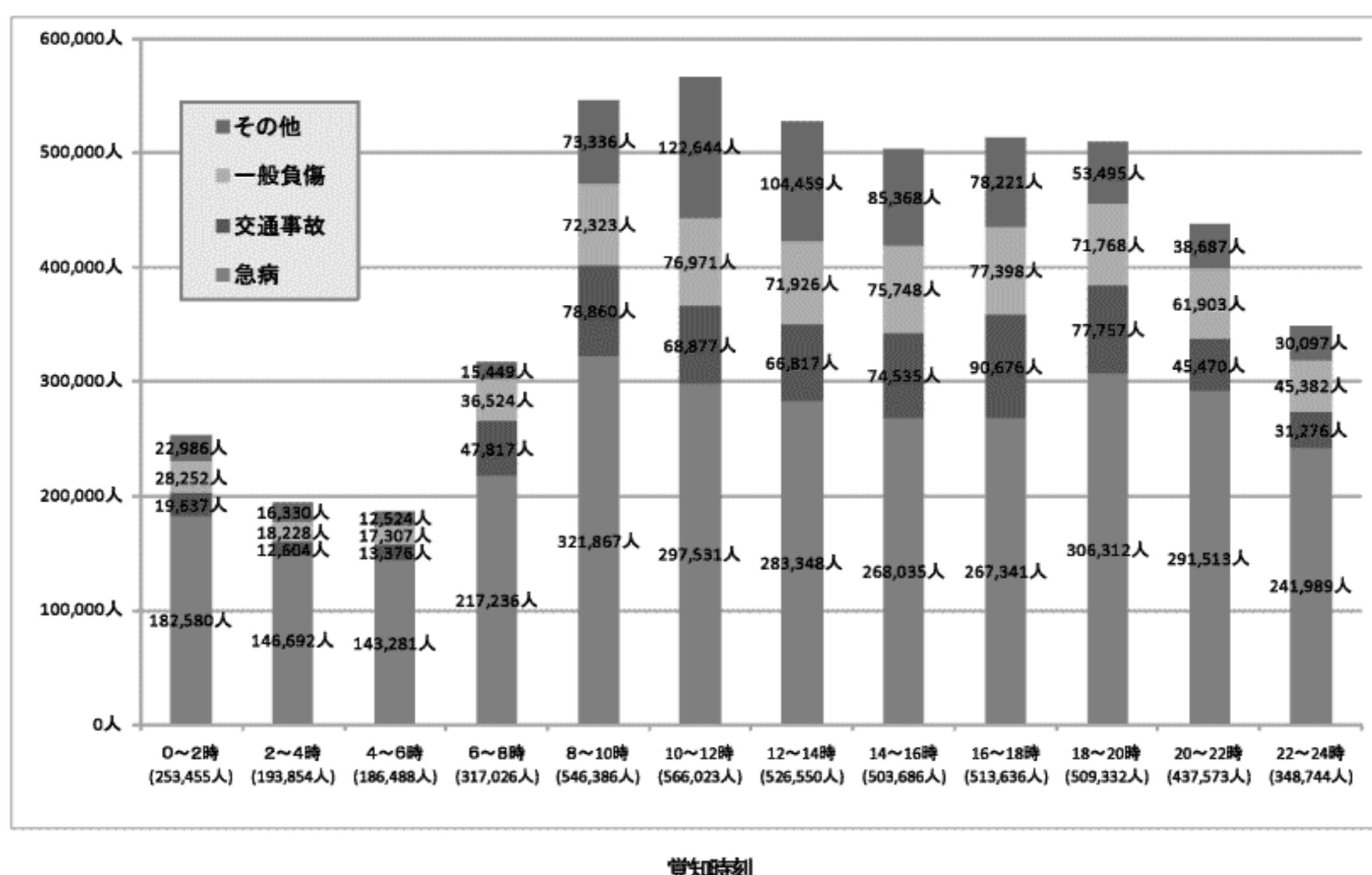
(注) 各年とも1月から12月までの数値と、それに基づく割合である。

8 救急自動車による覚知時刻別搬送人員の状況

覚知時刻による搬送人員は第42図のとおり、10時から12時までにおける搬送人員が56万6,023人と最も多く、4時から6時までが18万6,488人と最も少なくなっている。
(別表9参照)

第42図 救急自動車による覚知時刻別搬送人員の状況

(平成19年中 単位：人)



9 医師の現場出場の状況

交通事故、急病あるいは転院搬送などにおいて救急業務を実施する場合に傷病者が重篤な状態であり、医師の指示のもとに救急活動を行う場合は少なくない。このような事態に対応するため、消防機関において、あらかじめ医師を嘱託し、又は医師に要請して現場活動を実施しているところがある。

平成19年中において医師が現場に赴いた件数は、11,121件となっており、このうち急病が5,142件（46.2%）となっている。

10 救急隊員の行った応急処置等の状況

救急自動車による平成19年中の搬送人員のうち、応急処置等を実施した傷病者は、全体の97.7%にあたる478万9,024人で、その実施状況を事故種別ごとに示したのが第44表であり、傷病程度別に示したもののが第45表である。

応急処置等の内容をみると、いずれの種別においても血圧測定及び血中酸素飽和度測定の処置が約4分の1で行われている。加えて急病においては保温と酸素吸入及び心音・呼吸音聴取の処置が、交通事故においては固定処置が多くなっている。

平成3年8月の「救急隊員の行う応急処置等の基準」(昭和53年消防庁告示第2号)の改正により拡大された応急処置等が実施された件数は、1,162万879件である。(第43表参照)

第43表 拡大された応急処置等実施件数及び特定行為件数の推移

区分	年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
拡大された応急処置等件数		9,855,527	10,614,551	11,515,480	11,628,405	11,620,879
うち、医師による指示を必要とする応急処置等件数		47,135	54,383	67,129	78,490	84,316

(注) 1 拡大された応急処置等とは次のもの、及び2に掲げるものをいう。

- (1) 自動式心マッサージ
- (2) 在宅療法の継続
- (3) ショックパンツを使用した血圧保持等
- (4) 血圧測定
- (5) 聴診器を使用した心音・呼吸音聴取
- (6) 血中酸素飽和度測定
- (7) 心電図測定等
- (8) 経鼻エアウェイによる気道確保
- (9) 喉頭鏡、マギール鉗子による異物除去

2 医師による指示を必要とする応急処置等とは、次のものをいう。

- (1) 自動体外式除細動器による除細動(平成16年7月から可能となった救急救命士以外の救急隊員による実施分も含む)
- (2) 静脈路確保のための輸液
- (3) ラリングアルマスク等、器具による気道確保
- (4) 気管挿管(救急救命士が実施可能とされた平成16年7月以降の数値である)
- (5) 薬剤投与【アドレナリン投与】(救急救命士が実施可能とされた平成18年4月以降の数値である)

3 各年とも1月から12月までの数値である。

第44表 救急隊員の行った応急処置等の状況（事故種別別による分類）

(平成19年中 単位：人)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置等 対象搬送人員	2,922,744	602,996	634,571	628,713	4,789,024
応急処置等項目					
止 血	14,863 (0.1)	48,502 (2.3)	86,291 (4.0)	25,664 (1.2)	175,320 (1.0)
被 覆	17,898 (0.2)	130,144 (6.2)	176,858 (8.2)	50,884 (2.3)	375,784 (2.2)
固 定	24,174 (0.2)	261,082 (12.4)	118,214 (5.4)	48,804 (2.3)	452,274 (2.7)
保 温	1,088,677 (10.3)	122,874 (5.8)	186,966 (8.6)	192,509 (8.9)	1,591,026 (9.3)
酸素吸入	836,178 (7.9)	54,585 (2.6)	55,308 (2.6)	213,746 (9.9)	1,159,817 (6.8)
人工呼吸	20,920 (0.2)	1,096 (0.1)	2,123 (0.1)	4,439 (0.2)	28,578 (0.2)
胸骨圧迫	5,038 (0.1)	275 (0.0)	529 (0.0)	852 (0.0)	6,694 (0.0)
※うち自動式心マッサージ器	410	11	56	53	530
心肺蘇生	82,096 (0.8)	3,755 (0.2)	8,950 (0.4)	12,067 (0.6)	106,868 (0.6)
※うち自動式心マッサージ器	962	30	132	149	1,273
※在宅療法継続	21,384 (0.2)	246 (0.0)	1,509 (0.1)	12,489 (0.6)	35,628 (0.2)
※ショックパンツ	408 (0.0)	128 (0.0)	110 (0.0)	94 (0.0)	740 (0.0)
※血圧測定	2,676,696 (25.3)	554,634 (26.4)	552,421 (25.5)	535,875 (24.7)	4,319,626 (25.4)
※心音・呼吸音聴取	943,576 (8.9)	170,319 (8.1)	162,883 (7.5)	138,237 (6.4)	1,415,015 (8.3)
※血中酸素飽和度測定	2,768,174 (26.1)	570,887 (27.2)	586,640 (27.0)	582,820 (26.9)	4,508,521 (26.5)
※心電図測定	957,310 (9.0)	48,441 (2.3)	62,631 (2.9)	155,356 (7.2)	1,223,738 (7.2)
気道確保	152,978 (1.4)	7,419 (0.4)	15,118 (0.7)	25,211 (1.2)	200,726 (1.2)
※うち経鼻エアウェイ	14,487	367	1,267	2,204	18,325
※うち喉頭鏡、鉗子等	8,675	216	3,412	864	13,167
※うちラリンゲアルマスク等	31,660	1,016	3,286	3,588	39,550
※うち気管挿管	5,492	151	1,104	737	7,484
※除細動	11,035 (0.1)	181 (0.0)	500 (0.0)	840 (0.0)	12,556 (0.1)
※静脈路確保	16,059 (0.2)	611 (0.0)	1,872 (0.1)	2,244 (0.1)	20,786 (0.1)
※薬剤投与	3,136 (0.0)	93 (0.0)	335 (0.0)	376 (0.0)	3,940 (0.0)
その他の処置	954,338 (9.0)	125,742 (6.0)	150,397 (6.9)	162,981 (7.5)	1,393,458 (8.2)
合 計	10,594,938 (100.0)	2,101,014 (100.0)	2,169,655 (100.0)	2,165,488 (100.0)	17,031,095 (100.0)
――拡大された応急処置等――	7,459,464	1,347,331	1,378,158	1,435,926	11,620,879

第45表 救急隊員の行った応急処置等の状況（傷病程度別による分類）

(平成19年中 単位：人)

傷病程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
応急処置等対象 搬送人員	75,578人	466,199人	1,770,402人	2,470,887人	5,958人	4,789,024人
応急処置等項目						
止 血	684 (0.2)	8,722 (0.4)	36,737 (0.6)	129,039 (1.6)	138 (0.7)	175,320 (1.0)
被 覆	2,276 (0.6)	16,265 (0.8)	74,967 (1.1)	281,948 (3.5)	328 (1.6)	375,784 (2.2)
固 定	5,113 (1.3)	49,613 (2.5)	141,247 (2.2)	255,779 (3.2)	522 (2.6)	452,274 (2.7)
保 温	13,650 (3.5)	154,902 (7.7)	645,814 (9.9)	775,550 (9.6)	1,110 (5.4)	1,591,026 (9.3)
酸素吸入	53,538 (13.9)	282,630 (14.0)	593,109 (9.1)	228,795 (2.8)	1,745 (8.5)	1,159,817 (6.8)
人工呼吸	8,770 (2.3)	15,401 (0.8)	3,709 (0.1)	632 (0.0)	66 (0.3)	28,578 (0.2)
胸骨圧迫	3,125 (0.8)	3,172 (0.2)	223 (0.0)	156 (0.0)	18 (0.1)	6,694 (0.0)
※うち自動式心マッサージ器	272	242	9	3	4	530
心肺蘇生	59,994 (15.6)	45,650 (2.3)	794 (0.0)	340 (0.0)	90 (0.4)	106,868 (0.6)
※うち自動式心マッサージ器	918	336	9	8	2	1,273
※在宅療法継続	603 (0.2)	7,990 (0.4)	20,814 (0.3)	6,189 (0.1)	32 (0.2)	35,628 (0.2)
※ショックパンツ	5 (0.0)	76 (0.0)	273 (0.0)	385 (0.0)	1 (0.0)	740 (0.0)
※血圧測定	18,633 (4.8)	399,481 (19.8)	1,658,248 (25.3)	2,238,369 (27.8)	4,895 (24.0)	4,319,626 (25.4)
※心音・呼吸音聴取	43,171 (11.2)	159,400 (7.9)	531,344 (8.1)	680,259 (8.4)	841 (4.1)	1,415,015 (8.3)
※血中酸素飽和度測定	23,743 (6.2)	419,328 (20.8)	1,708,048 (26.1)	2,352,037 (29.2)	5,365 (26.3)	4,508,521 (26.5)
※心電図測定	57,568 (15.0)	231,882 (11.5)	545,611 (8.3)	387,133 (4.8)	1,544 (7.6)	1,223,738 (7.2)
気道確保	60,744 (15.8)	83,834 (4.1)	41,903 (0.6)	13,982 (0.2)	263 (1.3)	200,726 (1.2)
※うち経鼻エアウェイ	6,395	8,610	2,761	542	17	18,325
※うち喉頭鏡、鉗子等	5,089	6,786	966	312	14	13,167
※うちラシングアルマスク等	21,448	17,584	348	148	22	39,550
※うち気管挿管	4,030	3,332	80	35	7	7,484
※除細動	5,326 (1.4)	6,850 (0.3)	287 (0.0)	77 (0.0)	16 (0.1)	12,556 (0.1)
※静脈路確保	10,641 (2.8)	9,384 (0.5)	483 (0.0)	262 (0.0)	16 (0.1)	20,786 (0.1)
※薬剤投与	1,937 (0.5)	1,920 (0.1)	49 (0.0)	29 (0.0)	5 (0.0)	3,940 (0.0)
その他の処置	15,111 (3.9)	122,266 (6.0)	541,865 (8.3)	710,807 (8.8)	3,409 (16.7)	1,393,458 (8.2)
合 計	384,632 (100.0)	2,018,766 (100.0)	6,545,525 (100.0)	8,061,768 (100.0)	20,404 (100.0)	17,031,095 (100.0)
拡大された応急処置等	199,779	1,273,201	4,469,330	5,665,788	12,781	11,620,879

(注) 第44表・第45表解説

- 1 1人につき複数の応急処置等を行うこともあるため、応急処置等対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の計の数とは一致しない。
- 2 () 内は構成比を示し、単位は%である。
- 3 ※は拡大された応急処置等の項目である。
- 4 応急処置等の項目は、次により記載した。
 - (1) 止血:止血帯・包帯等による止血処置
 - (2) 被覆:創傷をガーゼ等で被覆し、包帯をする創面保護
 - (3) 固定:副子等による固定又は安静保持
 - (4) 保温:傷病者の傷病状況から体温を保持する必要がある場合に行う保温処置
 - (5) 酸素吸入:酸素吸入器による酸素吸入
 - (6) 人工呼吸:口移し又は器具等による人工呼吸
 - (7) 胸骨圧迫:胸骨圧迫による心マッサージ
 - (8) 心肺蘇生:心肺機能停止状態の傷病者に行う気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫を合わせた処置
 - (9) 自動式心マッサージ器:自動式心マッサージ器を使用した胸骨圧迫、心肺蘇生
 - (10) 在宅療法継続:在宅療法継続中の傷病者に対して、その療法維持のために行った必要な処置(安全確保等に留意し観察等を行ったことを含む)及び在宅療法に異常のあった場合に行った応急処置
 - (11) ショックパンツ:ショックパンツを使用した血圧保持(骨折肢の固定を含む)
 - (12) 血圧測定:血圧計を使用しての血圧測定
 - (13) 心音・呼吸音聴取:聴診器を使用しての心音・呼吸音の聴取
 - (14) 血中酸素飽和度測定:動脈血酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度の測定
 - (15) 心電図測定:心電計を使用しての心電図測定及び伝送
 - (16) 気道確保:気道確保のための処置並びに口腔内の清拭及び吸引をいう。(経鼻エアウェイ、喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去法、救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保については内数として記載)
 - (17) 気管挿管:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、気管チューブを用いて行う気道確保をいう。
 - (18) 除細動:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、自動体外式除細動器による除細動
 - (19) 静脈路確保:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち静脈路確保のための輸液
 - (20) 薬剤投与:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち静脈路よりの薬剤(アドレナリン)の投与
 - (21) その他:上記以外の応急処置
- 5 気管挿管処置件数については、救急救命士が実施可能とされた平成16年7月以降の実施件数である。
- 6 除細動処置件数は、平成16年7月から可能となった救急救命士以外の救急隊員による実施分も含む。
- 7 薬剤投与処置件数については、救急救命士が実施可能とされた平成18年4月以降の実施件数である。

11 応急手当の普及啓発活動等の状況及び応急手当の救命効果

(1) 応急手当の普及啓発活動等の状況

応急手当の普及啓発活動については、「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」(平成5年3月30日付け消防救第41号消防庁次長通知 平成18年8月一部改正)に基づき行われている。

その内容としては、リーダー育成として応急手当指導員講習(普通救命講習又は上級救命講習の指導にあたる応急手当指導員を養成する講習)及び応急手当普及員講習(事業所又は防災組織等において当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対して行う普通救命講習の指導に当たる応急手当普及員を養成する講習)、バイスタンダー育成として普通救命講習(自動体外式除細動器(AED)の使用法を含む成人を対象とする心肺蘇生法、並びに大出血時の止血法の講習)及び上級救命講習(普通救命講習の内容に加え、小児・幼児・新生児の心肺蘇生法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法の講習)が行われている。

平成19年中に応急手当指導員養成講習は996回開催され、修了者数は9,253名であった。

一方、応急手当普及員養成講習は794回開催され、修了者数は1万3,948名であった。

地域住民等に対する応急手当普及啓発活動については、全国で普通救命講習は7万5,378回開催され、149万9,485名が受講し、上級救命講習は3,675回開催され、7万2,843名が受講したことから、受講者は150万人を突破した。

消防機関における普及啓発用資器材の保有状況は、蘇生訓練用人形が成人用1万6,712体、乳児用8,065体、外傷用模型セットが587セット、また、訓練用AEDが8,730個である。(第46表、別表10及び別表11参照)

第46表 応急手当普及啓発活動状況

(単位：人)

区分年	指導員 講習等 修了者数	普及員 講習等 修了者数	普通講習 受講者数	上級講習 受講者数
平成6年中	20,887	4,646	246,356	10,680
平成7年中	13,690	7,292	395,045	19,212
平成8年中	10,144	6,208	491,300	25,758
平成9年中	9,329	7,037	589,798	33,670
平成10年中	8,983	7,244	655,700	34,807
平成11年中	9,796	8,006	797,979	41,135
平成12年中	10,175	7,966	861,699	48,393
平成13年中	7,996	7,626	901,039	53,795
平成14年中	7,579	7,999	970,898	58,410
平成15年中	7,979	8,983	1,081,946	61,746
平成16年中	6,918	9,494	1,053,715	65,895
平成17年中	9,004	10,385	1,147,904	68,081
平成18年中	9,391	10,612	1,388,212	78,922
平成19年中	9,253	13,948	1,499,485	72,843

(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

(2) 応急手当の救命効果

平成19年中の救急自動車による現場到着所要平均時間は約7.0分であるが、それまでに救急現場近くの一般住民による応急手当が適切に実施されれば、より高い救命効果が期待できる。

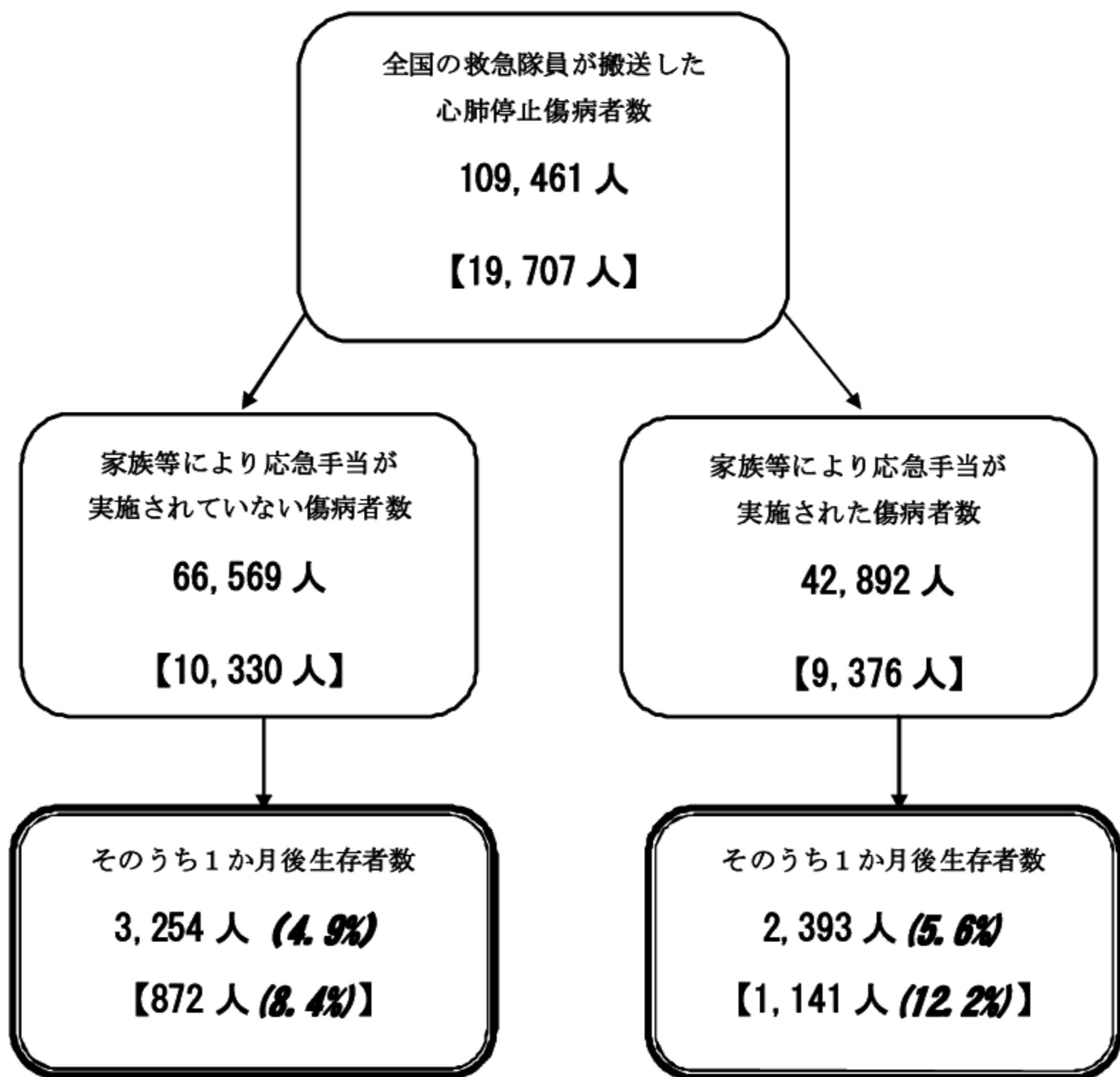
平成19年中における全国の救急隊が搬送したすべての心肺停止傷病者うち、救急隊の到着時に家族等により応急手当が実施されている場合の傷病者の1か月後の生存者数の割合と、応急手当が実施されていない場合の割合を比較すると、第47図のとおり家族等により応急手当が実施されている場合の方が、0.7ポイント(約1.1倍)その救命効果が向上している。

また、心肺停止の時点が目撃された傷病者に限ってみると、救急隊の到着時に家族等により応急手当が実施されている場合の傷病者の1か月後の生存者数の割合と、応急手当が実施されていない場合の割合を比較すると、第47図のとおり家族等により応急手当が実施されている場合の方が、3.8ポイント(約1.5倍)その救命効果が向上している。

救急蘇生指標の集計を開始した平成6年からの推移を示したのが第48表である。家族等により応急手当が実施された傷病者の割合が年々増加している。(第49図参照)

第47図 応急手当の救命効果

(平成 19 年中)



(注) 【 】内は各々の項目のうち、心肺停止の時点が市民により目撃された心原性の傷病者数である。

第48表 応急手当の救命効果の推移

(単位：人)

	救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者数	家族等により応急手当が実施された傷病者数		家族等による応急手当が実施されない傷病者数	
		うち1か月後生存者数	うち1か月後生存者数	うち1か月後生存者数	うち1か月後生存者数
平成6年	31,206 (100.0)	4,172 (13.4)	185 (4.4)	27,034 (86.6)	617 (2.3)
平成7年	72,016 (100.0)	9,389 (13.0)	437 (4.7)	62,627 (87.0)	1,531 (2.4)
平成8年	72,542 (100.0)	10,954 (15.1)	446 (4.1)	61,588 (84.9)	1,488 (2.4)
平成9年	76,272 (100.0)	12,901 (16.9)	605 (4.7)	63,371 (83.1)	1,541 (2.4)
平成10年	80,970 (100.0)	15,923 (19.7)	830 (5.2)	65,047 (80.3)	1,733 (2.7)
平成11年	83,353 (100.0)	19,212 (23.0)	861 (4.5)	64,141 (77.0)	1,807 (2.8)
平成12年	84,899 (100.0)	21,121 (24.9)	881 (4.2)	63,778 (75.1)	1,964 (3.1)
平成13年	88,058 (100.0)	23,398 (26.6)	879 (3.8)	64,660 (73.4)	2,003 (3.1)
平成14年	91,691 (100.0)	25,491 (27.8)	1,065 (4.2)	66,200 (72.2)	2,160 (3.3)
平成15年	94,845 (100.0)	29,255 (30.8)	1,267 (4.3)	65,590 (69.2)	2,245 (3.4)
平成16年	94,920 (100.0)	31,815 (33.5)	1,376 (4.3)	63,105 (66.5)	2,363 (3.7)
平成17年	102,738 (100.0)	34,539 (33.6)	1,553 (4.5)	68,199 (66.4)	2,816 (4.1)
平成18年	105,942 (100.0)	37,381 (35.3)	1,912 (5.1)	68,561 (64.7)	3,029 (4.4)
平成19年	109,461 (100.0)	42,892 (39.2)	2,393 (5.6)	66,569 (60.8)	3,254 (4.9)
合計	1,188,913 (100.0)	318,443 (26.8)	14,690 (4.6)	870,470 (73.2)	28,551 (3.3)

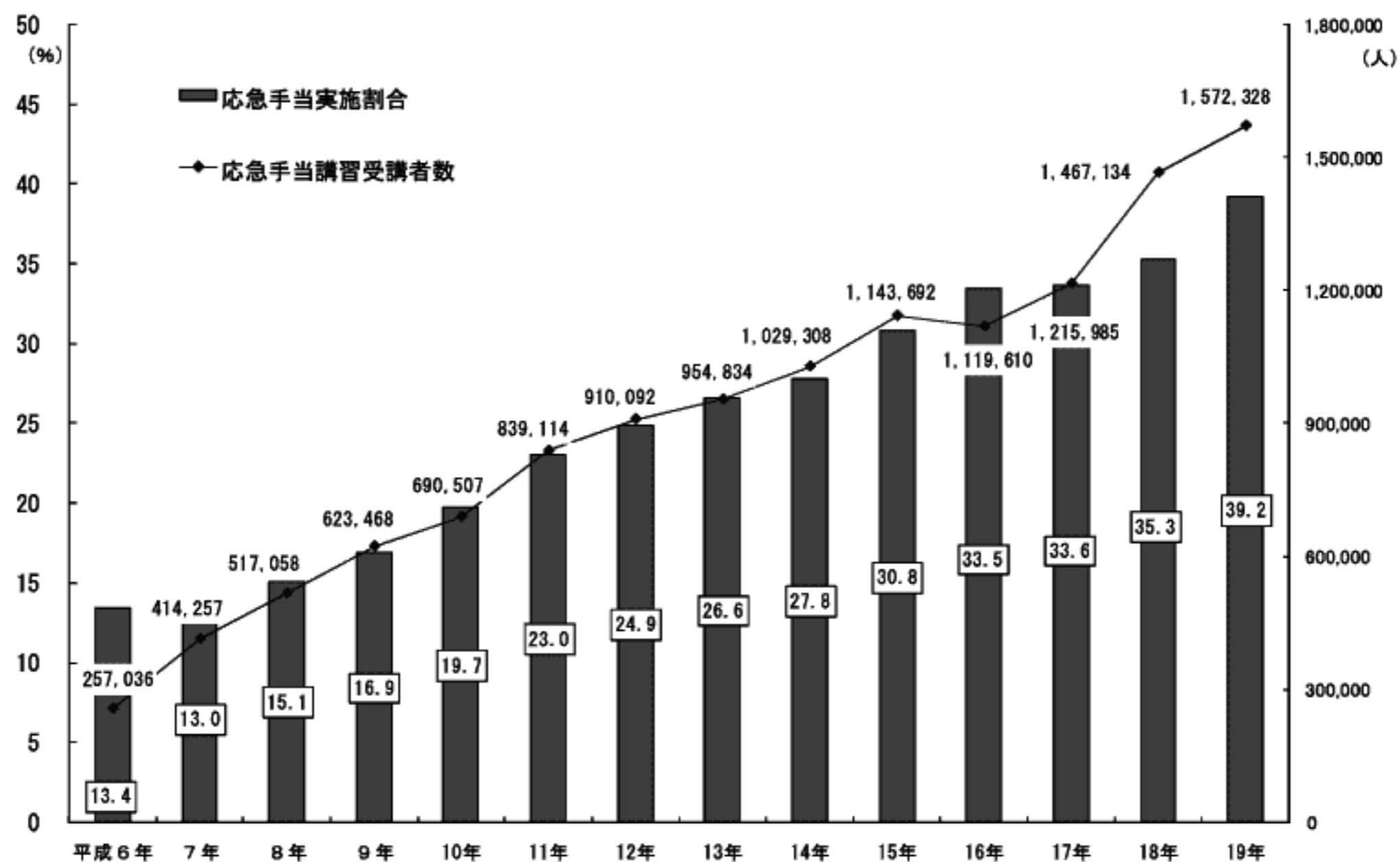
(注) 1 () 内は構成比(単位：%)を示す。

2 平成6年は7～12月まで、平成7年以降は1～12月までの数値である。

3 平成6年～平成16年については、救急蘇生指標に基づいた数値である。

4 平成17年～平成19年については、ウツタイン様式に基づいた数値である。

第49図 応急手当講習受講者数と心肺停止傷病者への応急手当実施率の推移



(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

第3 救急医療体制等

1 救急医療機関

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき、救急隊により搬送される傷病者に関する医療を担当する医療機関として都道府県知事の告示を受けた救急病院及び救急診療所(以下「救急医療機関」という。)の状況を示したのが第50表である。全国で4,370箇所の救急医療機関があり、人口10万人あたりの救急医療機関数の全国平均は3.4箇所となっている。

(別表12参照)

第50表 開設者別救急医療機関の状況

(平成20年4月1日現在)

開設者 区分	公設医療機関				私的 医療機関	合計
	国立	公立	公的等	小計		
救急病院	167	738	367	1,272	2,692	3,964
救急診療所					406	406
合計	167	738	367	1,272	3,098	4,370

2 メディカルコントロール体制の構築と救急救命処置範囲の拡大について

救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を向上させ、救急業務を円滑に実施するためには、消防機関と医療機関との連携が必要不可欠であり、それぞれの地域における救急に係る諸課題について関係機関が恒常に協議する場として、消防機関と救急医療機関との連絡協議会(メディカルコントロール協議会)を設置するよう推進してきた。平成16年中に各都道府県単位及び各地域単位のメディカルコントロール協議会について、全て設置が完了し、救急業務の質的向上に積極的に取り組んでいるところである。

救命効果の向上を図るための、救急救命士の処置範囲の拡大については、メディカルコントロール体制の整備を前提とした上で、平成15年4月から医師の包括的指示下による除細動、平成16年7月からは医師の具体的指示下における気管挿管が可能となり、さらに平成18年4月からは医師の具体的指示下において薬剤(アドレナリン)の使用が認められている。

また、平成19年中に救急隊が搬送した心肺停止傷病者のうち、心原性による心肺停止の時点が目撃された傷病者について、救急救命士によって処置された場合と、一般隊員によって処置された場合の1ヵ月後の生存者数と割合は、以下のとおりである。(第51表参照)

第51表 心肺停止傷病者搬送における救急救命士の乗車状況

救急隊が 搬送した 心肺停止 傷病者 総数	一般市民により 心肺停止の 時点が 目撲された 心原性の傷病者 数	救急救命士 によって 処置された 傷病者数				一般救急隊 員 によって 処置された 傷病者数				1ヵ月後 生存者 合計		社会復帰者 合計				
		うち1ヵ月後生存者 数	(%)	うち社会復帰者 数	(%)	うち1ヵ月後生存者 数	(%)	うち社会復帰者 数	(%)	合計	(%)	合計	(%)			
平成17年	102,738	17,882	16,443	1,246	7.6	573	3.5	1,439	36	2.5	14	1.0	1,282	7.2	587	3.3
平成18年	105,942	18,897	17,660	1,549	8.8	748	4.2	1,237	42	3.4	20	1.6	1,591	8.4	768	4.1
平成19年	109,461	19,707	18,643	1,935	10.4	1,147	6.2	1,063	78	7.3	48	4.5	2,013	10.2	1,195	6.1

(注) 本表については、ウツタイン様式に基づいた数値である。

平成19年中については、救急救命士によって処置されたか否かが不明の事案が1件あるため、合計数が合致しないものである。

別表1 救急業務実施市町村数

(平成20年4月1日現在)

	市町村数				救急業務実施市町村数												未実施			実施率 (B)/(A) (%)				
	市	町	村	計(A)	単独実施				組合実施				委託実施				計							
					市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計(B)	町	村	計	
北海道	35	130	15	180	20	6	0	26	15	123	15	153	0	1	0	1	35	130	15	180	0	0	0	100.0
青森	10	22	8	40	3	1	0	4	7	21	8	36	0	0	0	0	10	22	8	40	0	0	0	100.0
岩手	13	16	6	35	4	0	0	4	9	14	6	29	0	2	0	2	13	16	6	35	0	0	0	100.0
宮城	13	22	1	36	5	0	0	5	8	22	1	31	0	0	0	0	13	22	1	36	0	0	0	100.0
秋田	13	9	3	25	6	1	0	7	7	8	2	17	0	0	1	1	13	9	3	25	0	0	0	100.0
山形	13	19	3	35	9	2	0	11	4	13	3	20	0	4	0	4	13	19	3	35	0	0	0	100.0
福島	13	32	15	60	2	0	0	2	11	32	15	58	0	0	0	0	13	32	15	60	0	0	0	100.0
茨城	32	10	2	44	15	4	1	19	17	5	1	23	0	1	0	1	32	10	2	44	0	0	0	100.0
栃木	14	17	0	31	5	0	0	5	9	16	0	25	0	1	0	1	14	17	0	31	0	0	0	100.0
群馬	12	16	10	38	4	0	0	4	7	14	9	30	1	2	1	4	12	16	10	38	0	0	0	100.0
埼玉	40	29	1	70	20	3	0	23	20	25	1	46	0	1	0	1	40	29	1	70	0	0	0	100.0
千葉	36	17	3	56	22	1	0	23	14	15	3	32	0	1	0	1	36	17	3	56	0	0	0	100.0
東京	27	5	8	40	3	2	1	6	0	0	0	0	24	3	1	28	27	5	2	34	0	6	6	85.0
神奈川	19	13	1	33	18	7	0	25	1	5	0	6	0	1	1	2	19	13	1	33	0	0	0	100.0
新潟	20	7	4	31	12	1	0	13	8	4	1	13	0	2	3	5	20	7	4	31	0	0	0	100.0
富山	10	4	1	15	8	4	0	12	2	0	0	2	0	0	1	1	10	4	1	15	0	0	0	100.0
石川	10	9	0	19	4	2	0	6	6	7	0	13	0	0	0	0	10	9	0	19	0	0	0	100.0
福井	9	8	0	17	3	1	0	4	6	7	0	13	0	0	0	0	9	8	0	17	0	0	0	100.0
山梨	13	9	6	28	5	0	0	5	8	9	3	20	0	0	3	3	13	9	6	28	0	0	0	100.0
長野	19	25	37	81	2	0	0	2	17	21	34	72	0	4	3	7	19	25	37	81	0	0	0	100.0
岐阜	21	19	2	42	14	1	0	15	6	18	1	25	1	0	1	2	21	19	2	42	0	0	0	100.0
静岡	23	18	0	41	14	3	0	17	9	12	0	21	0	3	0	3	23	18	0	41	0	0	0	100.0
愛知	35	24	2	61	25	3	0	28	10	18	1	29	0	3	1	4	35	24	2	61	0	0	0	100.0
三重	14	15	0	29	10	1	0	11	3	6	0	9	1	8	0	9	14	15	0	29	0	0	0	100.0
滋賀	13	13	0	26	3	0	0	3	10	10	0	20	0	3	0	3	13	13	0	26	0	0	0	100.0
京都	15	10	1	26	9	2	0	11	6	6	1	13	0	2	0	2	15	10	1	26	0	0	0	100.0
大阪	33	9	1	43	23	5	0	28	10	1	0	11	0	2	1	3	33	8	1	42	1	0	1	97.7
兵庫	29	12	0	41	25	2	0	27	4	3	0	7	0	7	0	7	29	12	0	41	0	0	0	100.0
奈良	12	15	12	39	6	0	0	6	6	15	8	29	0	0	2	2	12	15	10	37	0	2	2	94.9
和歌山	9	20	1	30	7	6	0	13	2	10	0	12	0	3	0	3	9	19	0	28	1	1	2	93.3
鳥取	4	14	1	19	0	0	0	0	4	14	1	19	0	0	0	0	4	14	1	19	0	0	0	100.0
島根	8	12	1	21	5	0	0	5	3	10	1	14	0	2	0	2	8	12	1	21	0	0	0	100.0
岡山	15	10	2	27	10	0	0	10	5	8	0	13	0	2	2	4	15	10	2	27	0	0	0	100.0
広島	14	9	0	23	9	2	0	11	5	2	0	7	0	5	0	5	14	9	0	23	0	0	0	100.0
山口	13	7	0	20	10	0	0	10	3	5	0	8	0	2	0	2	13	7	0	20	0	0	0	100.0
徳島	8	15	1	24	5	0	0	5	3	13	0	16	0	0	0	0	8	13	0	21	2	1	3	87.5
香川	8	9	0	17	4	1	0	5	4	4	0	8	0	3	0	3	8	8	0	16	1	0	1	94.1
愛媛	11	9	0	20	7	3	0	10	4	6	0	10	0	0	0	0	11	9	0	20	0	0	0	100.0
高知	11	17	6	34	8	0	0	8	3	16	5	24	0	1	1	2	11	17	6	34	0	0	0	100.0
福岡	28	34	4																					

別表2 救急業務実施市町村人口

(平成20年4月1日現在)

	市町 村数	17年国調	実施市町村合計		単独実施市町村		組合実施市町村		委託実施市町村		実施率 (B)/(A)
		人 口(A)	市町 村数	人 口(B)	市町 村数	人 口	市町 村数	人 口	市町 村数	人 口	
北海道	180	5,627,737	180	5,627,737	26	3,904,187	153	1,713,153	1	10397	100.0%
青森	40	1,436,657	40	1,436,657	4	130,908	36	1,305,749	0	0	100.0%
岩手	35	1,385,041	35	1,385,041	4	286,957	29	1,079,652	2	18432	100.0%
宮城	36	2,360,218	36	2,360,218	5	1,307,245	31	1,052,973	0	0	100.0%
秋田	25	1,145,501	25	1,145,501	7	689,519	17	452,875	1	3107	100.0%
山形	35	1,216,181	35	1,216,181	11	766,157	20	405,259	4	44,765	100.0%
福島	60	2,091,319	60	2,091,319	2	645,361	58	1,445,958	0	0	100.0%
茨城	44	2,975,167	44	2,975,167	20	1,737,279	23	1,214,895	1	22,993	100.0%
栃木	31	2,016,631	31	2,016,631	5	1,020,741	25	969,983	1	25,907	100.0%
群馬	38	2,024,135	38	2,024,135	4	862,367	30	1,007,699	4	154069	100.0%
埼玉	70	7,054,243	70	7,054,243	23	4,504,529	46	2,512,653	1	37,061	100.0%
千葉	56	6,056,462	56	6,056,462	23	4,877,061	32	1,172,696	1	6705	100.0%
東京	40	12,576,601	34	12,567,835	6	8,701,453	0	0	28	3,866,382	99.9%
神奈川	33	8,791,597	33	8,791,597	25	8,667,362	6	112,014	2	12,221	100.0%
新潟	31	2,431,459	31	2,431,459	13	1,752,663	13	652,482	5	26,314	100.0%
富山	15	1,111,729	15	1,111,729	12	1,001,487	2	107,569	1	2,673	100.0%
石川	19	1,174,026	19	1,174,026	6	736,128	13	437,898	0	0	100.0%
福井	17	821,592	17	821,592	4	354,712	13	466,880	0	0	100.0%
山梨	28	884,515	28	884,515	5	239,841	20	640,861	3	3,813	100.0%
長野	81	2,196,114	81	2,196,114	2	432,180	72	1,710,941	7	52,993	100.0%
岐阜	42	2,107,226	42	2,107,226	15	1,296,596	25	758,638	2	51,992	100.0%
静岡	41	3,792,377	41	3,792,377	17	3,001,908	21	745,793	3	44,676	100.0%
愛知	61	7,254,704	61	7,254,704	28	5,848,745	29	1,371,908	4	34,051	100.0%
三重	29	1,866,963	29	1,866,963	11	1,374,748	9	346,249	9	145,966	100.0%
滋賀	26	1,380,361	26	1,380,361	3	487,448	20	869,247	3	23,666	100.0%
京都	26	2,647,660	26	2,647,660	11	2,209,332	13	419,317	2	19,011	100.0%
大阪	43	8,817,166	42	8,804,269	28	6,621,255	11	2,154,753	3	28,261	99.9%
兵庫	41	5,590,601	41	5,590,601	27	5,168,504	7	258,554	7	163,543	100.0%
奈良	39	1,421,310	37	1,416,177	6	708,950	29	705,213	2	2,014	99.6%
和歌山	30	1,035,969	28	1,031,893	13	769,422	12	238,977	3	23,494	99.6%
鳥取	19	607,012	19	607,012	0	0	19	607,012	0	0	100.0%
島根	21	742,223	21	742,223	5	490,498	14	210,088	2	41637	100.0%
岡山	27	1,957,264	27	1,957,264	10	1,541,307	13	387,293	4	28,664	100.0%
広島	23	2,876,642	23	2,876,642	11	2,124,678	7	658,221	5	93,743	100.0%
山口	20	1,492,606	20	1,492,606	10	1,179,256	8	301,629	2	11,721	100.0%
徳島	24	809,950	21	798,892	5	485,715	16	313,177	0	0	98.6%
香川	17	1,012,400	16	1,008,862	5	644,584	8	292,400	3	71,878	99.7%
愛媛	20	1,467,815	20	1,467,815	10	1,145,003	10	322,812	0	0	100.0%
高知	34	796,292	34	796,292	8	548,676	24	240,022	2	7,594	100.0%
福岡	66	5,049,908	66	5,049,908	12	3,178,648	54	1,871,260	0	0	100.0%
佐賀	20	866,369	20	866,369	3	210,876	16	648,755	1	6,738	100.0%
長崎	23	1,478,632	23	1,478,632	7	891,556	8	424,467	8	162,609	100.0%
熊本	48	1,842,233	48	1,842,233	1	669,603	47	1,172,630	0	0	100.0%
大分	18	1,209,571	18	1,209,571	12	1,042,346	5	164,756	1	2469	100.0%
宮崎	30	1,153,042	23	1,114,643	7	837,021	9	159,317	7	118,305	96.7%
鹿児島	46	1,753,179	44	1,752,044	8	1,021,973	36	730,071	0	0	99.9%
沖縄	41	1,361,594	29	1,340,447	11	1,023,794	18	316,653	0	0	98.4%
合計	1,789	127,767,994	1,753	127,661,845	491	87,140,579	1,127	35,151,402	135	5,369,864	99.9%

別表3の1 都道府県別救急体制

(平成20年4月1日現在)

区分 都道府県	救急自動車数					救急 隊数	救急隊員数					
	合計 (a)	高規格の 救急自動 車数(b)	高規格の 救急自動 車以外	比率 (b)/(a)	(a)の うち 非常用		合計	うち 女性	専任	うち 女性	兼任	うち 女性
北海道	386	243	143	63.0%	68	305	4,497	34	822	18	3,675	16
青森	109	62	47	56.9%	19	87	1,212	2	342	2	870	0
岩手	96	81	15	84.4%	12	82	1,228	6	224	1	1,004	5
宮城	103	84	19	81.6%	18	85	911	11	339	5	572	6
秋田	85	43	42	50.6%	11	74	893	1	128	1	765	0
山形	72	48	24	66.7%	10	60	853	3	136	2	717	1
福島	130	58	72	44.6%	12	118	1,476	6	157	3	1,319	3
茨城	164	132	32	80.5%	17	147	2,336	16	559	10	1,777	6
栃木	97	85	12	87.6%	14	82	979	7	378	3	601	4
群馬	106	97	9	91.5%	11	93	950	12	261	10	689	2
埼玉	251	222	29	88.4%	38	212	2,196	59	1,335	53	861	6
千葉	248	182	66	73.4%	44	207	2,028	35	1,280	33	748	2
東京	321	317	4	98.8%	84	237	2,142	87	2,118	87	24	0
神奈川	269	263	6	97.8%	64	204	1,818	62	1,618	61	200	1
新潟	152	89	63	58.6%	25	132	1,651	15	334	4	1,317	11
富山	63	58	5	92.1%	7	55	600	2	84	0	516	2
石川	54	49	5	90.7%	8	47	667	4	144	3	523	1
福井	54	40	14	74.1%	5	49	474	8	92	5	382	3
山梨	63	34	29	54.0%	9	54	614	0	154	0	460	0
長野	144	99	45	68.8%	27	113	1,747	16	169	4	1,578	12
岐阜	142	94	48	66.2%	21	124	1,426	14	118	5	1,308	9
静岡	158	103	55	65.2%	26	131	1,402	31	499	23	903	8
愛知	244	236	8	96.7%	27	216	3,027	33	1,057	18	1,970	15
三重	113	67	46	59.3%	13	99	1,629	12	152	4	1,477	8
滋賀	64	54	10	84.4%	6	58	833	5	197	3	636	2
京都	105	92	13	87.6%	22	80	1,090	17	401	15	689	2
大阪	280	259	21	92.5%	65	209	2,451	35	1,489	31	962	4
兵庫	206	198	8	96.1%	22	179	2,116	41	962	35	1,154	6
奈良	74	46	28	62.2%	12	62	900	6	183	4	717	2
和歌山	77	64	13	83.1%	14	66	802	13	126	8	676	5
鳥取	33	26	7	78.8%	3	31	516	2	65	0	451	2
島根	78	47	31	60.3%	13	65	701	6	75	3	626	3
岡山	109	74	35	67.9%	13	99	1,786	20	216	4	1,570	16
広島	159	131	28	82.4%	32	127	1,218	11	587	8	631	3
山口	85	72	13	84.7%	13	69	890	8	153	3	737	5
徳島	48	25	23	52.1%	7	40	576	2	130	2	446	0
香川	52	42	10	80.8%	9	42	420	3	215	2	205	1
愛媛	92	61	31	66.3%	14	76	705	1	216	1	489	0
高知	63	32	31	50.8%	15	46	679	4	101	4	578	0
福岡	173	147	26	85.0%	27	143	1,527	33	816	29	711	4
佐賀	49	43	6	87.8%	7	42	545	3	113	0	432	3
長崎	87	50	37	57.5%	13	73	694	1	141	1	553	0
熊本	113	58	55	51.3%	20	91	939	10	348	9	591	1
大分	72	47	25	65.3%	14	58	660	4	225	4	435	0
宮崎	46	45	1	97.8%	8	38	502	1	160	1	342	0
鹿児島	135	57	78	42.2%	31	105	996	3	279	3	717	0
沖縄	75	47	28	62.7%	16	59	920	7	138	4	782	3
合計	5,899	4,503	1,396	76.3%	986	4,871	59,222	712	19,836	529	39,386	183

別表3の2

資格別救急隊員数調

(平成20年4月1日現在)

都道府県	専任 合計	旧救急 I課程 修了者	旧救急 II課程 修了者	救急科【旧救急 標準課程 修了者含む】	救急 救命士 資格者	兼任 合計	旧救急 I課程 修了者	旧救急 II課程 修了者	救急科【旧救急 標準課程 修了者含む】	救急 救命士 資格者
北海道	822	2	158	189	473	3,675	166	1,349	1,193	967
青森	342	4	63	103	172	870	30	239	499	102
岩手	224	0	43	105	76	1,004	4	297	494	209
宮城	339	0	11	93	235	572	0	121	365	86
秋田	128	2	9	32	85	765	23	147	458	137
山形	136	0	3	38	95	717	50	296	275	96
福島	157	0	22	23	112	1,319	143	630	383	163
茨城	559	6	82	150	321	1,777	98	650	904	125
栃木	378	0	92	109	177	601	5	215	241	140
群馬	261	1	38	63	159	689	68	258	245	118
埼玉	1,335	0	116	533	686	861	81	220	401	159
千葉	1,280	3	230	476	571	748	49	171	374	154
東京	2,118	0	743	136	1,239	24	0	6	11	7
神奈川	1,618	39	216	389	974	200	12	73	71	44
新潟	334	6	55	91	182	1,317	117	479	501	220
富山	84	1	5	13	65	516	9	205	146	156
石川	144	0	7	32	105	523	18	161	244	100
福井	92	0	2	39	51	382	9	96	180	97
山梨	154	9	31	18	96	460	18	182	187	73
長野	169	0	54	43	72	1,578	32	732	446	368
岐阜	118	0	15	22	81	1,308	42	587	421	258
静岡	499	6	50	211	232	903	68	204	440	191
愛知	1,057	2	159	210	686	1,970	63	901	709	297
三重	152	10	1	5	136	1,477	78	798	460	141
滋賀	197	0	18	28	151	636	55	174	313	94
京都	401	0	42	112	247	689	45	229	267	148
大阪	1,489	16	77	464	932	962	88	204	435	235
兵庫	962	3	47	207	705	1,154	57	493	304	300
奈良	183	2	38	31	112	717	20	366	199	132
和歌山	126	0	14	13	99	676	35	219	231	191
鳥取	65	0	0	11	54	451	21	244	118	68
島根	75	0	8	19	48	626	3	305	192	126
岡山	216	0	14	51	151	1,570	33	800	576	161
広島	587	0	68	161	358	631	13	167	265	186
山口	153	0	24	34	95	737	53	204	303	177
徳島	130	2	11	48	69	446	12	194	160	80
香川	215	1	26	62	126	205	16	56	85	48
愛媛	216	0	17	54	145	489	19	184	187	99
高知	101	0	21	14	66	578	8	292	148	130
福岡	816	28	156	204	428	711	84	188	293	146
佐賀	113	1	11	21	80	432	43	132	167	90
長崎	141	0	18	42	81	553	30	257	122	144
熊本	348	0	43	108	197	591	120	96	293	82
大分	225	11	51	36	127	435	22	199	148	66
宮崎	160	0	9	47	104	342	0	149	115	78
鹿児島	279	1	23	62	193	717	40	256	311	110
沖縄	138	0	1	25	112	782	6	268	323	185
合計	19,836	156	2,942	4,977	11,761	39,386	2,006	14,693	15,203	7,484

別表4 救急自動車による都道府県別

区分 都道府県	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病
北海道	1,212	15	218	15,860	2,251	1,234	27,531	1,117	4,358	131,454
青 森	277	14	67	3,720	291	259	4,535	223	682	25,212
岩 手	157	3	37	4,206	415	404	4,816	174	691	26,974
宮 城	462	1	84	8,415	584	602	9,051	503	1,442	50,830
秋 田	160	4	42	2,979	330	303	4,402	110	535	24,364
山 形	211	1	26	3,649	309	269	4,507	109	573	24,522
福 島	240	3	52	7,784	665	651	8,396	299	1,026	45,370
茨 城	503	5	116	15,653	1,281	871	12,455	769	1,603	63,334
栃 木	336	3	50	9,959	717	446	7,231	433	1,184	39,813
群 馬	358	4	35	9,410	856	590	9,251	404	1,016	45,332
埼 玉	1,867	17	105	35,916	3,355	2,398	33,611	2,876	4,532	163,834
千 葉	1,362	4	176	29,791	2,495	1,559	33,122	2,570	3,582	155,746
東 京	3,899	18	589	75,637	5,074	5,651	108,228	8,575	6,185	438,474
神奈川	2,176	35	245	40,854	3,323	3,010	54,975	3,911	5,142	242,228
新潟	300	77	101	8,676	1,027	585	11,224	395	1,276	50,750
富 山	154	7	54	4,002	355	219	4,662	178	483	20,411
石 川	106	27	44	4,191	404	252	5,040	179	494	21,217
福 井	102	2	48	3,160	271	240	3,308	91	350	13,629
山 梨	162	2	16	4,524	341	395	4,566	163	525	19,852
長 野	326	6	58	7,946	826	679	11,670	321	862	48,388
岐 阜	163	3	76	10,537	904	582	9,419	383	971	44,333
静 岡	592	16	157	16,142	1,803	1,071	17,621	766	1,661	82,691
愛 知	1,352	3	168	34,960	3,071	1,696	33,277	2,156	3,582	179,311
三 重	306	7	70	8,920	887	480	9,456	453	841	45,864
滋 賀	240	3	37	7,471	745	487	6,586	293	640	32,159
京 都	499	3	76	17,045	904	777	15,689	994	1,595	72,671
大 阪	2,952	10	139	56,360	4,078	2,773	68,727	6,854	6,821	318,992
兵 庫	1,014	4	141	25,412	2,023	1,357	32,155	2,054	3,392	136,941
奈 良	197	7	28	6,768	609	376	8,130	326	703	34,008
和 歌 山	103	4	62	5,951	460	239	6,485	289	662	28,180
鳥 取	141	2	34	2,154	168	203	2,641	79	277	13,172
島 根	32	0	36	2,689	267	266	3,584	87	381	15,603
岡 山	281	5	61	10,215	761	408	9,509	406	848	42,605
広 島	369	5	113	14,545	1,099	899	15,471	695	1,398	64,279
山 口	307	3	55	6,300	542	476	8,679	282	786	36,488
徳 島	30	0	34	4,050	272	234	3,522	127	315	15,988
香 川	270	0	43	5,900	394	336	5,538	252	490	23,207
愛 媛	202	1	56	7,383	554	378	7,701	365	810	32,857
高 知	104	0	43	3,836	337	244	5,371	237	475	20,971
福 岡	643	6	206	22,021	1,558	1,370	26,591	1,579	3,336	124,708
佐 賀	125	2	36	3,741	247	258	3,729	154	376	15,902
長崎	58	0	68	4,245	283	385	6,955	212	646	30,495
熊 本	376	7	52	8,565	565	746	9,185	381	1,191	42,426
大 分	127	4	39	4,406	358	381	5,665	186	526	23,840
宮 崎	182	8	53	4,088	273	287	4,268	188	676	20,289
鹿児島	214	8	72	6,777	537	547	8,174	337	957	37,994
沖 縄	217	15	146	5,118	327	419	7,484	574	969	36,282
合 計	25,466	374	4,264	601,931	49,196	38,292	704,193	44,109	71,866	3,223,990
平成18年中	25,601	475	4,334	618,723	49,879	37,668	688,149	45,927	71,113	3,163,822
増減数	▲ 135	▲ 101	▲ 70	▲ 16,792	▲ 683	624	16,044	▲ 1,818	753	60,168
増減率	▲ 0.5	▲ 21.3	▲ 1.6	▲ 2.7	▲ 1.4	1.7	2.3	▲ 4.0	1.1	1.9

事故種別救急出場件数

(平成19年中)

転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	合計	平成18年中	増減数	対前年増減率(%)	人口 (平成17年 国勢調査値)	救急業務実施 市町村人口	人口1万人 あたりの救急出 場件数	区分 都道府県
27,770	389	13	4,250	217,672	219,614	▲ 1,942	▲ 0.9	5,627,737	5,627,737	386.8	北海道
5,807	29	27	336	41,479	41,297	-182	0.4	1,436,657	1,436,657	288.7	青森
5,320	14	2	201	43,414	42,974	-440	1.0	1,385,041	1,385,041	313.4	岩手
12,804	3	28	1,383	86,192	84,264	-1,928	2.3	2,360,218	2,360,218	365.2	宮城
3,107	5	1	351	36,693	36,445	-248	0.7	1,145,501	1,145,501	320.3	秋田
4,196	1	0	238	38,611	38,101	-510	1.3	1,216,181	1,216,181	317.5	山形
6,214	143	62	537	71,442	70,369	-1,073	1.5	2,091,319	2,091,319	341.6	福島
8,799	60	5	1,144	106,598	104,884	-1,714	1.6	2,975,167	2,975,167	358.3	茨城
7,558	13	5	666	68,414	67,341	-1,073	1.6	2,016,631	2,016,631	339.2	栃木
7,189	52	1	670	75,168	73,709	-1,459	2.0	2,024,135	2,024,135	371.4	群馬
19,373	59	105	3,448	271,496	269,185	-2,311	0.9	7,054,243	7,054,243	384.9	埼玉
22,054	85	44	5,599	258,189	256,607	-1,582	0.6	6,056,462	6,056,462	426.3	千葉
36,667	222	586	10,165	699,970	695,140	-4,830	0.7	12,576,601	12,567,835	557.0	東京
22,266	60	86	4,801	383,112	384,879	▲ 1,767	▲ 0.5	8,791,597	8,791,597	435.8	神奈川
9,106	267	2	943	84,729	82,207	-2,522	3.1	2,431,459	2,431,459	348.5	新潟
3,445	13	50	261	34,294	33,003	-1,291	3.9	1,111,729	1,111,729	308.5	富山
3,169	11	2	308	35,444	34,216	-1,228	3.6	1,174,026	1,174,026	301.9	石川
2,655	12	1	155	24,024	23,456	-568	2.4	821,592	821,592	292.4	福井
2,514	4	53	678	33,795	33,066	-729	2.2	884,515	884,515	382.1	山梨
8,047	121	9	597	79,856	78,876	-980	1.2	2,196,114	2,196,114	363.6	長野
6,002	32	28	303	73,736	73,270	-466	0.6	2,107,226	2,107,226	349.9	岐阜
14,623	56	19	1,382	138,600	136,510	-2,090	1.5	3,792,377	3,792,377	365.5	静岡
20,837	282	179	2,514	283,388	280,659	-2,729	1.0	7,254,704	7,254,704	390.6	愛知
5,826	2	5	292	73,409	70,362	-3,047	4.3	1,866,963	1,866,963	393.2	三重
3,024	0	0	306	51,991	51,386	-605	1.2	1,380,361	1,380,361	376.6	滋賀
5,876	5	2	1,559	117,695	117,489	-206	0.2	2,647,660	2,647,660	444.5	京都
27,192	5	5	3,369	498,277	497,960	-317	0.1	8,817,166	8,804,269	565.9	大阪
18,058	128	5	3,531	226,215	223,004	-3,211	1.4	5,590,601	5,590,601	404.6	兵庫
5,578	4	1	155	56,890	55,961	-929	1.7	1,421,310	1,416,177	401.7	奈良
3,907	6	5	316	46,669	45,305	-1,364	3.0	1,035,969	1,031,893	452.3	和歌山
2,409	51	5	88	21,424	21,717	▲ 293	▲ 1.3	607,012	607,012	352.9	鳥取
2,958	77	4	119	26,103	25,532	-571	2.2	742,223	742,223	351.7	島根
8,345	53	33	236	73,766	71,716	-2,050	2.9	1,957,264	1,957,264	376.9	岡山
14,409	104	17	1,243	114,646	112,249	-2,397	2.1	2,876,642	2,876,642	398.5	広島
7,517	92	14	644	62,185	62,767	▲ 582	▲ 0.9	1,492,606	1,492,606	416.6	山口
3,792	8	2	154	28,528	27,964	-564	2.0	809,950	798,892	357.1	徳島
5,320	41	20	278	42,089	41,380	-709	1.7	1,012,400	1,008,862	417.2	香川
6,569	10	0	285	57,171	57,416	▲ 245	▲ 0.4	1,467,815	1,467,815	389.5	愛媛
4,288	3	2	120	36,031	35,463	-568	1.6	796,292	796,292	452.5	高知
21,828	20	4	3,836	207,706	207,644	-62	0.0	5,049,908	5,049,908	411.3	福岡
5,589	54	0	331	30,544	29,710	-834	2.8	866,369	866,369	352.6	佐賀
8,338	20	31	836	52,572	52,167	-405	0.8	1,478,632	1,478,632	355.5	長崎
8,651	15	2	727	72,889	70,954	-1,935	2.7	1,842,233	1,842,233	395.7	熊本
8,619	16	30	469	44,666	43,447	-1,219	2.8	1,209,571	1,209,571	369.3	大分
6,076	14	4	208	36,614	34,930	-1,684	4.8	1,153,042	1,114,643	328.5	宮崎
11,186	9	3	1,171	67,986	66,842	-1,144	1.7	1,753,179	1,752,044	388.0	鹿児島
5,423	6	0	874	57,854	54,279	-3,575	6.6	1,361,594	1,340,447	431.6	沖縄
460,300	2,676	1,502	62,077	5,290,236	5,237,716	-52,520	1.0	127,767,994	127,661,845	414.4	合計
466,170	2,540	1,803	61,512	5,237,716							
▲ 5,870	136	▲ 301	565	52,520							
▲ 1.3	5.4	▲ 16.7	0.9	1.0							

別表5 救急自動車による都道府県別

区分 都道府県	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害
北海道	342	15	108	17,492	2,015	1,434	26,100	975
青 森	99	12	36	4,128	283	262	4,285	193
岩 手	78	1	17	4,688	409	405	4,544	149
宮 城	128	1	33	8,911	564	615	8,380	452
秋 田	62	4	20	3,296	315	308	4,094	102
山 形	88	2	15	4,194	310	276	4,288	103
福 島	114	4	31	8,624	637	664	7,979	272
茨 城	152	4	68	17,099	1,270	879	11,801	660
栃 木	96	7	27	10,843	702	454	6,720	363
群 馬	117	0	12	10,199	842	598	8,842	393
埼 玉	449	11	31	36,628	3,288	2,436	31,059	2,422
千 葉	390	1	87	31,595	2,448	1,570	30,824	2,246
東 京	1,181	11	315	75,350	5,009	5,649	98,737	7,518
神奈川	511	32	97	41,246	3,284	3,029	51,022	3,406
新潟	121	81	51	9,447	1,010	596	10,629	357
富 山	40	7	25	4,468	353	224	4,488	158
石 川	36	27	26	4,609	400	258	4,803	161
福 井	44	1	35	3,800	261	253	3,186	87
山 梨	63	4	10	4,947	331	376	3,954	131
長 野	121	4	26	9,285	827	697	11,269	295
岐 阜	101	3	35	11,886	919	554	9,070	326
静 岡	214	7	95	17,720	1,775	1,091	16,845	725
愛 知	394	2	80	35,705	3,003	1,698	31,098	1,890
三 重	106	8	36	10,188	868	489	9,079	436
滋 賀	57	1	21	8,300	726	490	6,226	273
京 都	133	3	28	17,579	890	806	14,898	944
大 阪	648	16	57	56,507	4,009	2,774	60,190	5,856
兵 庫	324	4	69	25,997	1,954	1,347	29,209	1,805
奈 良	66	8	20	7,104	590	394	7,723	296
和 歌 山	59	4	35	6,337	451	251	6,141	269
鳥 取	30	1	18	2,386	168	207	2,520	70
島 根	28	0	22	2,915	263	268	3,452	83
岡 山	123	5	41	10,766	741	408	9,110	366
広 島	150	3	62	14,625	1,056	903	14,509	589
山 口	86	3	38	6,561	532	484	8,253	246
徳 島	23	0	22	4,477	268	245	3,356	109
香 川	44	0	34	6,179	391	354	5,312	229
愛媛	63	1	31	7,790	538	392	7,385	343
高 知	34	0	33	3,931	322	253	5,071	214
福 岡	235	9	112	21,809	1,519	1,365	24,612	1,365
佐 賀	31	1	20	3,997	245	262	3,549	145
長崎	58	0	42	4,377	279	385	6,630	183
熊 本	93	7	26	8,547	535	760	8,529	317
大 分	63	2	30	4,759	351	399	5,421	174
宮 崎	34	7	31	4,129	264	284	3,889	162
鹿児島	83	7	51	7,257	514	550	7,671	295
沖縄	68	15	100	5,025	327	416	6,978	496
合 計	7,580	346	2,259	627,702	48,056	38,812	653,730	38,649
平成18年中	7,811	412	2,401	656,222	48,962	38,134	643,228	40,861
増減数	▲ 231	▲ 66	▲ 142	▲ 28,520	▲ 906	678	10,502	▲ 2,212
増減率	▲ 3.0	▲ 16.0	▲ 5.9	▲ 4.3	▲ 1.9	1.8	1.6	▲ 5.4

事故種別救急搬送人員

(平成19年中)

自損行為	急 病	その他の	合計	平成 18年中	増減数	対前年 増減率 (%)	区分
							都道府県
3,255	123,512	28,257	203,505	205,845	▲ 2,340	▲ 1.1	北海道
407	23,297	5,820	38,822	38,792	30	0.1	青森
460	25,061	5,331	41,143	41,215	▲ 72	▲ 0.2	岩手
1,014	46,908	12,826	79,832	78,270	1,562	2.0	宮城
355	22,654	3,114	34,324	34,157	167	0.5	秋田
410	23,068	4,208	36,962	36,311	651	1.8	山形
710	42,643	6,305	67,983	67,175	808	1.2	福島
1,111	58,784	8,843	100,671	100,077	594	0.6	茨城
796	36,342	7,603	63,953	63,837	116	0.2	栃木
748	42,458	7,259	71,468	70,613	855	1.2	群馬
3,241	148,869	19,491	247,925	248,962	▲ 1,037	▲ 0.4	埼玉
2,633	143,278	22,767	237,839	238,048	▲ 209	▲ 0.1	千葉
4,788	396,038	36,189	630,785	634,309	▲ 3,524	▲ 0.6	東京
4,126	222,460	22,600	351,813	356,648	▲ 4,835	▲ 1.4	神奈川
921	47,429	9,186	79,828	77,966	1,862	2.4	新潟
367	19,347	3,479	32,956	31,949	1,007	3.2	富山
361	20,083	3,199	33,963	32,811	1,152	3.5	石川
241	12,880	2,660	23,448	23,060	388	1.7	福井
394	18,476	3,266	31,952	31,535	417	1.3	山梨
645	45,812	8,081	77,062	76,337	725	0.9	長野
675	41,644	6,047	71,260	71,150	110	0.2	岐阜
1,276	77,827	14,814	132,389	130,924	1,465	1.1	静岡
2,755	164,227	21,035	261,887	261,839	48	0.0	愛知
617	43,240	5,848	70,915	68,185	2,730	4.0	三重
498	30,206	3,056	49,854	49,580	274	0.6	滋賀
1,213	67,251	5,951	109,696	109,949	▲ 253	▲ 0.2	京都
4,863	284,405	27,359	446,684	454,080	▲ 7,396	▲ 1.6	大阪
2,474	125,401	18,213	206,797	205,465	1,332	0.6	兵庫
523	31,601	5,599	53,924	53,017	907	1.7	奈良
514	26,473	3,942	44,476	43,449	1,027	2.4	和歌山
183	12,385	2,425	20,393	20,610	▲ 217	▲ 1.1	鳥取
257	14,831	2,960	25,079	24,619	460	1.9	島根
652	39,957	8,369	70,538	69,045	1,493	2.2	岡山
1,044	59,350	14,232	106,523	104,944	1,579	1.5	広島
559	34,182	7,563	58,507	59,359	▲ 852	▲ 1.4	山口
240	15,156	3,826	27,722	27,213	509	1.9	徳島
372	21,936	5,330	40,181	39,725	456	1.1	香川
617	30,988	6,663	54,811	54,982	▲ 171	▲ 0.3	愛媛
351	19,595	4,306	34,110	33,769	341	1.0	高知
2,527	115,332	22,296	191,181	191,325	▲ 144	▲ 0.1	福岡
278	14,971	5,626	29,125	28,621	504	1.8	佐賀
419	28,232	8,631	49,236	49,238	▲ 2	▲ 0.0	長崎
740	38,775	8,642	66,971	65,523	1,448	2.2	熊本
372	22,483	8,614	42,668	41,697	971	2.3	大分
467	18,409	6,118	33,794	32,627	1,167	3.6	宮崎
681	35,258	11,445	63,812	62,730	1,082	1.7	鹿児島
721	34,211	5,629	53,986	51,011	2,975	5.8	沖縄
52,871	2,967,725	465,023	4,902,753	4,892,593	10,160	0.2	合計
53,444	2,930,550	470,568	4,892,593				
▲ 573	37,175	▲ 5,545	10,160				
▲ 1.1	1.3	▲ 1.2	0.2				

別表6 救急自動車による都道府県別の医療機関別搬送人員の状況(その1)

(平成19年中)

区分 都道府県	救急医療機関					その他の医療機関						
	國立	公立	公的	私的	計(A)	國立	公立	公的	私的	計(B)		
	病院	診療所				病院	診療所					
北海道	9,258	46,604	29,005	86,191	2,418	173,476	584	3,753	644	13,802	10,857	29,640
青森	3,360	24,507	2,198	5,811	280	36,156	120	451	8	1,088	975	2,642
岩手	45	27,906	4,242	4,818	55	37,066	192	1,696	297	1,110	728	4,024
宮城	9,944	25,850	5,243	28,868	151	70,056	379	1,307	179	3,925	3,946	9,736
秋田	1,576	7,373	19,599	5,055	1	33,604	7	127	16	311	238	699
山形	1,576	27,927	1,715	4,746	10	35,974	50	60	2	530	334	976
福島	1,431	11,201	7,492	40,635	30	60,789	115	1,862	328	2,676	2,025	7,006
茨城	5,381	6,934	28,783	51,654	824	93,576	70	1,029	289	2,834	2,810	7,032
栃木	3,083	3,674	22,920	29,071	1,098	59,846	111	449	48	1,436	2,026	4,070
群馬	5,917	20,152	8,263	33,017	953	68,302	212	689	25	1,112	1,013	3,051
埼玉	6,287	27,789	21,933	168,937	4,043	228,989	419	3,569	131	9,426	5,319	18,864
千葉	11,844	36,295	19,008	135,104	1,357	203,608	1,059	6,355	652	18,370	7,586	34,022
東京	45,624	75,008	29,686	423,003	6,573	579,894	1,587	1,037	236	43,041	4,943	50,844
神奈川	14,878	60,533	30,725	179,106	4,007	289,249	2,363	17,520	1,181	32,854	8,334	62,252
新潟	6,526	23,812	20,807	23,661	78	74,884	564	979	353	1,155	1,809	4,860
富山	2,752	17,278	10,420	1,946	54	32,450	47	87	9	202	137	482
石川	3,982	13,689	4,595	10,213	447	32,926	246	57	46	404	277	1,030
福井	2,773	8,226	5,308	5,939	279	22,525	31	204	60	410	210	915
山梨	2,057	12,771	2,633	12,927	452	30,840	2	71	5	337	635	1,050
長野	5,310	22,320	26,540	19,496	182	73,848	76	384	140	798	1,231	2,629
岐阜	1,946	31,280	15,722	20,048	136	69,132	78	156	18	1,182	520	1,954
静岡	7,692	59,184	18,320	33,699	1,084	119,979	136	5,134	68	1,919	4,567	11,824
愛知	17,272	82,851	45,153	92,948	1,008	239,232	900	773	48	17,034	3,675	22,430
三重	3,442	27,023	20,458	16,313	262	67,498	433	191	99	1,256	1,418	3,397
滋賀	2,783	21,203	13,781	10,677	0	48,444	67	280	12	820	218	1,397
京都	7,166	16,689	17,112	64,619	21	105,607	125	101	88	3,389	355	4,058
大阪	8,618	53,354	27,435	312,728	2,678	404,813	1,964	7,665	1,502	24,052	6,278	41,461
兵庫	7,129	54,267	15,094	97,227	985	174,702	653	4,445	326	20,504	6,044	31,972
奈良	1,931	11,623	6,430	27,634	14	47,632	99	652	34	4,170	1,284	6,239
和歌山	5,455	16,343	9,088	10,856	514	42,256	6	230	23	620	1,312	2,191
鳥取	4,794	6,923	2,652	4,913	79	19,361	86	2	4	641	248	981
島根	4,440	10,843	6,268	2,590	3	24,144	107	23	124	448	101	803
岡山	6,082	9,444	7,007	42,243	1,139	65,915	30	116	203	2,721	1,265	4,335
広島	12,862	22,844	12,634	44,505	1,560	94,405	170	1,019	73	7,051	3,725	12,038
山口	11,070	12,252	18,046	12,351	250	53,969	191	297	22	1,594	2,130	4,234
徳島	1,218	9,281	9,634	5,324	214	25,671	125	9	62	1,278	562	2,036
香川	7,229	13,249	5,612	10,786	539	37,415	280	266	4	860	1,314	2,724
愛媛	1,522	14,671	8,022	24,143	210	48,568	587	2,180	69	1,904	1,489	6,229
高知	2,542	9,389	6,358	13,023	265	31,577	0	242	63	1,805	401	2,511
福岡	11,530	13,878	20,742	119,579	238	165,967	416	4,798	1,565	13,928	4,070	24,777
佐賀	5,359	5,020	3,200	10,951	344	24,874	52	285	28	2,037	1,819	4,221
長崎	6,844	12,018	6,324	17,528	0	42,714	187	718	436	2,387	2,528	6,256
熊本	11,997	14,079	10,955	19,783	358	57,172	1,133	713	71	5,200	2,408	9,525
大分	3,724	5,728	4,958	16,408	273	31,091	202	111	1,293	7,933	2,022	11,561
宮崎	1,691	8,246	577	15,681	519	26,714	9	83	85	2,990	3,871	7,038
鹿児島	1,722	10,121	1,836	33,354	1,424	48,457	564	967	24	8,111	5,397	15,063
沖縄	1,385	20,735	1,903	27,665	11	51,699	132	373	3	1,467	270	2,245
合計	303,049	1,072,387	616,436	2,377,774	37,420	4,407,066	16,966	73,515	10,996	273,122	114,725	489,324

別表6 救急自動車による都道府県別の医療機関別搬送人員の状況(その2)

(平成19年中)

区分 都道府県	医療機関合計						その他			全体合計	救急医療機関に対する搬送割合((A)/(C) × 100)	救急医療機関数(D)	左の1か所あたりの搬送人員((A)/(D))				
	國立	公立	公的	私的		計(C)	接骨院	その他	計								
				病院	診療所												
北海道	9,842	50,357	29,649	99,993	13,275	203,116	2	387	389	203,505	85.4	275	631				
青森	3,480	24,958	2,206	6,899	1,255	38,798	1	23	24	38,822	93.2	57	634				
岩手	237	29,602	4,539	5,928	784	41,090	0	53	53	41,143	90.2	57	650				
宮城	10,323	27,157	5,422	32,793	4,097	79,792	1	39	40	79,832	87.8	70	1,001				
秋田	1,583	7,500	19,615	5,366	239	34,303	0	21	21	34,324	98.0	31	1,084				
山形	1,626	27,987	1,717	5,276	344	36,950	0	12	12	36,962	97.4	37	972				
福島	1,546	13,063	7,820	43,311	2,055	67,795	2	186	188	67,983	89.7	59	1,030				
茨城	5,451	7,963	29,072	54,488	3,634	100,608	9	54	63	100,671	93.0	104	900				
栃木	3,194	4,123	22,968	30,507	3,124	63,916	1	36	37	63,953	93.6	74	809				
群馬	6,129	20,841	8,288	34,129	1,966	71,353	3	112	115	71,468	95.7	98	697				
埼玉	6,706	31,358	22,064	178,363	9,362	247,853	16	56	72	247,925	92.4	195	1,174				
千葉	12,903	42,650	19,660	153,474	8,943	237,630	8	201	209	237,839	85.7	147	1,385				
東京	47,211	76,045	29,922	466,044	11,516	630,738	4	43	47	630,785	91.9	338	1,716				
神奈川	17,241	78,053	31,906	211,960	12,341	351,501	11	301	312	351,813	82.3	181	1,598				
新潟	7,090	24,791	21,160	24,816	1,887	79,744	1	83	84	79,828	93.9	69	1,085				
富山	2,799	17,365	10,429	2,148	191	32,932	0	24	24	32,956	98.5	53	612				
石川	4,228	13,746	4,641	10,617	724	33,956	0	7	7	33,963	97.0	65	507				
福井	2,804	8,430	5,368	6,349	489	23,440	1	7	8	23,448	96.1	63	358				
山梨	2,059	12,842	2,638	13,264	1,087	31,890	2	60	62	31,952	96.7	44	701				
長野	5,386	22,704	26,680	20,294	1,413	76,477	374	211	585	77,062	96.6	95	777				
岐阜	2,024	31,436	15,740	21,230	656	71,086	4	170	174	71,260	97.3	72	960				
静岡	7,828	64,318	18,388	35,618	5,651	131,803	3	583	586	132,389	91.0	94	1,276				
愛知	18,172	83,624	45,201	109,982	4,683	261,662	6	219	225	261,887	91.4	204	1,173				
三重	3,875	27,214	20,557	17,569	1,680	70,895	1	19	20	70,915	95.2	70	964				
滋賀	2,850	21,483	13,793	11,497	218	49,841	0	13	13	49,854	97.2	33	1,468				
京都	7,291	16,790	17,200	68,008	376	109,665	0	31	31	109,696	96.3	94	1,123				
大阪	10,582	61,019	28,937	336,780	8,956	446,274	21	389	410	446,684	90.7	260	1,557				
兵庫	7,782	58,712	15,420	117,731	7,029	206,674	8	115	123	206,797	84.5	190	919				
奈良	2,030	12,275	6,464	31,804	1,298	53,871	0	53	53	53,924	88.4	42	1,134				
和歌山	5,461	16,573	9,111	11,476	1,826	44,447	1	28	29	44,476	95.1	63	671				
鳥取	4,880	6,925	2,656	5,554	327	20,342	0	51	51	20,393	95.2	22	880				
島根	4,547	10,866	6,392	3,038	104	24,947	0	132	132	25,079	96.8	24	1,006				
岡山	6,112	9,560	7,210	44,964	2,404	70,250	3	285	288	70,538	93.8	91	724				
広島	13,032	23,863	12,707	51,556	5,285	106,443	1	79	80	106,523	88.7	153	617				
山口	11,261	12,549	18,068	13,945	2,380	58,203	0	304	304	58,507	92.7	67	806				
徳島	1,343	9,290	9,696	6,602	776	27,707	0	15	15	27,722	92.7	37	694				
香川	7,509	13,515	5,616	11,646	1,853	40,139	0	42	42	40,181	93.2	73	513				
愛媛	2,109	16,851	8,091	26,047	1,699	54,797	0	14	14	54,811	88.6	61	796				
高知	2,542	9,631	6,421	14,828	666	34,088	0	22	22	34,110	92.6	39	810				
福岡	11,946	18,676	22,307	133,507	4,308	190,744	0	437	437	191,181	87.0	140	1,185				
佐賀	5,411	5,305	3,228	12,988	2,163	29,095	0	30	30	29,125	85.5	51	488				
長崎	7,031	12,736	6,760	19,915	2,528	48,970	1	265	266	49,236	87.2	63	678				
熊本	13,130	14,792	11,026	24,983	2,766	66,697	3	271	274	66,971	85.7	75	762				
大分	3,926	5,839	6,251	24,341	2,295	42,652	4	12	16	42,668	72.9	52	598				
宮崎	1,700	8,329	662	18,671	4,390	33,752	0	42	42	33,794	79.1	66	405				
鹿児島	2,286	11,088	1,860	41,465	6,821	63,520	1	291	292	63,812	76.3	96	505				
沖縄	1,517	21,108	1,906	29,132	281	53,944	1	41	42	53,986	95.8	26	1,988				
合計	320,015	1,145,902	627,432	2,650,896	152,145	4,896,390	494	5,869	6,363	4,902,753	90.0	4,370	1,008				

別表 7 の 1 現場到着所要時間別出場件数の状況
 (覚知から現場到着までの所要時間別出場件数)
 (平成19年中 単位：件)

区分 都道府県	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計	平均 (分)
北海道	13,003	60,217	119,512	22,382	2,558	217,672	6.2
青森	2,760	10,677	22,198	5,361	483	41,479	6.4
岩手	2,348	8,676	20,591	10,081	1,718	43,414	8.0
宮城	3,433	16,088	49,038	16,071	1,562	86,192	7.3
秋田	2,103	7,252	19,540	7,023	775	36,693	7.3
山形	1,360	6,700	21,956	7,920	675	38,611	7.5
福島	3,366	9,612	39,526	17,230	1,708	71,442	8.0
茨城	2,858	12,758	65,100	24,851	1,031	106,598	7.7
栃木	1,443	9,807	43,532	12,930	702	68,414	7.4
群馬	3,031	14,106	46,079	10,800	1,152	75,168	6.9
埼玉	3,992	30,099	187,289	48,282	1,834	271,496	7.4
千葉	8,594	44,219	153,125	50,189	2,062	258,189	7.2
東京	9,557	95,200	465,786	124,834	4,593	699,970	7.3
神奈川	9,189	74,541	257,507	40,722	1,153	383,112	6.5
新潟	2,751	13,495	50,543	16,519	1,421	84,729	7.5
富山	3,034	10,894	17,790	2,418	158	34,294	5.5
石川	1,983	9,885	19,407	3,916	253	35,444	6.2
福井	1,657	6,425	13,114	2,635	193	24,024	6.2
山梨	701	4,673	20,002	7,591	828	33,795	8.0
長野	3,414	12,991	44,427	16,634	2,390	79,856	7.9
岐阜	2,854	13,909	45,536	10,398	1,039	73,736	6.9
静岡	3,696	19,385	85,387	27,473	2,659	138,600	7.6
愛知	5,916	41,553	198,284	36,326	1,309	283,388	6.8
三重	2,563	10,296	44,461	15,149	940	73,409	7.5
滋賀	1,213	7,521	34,229	8,580	448	51,991	7.2
京都	6,295	37,516	64,310	8,452	1,122	117,695	5.8
大阪	39,582	150,867	277,564	29,568	696	498,277	5.9
兵庫	7,957	44,426	137,775	34,382	1,675	226,215	6.8
奈良	1,909	10,120	35,459	8,749	653	56,890	7.0
和歌山	2,866	9,814	26,359	6,855	775	46,669	6.8
鳥取	665	2,667	12,905	4,848	339	21,424	7.7
島根	624	2,642	14,523	7,288	1,026	26,103	8.8
岡山	2,022	9,752	44,268	16,020	1,704	73,766	7.9
広島	7,455	28,156	61,657	16,110	1,268	114,646	6.5
山口	2,428	12,049	35,558	11,207	943	62,185	7.2
徳島	1,871	6,963	15,002	4,098	594	28,528	6.7
香川	1,868	7,011	25,355	7,512	343	42,089	7.1
愛媛	2,294	8,508	34,353	10,668	1,348	57,171	7.6
高知	2,785	10,321	16,416	5,200	1,309	36,031	6.9
福岡	10,442	47,184	125,950	23,253	877	207,706	6.3
佐賀	599	3,681	18,703	7,165	396	30,544	7.9
長崎	1,234	7,455	28,510	14,131	1,242	52,572	8.2
熊本	2,419	9,253	46,013	13,941	1,263	72,889	7.6
大分	2,404	10,226	24,156	7,034	846	44,666	6.9
宮崎	1,165	5,408	20,049	9,013	979	36,614	8.1
鹿児島	4,509	15,176	33,635	13,343	1,323	67,986	7.2
沖縄	3,425	12,009	33,168	8,653	599	57,854	6.7
合計 (割合)	203,637 (3.9)	1,002,183 (18.9)	3,215,647 (60.8)	813,805 (15.4)	54,964 (1.0)	5,290,236 (100.0)	7.0 —

別表7の2 現場到着所要時間別出場件数の状況(構成比)
(覚知から現場到着までの所要時間別出場件数の構成比)

(平成19年中 単位:%)

区分 都道府県	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計
北海道	6.0	27.6	54.9	10.3	1.2	100.0
青森	6.7	25.7	53.5	12.9	1.2	100.0
岩手	5.4	20.0	47.4	23.2	4.0	100.0
宮城	4.0	18.7	56.9	18.6	1.8	100.0
秋田	5.7	19.8	53.3	19.1	2.1	100.0
山形	3.5	17.4	56.9	20.5	1.7	100.0
福島	4.7	13.5	55.3	24.1	2.4	100.0
茨城	2.7	12.0	61.1	23.3	0.9	100.0
栃木	2.1	14.4	63.6	18.9	1.0	100.0
群馬	4.0	18.8	61.3	14.4	1.5	100.0
埼玉	1.4	11.1	69.0	17.8	0.7	100.0
千葉	3.3	17.1	59.3	19.5	0.8	100.0
東京	1.4	13.6	66.5	17.8	0.7	100.0
神奈川	2.4	19.5	67.2	10.6	0.3	100.0
新潟	3.2	15.9	59.7	19.5	1.7	100.0
富山	8.8	31.8	51.9	7.0	0.5	100.0
石川	5.6	27.9	54.8	11.0	0.7	100.0
福井	6.9	26.7	54.6	11.0	0.8	100.0
山梨	2.1	13.8	59.2	22.5	2.4	100.0
長野	4.3	16.3	55.6	20.8	3.0	100.0
岐阜	3.9	18.9	61.7	14.1	1.4	100.0
静岡	2.7	14.0	61.6	19.8	1.9	100.0
愛知	2.1	14.7	70.0	12.8	0.4	100.0
三重	3.5	14.0	60.6	20.6	1.3	100.0
滋賀	2.3	14.5	65.8	16.5	0.9	100.0
京都	5.3	31.9	54.6	7.2	1.0	100.0
大阪	8.0	30.3	55.7	5.9	0.1	100.0
兵庫	3.5	19.6	60.9	15.2	0.8	100.0
奈良	3.4	17.8	62.3	15.4	1.1	100.0
和歌山	6.1	21.0	56.5	14.7	1.7	100.0
鳥取	3.1	12.5	60.2	22.6	1.6	100.0
島根	2.4	10.1	55.7	27.9	3.9	100.0
岡山	2.8	13.2	60.0	21.7	2.3	100.0
広島	6.5	24.6	53.8	14.0	1.1	100.0
山口	3.9	19.4	57.2	18.0	1.5	100.0
徳島	6.5	24.4	52.6	14.4	2.1	100.0
香川	4.4	16.7	60.2	17.9	0.8	100.0
愛媛	4.0	14.9	60.1	18.7	2.3	100.0
高知	7.7	28.7	45.6	14.4	3.6	100.0
福岡	5.0	22.7	60.7	11.2	0.4	100.0
佐賀	2.0	12.0	61.2	23.5	1.3	100.0
長崎	2.3	14.2	54.2	26.9	2.4	100.0
熊本	3.3	12.7	63.1	19.1	1.8	100.0
大分	5.4	22.9	54.1	15.7	1.9	100.0
宮崎	3.2	14.8	54.7	24.6	2.7	100.0
鹿児島	6.6	22.3	49.5	19.6	2.0	100.0
沖縄	5.9	20.8	57.3	15.0	1.0	100.0
合計	3.9	18.9	60.8	15.4	1.0	100.0

別表8の1 収容所要時間別搬送人員の状況
(覚知から医療機関等に収容するのに要した時間別搬送人員)

区分 都道府県	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合計		平均 (分)	区分 都道府県	
	10分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未�man	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満	10分以上 20分未満		
北海道	1,008 (18)	38,841 (710)	80,739 (5,719)	72,327 (16,751)	9,670 (6,254)	920 (596)	920 (752)	203,505 (30,204)	203,505 (30,204)	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	北海道
青森県	90 (1)	6,644 (62)	16,242 (645)	14,220 (2,561)	1,526 (596)	100 (71)	100 (71)	38,822 (3,936)	38,822 (3,936)	30.6	30.6	30.6	30.6	30.6	30.6	30.6	青森県
岩手県	77 (2)	4,598 (17)	13,193 (156)	19,514 (1,687)	3,449 (1,152)	312 (250)	312 (250)	41,143 (3,264)	41,143 (3,264)	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	岩手県
宮城県	103 (3)	6,778 (159)	25,411 (1,669)	41,662 (7,761)	5,641 (2,431)	237 (129)	237 (129)	79,832 (12,152)	79,832 (12,152)	35.8	35.8	35.8	35.8	35.8	35.8	35.8	宮城県
秋田県	122 (9)	6,575 (122)	12,583 (328)	13,258 (2,708)	1,720 (832)	66 (39)	66 (39)	34,324 (4,038)	34,324 (4,038)	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	秋田県
山形県	85 (2)	5,937 (270)	15,395 (2,575)	14,493 (5,065)	1,015 (507)	37 (25)	37 (25)	36,962 (8,444)	36,962 (8,444)	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	山形県
福島県	156 (1)	6,578 (101)	23,717 (937)	32,266 (6,798)	5,047 (2,333)	219 (162)	219 (162)	67,983 (10,332)	67,983 (10,332)	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	福島県
茨城県	124 (9)	5,894 (221)	20,745 (3,783)	57,345 (24,428)	6,254 (4,825)	309 (250)	309 (250)	100,671 (33,516)	100,671 (33,516)	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	茨城県
栃木県	62 (11)	3,844 (86)	20,092 (1,489)	35,350 (10,347)	4,397 (2,678)	208 (144)	208 (144)	63,953 (14,755)	63,953 (14,755)	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	栃木県
群馬県	139 (6)	10,354 (219)	29,793 (2,069)	28,397 (7,370)	2,660 (1,176)	125 (72)	125 (72)	71,468 (10,912)	71,468 (10,912)	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	群馬県
埼玉県	182 (35)	8,856 (628)	66,935 (9,326)	148,591 (48,933)	21,834 (13,448)	1,527 (1,102)	1,527 (1,102)	247,925 (73,472)	247,925 (73,472)	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	埼玉県
千葉県	281 (12)	14,863 (1,043)	72,486 (9,278)	130,525 (40,298)	18,565 (11,438)	1,119 (712)	1,119 (712)	237,839 (62,781)	237,839 (62,781)	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	千葉県
東京都	39 (11)	4,183 (65)	74,029 (1,143)	433,818 (9,770)	111,430 (3,583)	7,286 (293)	7,286 (293)	630,785 (14,865)	630,785 (14,865)	47.2	47.2	47.2	47.2	47.2	47.2	47.2	東京都
神奈川県	207 (8)	32,195 (1,229)	138,191 (13,931)	165,321 (36,635)	15,052 (5,806)	847 (402)	847 (402)	351,813 (58,011)	351,813 (58,011)	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	神奈川県
新潟県	70 (1)	6,835 (74)	25,175 (805)	42,025 (6,623)	5,528 (2,431)	195 (129)	195 (129)	79,828 (10,063)	79,828 (10,063)	35.8	35.8	35.8	35.8	35.8	35.8	35.8	新潟県
富山県	104 (0)	8,714 (324)	15,991 (2,330)	7,831 (2,274)	307 (146)	9 (7)	9 (7)	32,956 (5,081)	32,956 (5,081)	25.4	25.4	25.4	25.4	25.4	25.4	25.4	富山県
石川県	185 (11)	9,525 (280)	14,324 (1,908)	9,339 (3,907)	553 (367)	37 (31)	37 (31)	33,963 (6,504)	33,963 (6,504)	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	石川県
福井県	225 (5)	7,217 (190)	9,048 (1,484)	6,466 (2,930)	472 (294)	20 (14)	20 (14)	23,448 (4,917)	23,448 (4,917)	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	福井県
長野県	124 (3)	9,657 (63)	30,088 (853)	32,874 (4,487)	4,175 (1,276)	144 (65)	144 (65)	77,062 (6,747)	77,062 (6,747)	32.6	32.6	32.6	32.6	32.6	32.6	32.6	長野県
岐阜県	151 (7)	12,860 (662)	32,357 (4,706)	23,726 (9,061)	2,066 (1,123)	100 (64)	100 (64)	71,260 (15,623)	71,260 (15,623)	28.9	28.9	28.9	28.9	28.9	28.9	28.9	岐阜県
静岡県	215 (5)	14,264 (482)	52,675 (3,165)	59,141 (8,631)	5,789 (2,366)	305 (157)	305 (157)	132,389 (14,806)	132,389 (14,806)	32.3	32.3	32.3	32.3	32.3	32.3	32.3	静岡県
愛知県	232 (17)	35,142 (1,708)	126,699 (17,399)	95,722 (28,423)	3,912 (2,135)	180 (116)	180 (116)	261,887 (49,798)	261,887 (49,798)	28.8	28.8	28.8	28.8	28.8	28.8	28.8	愛知県
三重県	277 (2)	8,434 (64)	26,557 (888)	32,304 (5,349)	3,222 (1,948)	1,948 (1,211)	1,948 (1,211)	70,915 (8,352)	70,915 (8,352)	32.4	32.4	32.4	32.4	32.4	32.4	32.4	三重県
滋賀県	327 (38)	29,566 (1,705)	50,944 (5,731)	27,033 (6,205)	1,734 (785)	92 (51)	92 (51)	109,696 (14,515)	109,696 (14,515)	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	滋賀県
京都府	4,525 (106)	117,232 (8,642)	194,175 (32,991)	119,955 (43,267)	9,723 (5,367)	1,074 (755)	1,074 (755)	446,684 (91,128)	446,684 (91,128)	26.9	26.9	26.9	26.9	26.9	26.9	26.9	京都府
大阪府	540 (25)	34,640 (1,960)	84,163 (8,958)	80,819 (18,293)	6,328 (3,126)	307 (195)	307 (195)	206,797 (32,557)	206,797 (32,557)	30.2	30.2	30.2	30.2	30.2	30.2	30.2	大阪府
兵庫県	198 (23)	7,991 (731)	19,007 (4,279)	23,096 (12,356)	3,395 (2,739)	237 (181)	237 (181)	53,924 (20,309)	53,924 (20,309)	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4	兵庫県
奈良県	307 (30)	9,875 (601)	18,457 (2,645)	13,615 (6,396)	2,105 (1,322)	117 (92)	117 (92)	44,476 (11,086)	44,476 (11,086)								

別表8の2 収容所要時間別搬送人員の状況(構成比)
(覚知から医療機関等に収容するのに要した時間別搬送人員の構成比)

都道府県	区分	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合計	区分	
		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
北海道	0.5 (0.1)	19.1 (2.3)	39.7 (18.9)	35.5 (55.5)	4.7 (20.7)	0.5 (2.5)	100.0									北海道
青森県	0.2 (0.0)	17.1 (1.6)	41.9 (16.4)	36.6 (65.1)	3.9 (15.1)	0.3 (1.8)	100.0									青森県
岩手県	0.2 (0.1)	11.2 (0.5)	32.1 (4.8)	47.4 (51.7)	8.4 (35.3)	0.7 (7.6)	100.0									岩手県
宮城県	0.1 (0.0)	8.5 (1.3)	31.8 (13.7)	52.2 (63.9)	7.1 (20.0)	0.3 (1.1)	100.0									宮城県
秋田県	0.3 (0.2)	19.2 (3.0)	36.7 (8.1)	38.6 (67.1)	5.0 (20.6)	0.2 (1.0)	100.0									秋田県
山形県	0.2 (0.0)	16.1 (3.2)	41.7 (30.5)	39.2 (60.0)	2.7 (6.0)	0.1 (0.3)	100.0									山形県
福島県	0.2 (0.0)	9.7 (1.0)	34.9 (9.1)	47.5 (65.8)	7.4 (22.6)	0.3 (1.5)	100.0									福島県
茨城県	0.1 (0.0)	5.9 (0.7)	30.5 (11.3)	57.0 (72.9)	6.2 (14.4)	0.3 (0.7)	100.0									茨城県
栃木県	0.1 (0.1)	6.0 (0.6)	31.4 (10.1)	55.3 (70.1)	6.9 (18.1)	0.3 (1.0)	100.0									栃木県
群馬県	0.2 (0.0)	14.5 (2.0)	41.7 (19.0)	39.7 (67.5)	3.7 (10.8)	0.2 (0.7)	100.0									群馬県
埼玉県	0.1 (0.0)	3.6 (0.9)	27.0 (12.7)	59.9 (66.6)	8.8 (18.3)	0.6 (1.5)	100.0									埼玉県
千葉県	0.1 (0.0)	6.2 (1.7)	30.5 (14.8)	54.9 (64.2)	7.8 (18.2)	0.5 (1.1)	100.0									千葉県
東京都	0.0 (0.1)	0.7 (0.4)	11.7 (7.7)	68.8 (65.7)	17.7 (24.1)	1.1 (2.0)	100.0									東京都
神奈川県	0.1 (0.0)	9.1 (2.1)	39.3 (24.0)	47.0 (63.2)	4.3 (10.0)	0.2 (0.7)	100.0									神奈川県
新潟県	0.1 (0.0)	8.6 (0.7)	31.5 (8.0)	52.7 (65.8)	6.9 (24.2)	0.2 (1.3)	100.0									新潟県
富山県	0.3 (0.0)	26.5 (6.4)	48.5 (45.9)	23.8 (44.7)	0.9 (2.9)	0.0 (0.1)	100.0									富山県
石川県	0.5 (0.2)	28.1 (4.3)	42.2 (29.3)	27.5 (60.1)	1.6 (5.6)	0.1 (0.5)	100.0									石川県
福井県	0.9 (0.1)	30.8 (3.8)	38.6 (30.2)	27.6 (59.6)	2.0 (6.0)	0.1 (0.3)	100.0									福井県
長野県	0.2 (0.1)	10.3 (2.0)	39.2 (20.1)	45.5 (63.3)	4.5 (13.8)	0.3 (0.8)	100.0									長野県
岐阜県	0.2 (0.1)	12.5 (0.9)	39.0 (12.6)	42.7 (66.5)	5.4 (18.9)	0.2 (1.0)	100.0									岐阜県
静岡県	0.1 (0.0)	18.1 (4.2)	45.4 (30.1)	33.3 (58.0)	2.9 (7.2)	0.1 (0.4)	100.0									静岡県
愛知県	0.1 (0.0)	10.8 (3.2)	39.8 (21.4)	44.7 (58.3)	4.4 (16.0)	0.2 (1.1)	100.0									愛知県
三重県	0.1 (0.0)	13.4 (3.4)	48.4 (35.0)	36.5 (57.1)	1.5 (4.3)	0.1 (0.2)	100.0									三重県
滋賀県	0.4 (0.0)	11.9 (0.8)	37.4 (10.6)	45.6 (64.1)	4.5 (23.3)	0.2 (1.2)	100.0									滋賀県
京都府	0.3 (0.1)	18.2 (4.0)	44.9 (21.6)	34.8 (63.9)	1.8 (10.1)	0.0 (0.3)	100.0									京都府
大阪府	0.3 (0.3)	27.0 (11.7)	46.4 (39.5)	24.6 (42.7)	1.6 (5.4)	0.1 (0.4)	100.0									大阪府
兵庫県	0.3 (0.1)	26.2 (9.5)	43.5 (36.2)	26.9 (47.5)	2.2 (5.9)	0.2 (0.8)	100.0									兵庫県
奈良県	0.4 (0.1)	14.8 (3.6)	35.3 (21.1)	42.8 (60.8)	6.3 (13.5)	0.4 (0.9)	100.0									奈良県
和歌山県	0.7 (0.3)	22.2 (5.4)	41.5 (23.9)	30.6 (57.7)	4.7 (11.9)	0.3 (0.8)	100.0									和歌山県
鳥取県	0.2 (0.0)	16.5 (0.0)	37.5 (0.9)	42.8 (47.2)	2.9 (48.2)	0.1 (3.7)	100.0									鳥取県
島根県	0.2 (0.0)	16.3 (0.3)	34.5 (5.8)	42.2 (62.9)	6.7 (30.2)	0.1 (0.8)	100.0									島根県
岡山県	0.3 (0.0)	17.4 (1.9)	40.7 (21.0)	38.2 (64.5)	3.3 (12.3)	0.1 (0.3)	100.0									岡山県
広島県	0.4 (0.1)	16.2 (4.0)	38.5 (21.3)	40.5 (58.2)	4.2 (15.7)	0.2 (0.7)	100.0									広島県
山口県	0.3 (0.1)	19.3 (2.3)	40.7 (21.5)	36.0 (60.8)	3.6 (14.7)	0.1 (0.6)	100.0									山口県
徳島県	1.3 (0.2)	29.2 (10.1)	38.6 (35.8)	27.2 (46.3)	3.6 (7.5)	0.1 (0.1)	100.0									徳島県
香川県	1.0 (0.1)	25.0 (7.3)	44.2 (38.9)	28.4 (48.9)	1.4 (4.6)	0.0 (0.2)	100.0									香川県
愛媛県	0.4 (0.1)	17.6 (3.2)	41.7 (27.5)	35.7 (54.1)	4.5 (14.5)	0.1 (0.6)	100.0									愛媛県
高知県	0.8 (0.1)	22.2 (3.1)	35.2 (23.9)	34.3 (56.1)	7.0 (15.7)	0.5 (1.1)	100.0									高知県
福岡県	0.3 (0.1)	23.9 (7.8)	47.8 (37.4)	26.8 (51.0)	1.1 (3.5)	0.1 (0.2)	100.0									福岡県
佐賀県	0.2 (0.0)	12.6 (2.0)	37.5 (23.9)	45.3 (61.8)	4.2 (11.8)	0.2 (0.5)	100.0									佐賀県
長崎県	0.2 (0.0)	12.5 (0.8)	35.3 (9.8)	47.0 (61.2)	4.9 (27.4)	0.1 (0.8)	100.0									長崎県
熊本県	0.6 (0.0)	24.8 (2.3)	37.7 (17.6)	31.5 (58.8)	5.3 (20.9)	0.1 (0.4)	100.0									熊本県
大分県	0.3 (0.1)	15.9 (0.4)	37.6 (5.2)	40.9 (65.5)	5.1 (27.9)	0.2 (0.9)	100.0									大分県
鹿児島県	0.8 (0.0)	22.4 (1.1)	33.9 (9.1)	37.7 (66.1)	5.0 (22.5)	0.2 (1.2)	100.0									鹿児島県
沖縄県	0.6 (0.1)	15.5 (7.5)	45.4 (40.3)	37.4 (50.3)	1.1 (1.7)	0.0 (0.1)	100.0									

別表9 覚知時刻別事故種別搬送人員の状況

(平成19年中)

区分	急 病	交 通	一般負傷	その他	合 計
合 計	2,967,725 (100.0)	627,702 (100.0)	653,730 (100.0)	653,596 (100.0)	4,902,753 (100.0)
時 刻	0～2時 (構成比)	182,580 (6.2)	19,637 (3.1)	28,252 (4.3)	22,986 (3.5)
	2～4時 (構成比)	146,692 (4.9)	12,604 (2.0)	18,228 (2.8)	16,330 (2.5)
	4～6時 (構成比)	143,281 (4.8)	13,376 (2.1)	17,307 (2.6)	12,524 (1.9)
	6～8時 (構成比)	217,236 (7.3)	47,817 (7.6)	36,524 (5.6)	15,449 (2.4)
	8～10時 (構成比)	321,867 (10.9)	78,860 (12.6)	72,323 (11.1)	73,336 (11.2)
	10～12時 (構成比)	297,531 (10.0)	68,877 (11.0)	76,971 (11.8)	122,644 (18.8)
	12～14時 (構成比)	283,348 (9.6)	66,817 (10.6)	71,926 (11.0)	104,459 (16.0)
	14～16時 (構成比)	268,035 (9.0)	74,535 (11.9)	75,748 (11.6)	85,368 (13.0)
	16～18時 (構成比)	267,341 (9.0)	90,676 (14.4)	77,398 (11.8)	78,221 (12.0)
	18～20時 (構成比)	306,312 (10.3)	77,757 (12.4)	71,768 (11.0)	53,495 (8.2)
	20～22時 (構成比)	291,513 (9.8)	45,470 (7.3)	61,903 (9.5)	38,687 (5.9)
	22～24時 (構成比)	241,989 (8.2)	31,276 (5.0)	45,382 (6.9)	30,097 (4.6)

別表10 応急手当普及啓発活動状況

平成19年中 (単位:人・回・体)

区分 都道府県	普通講習 受講人員	普通講習 実施回数	上級講習 受講人員	上級講習 実施回数	その他講習 受講人員	蘇生訓練用人形数		外傷用 模型セット	訓練用 AED
						成 人	乳幼児		
北海道	77,948	3,865	1,433	103	106,936	978	413	36	425
青森	26,075	1,068	891	30	17,178	281	113	10	153
岩手	26,263	1,246	631	31	33,316	320	100	29	140
宮城	42,512	2,193	1,113	73	46,884	283	95	5	187
秋田	18,872	945	474	25	19,997	221	96	14	92
山形	12,536	550	228	13	27,686	173	78	12	113
福島	28,398	1,460	263	13	44,251	289	92	10	146
茨城	40,596	2,180	976	127	32,424	344	162	15	245
栃木	20,474	1,005	160	9	30,950	235	102	7	143
群馬	24,923	1,136	338	19	32,444	259	112	5	175
埼玉	68,876	3,286	3,364	145	101,683	1,084	461	48	414
千葉	49,294	2,746	1,654	79	92,500	700	266	25	342
東京	155,962	7,298	34,668	1,626	559,326	643	621	1	461
神奈川	72,789	3,029	4,992	185	49,184	622	190	17	407
新潟	29,286	1,396	523	27	64,424	395	209	22	272
富山	21,042	1,007	401	21	20,965	202	95	5	100
石川	14,711	813	272	22	15,770	161	63	7	104
福井	15,234	568	47	1	20,900	119	43	2	67
山梨	8,738	469	32	5	20,068	126	59	4	60
長野	28,234	1,337	1,116	50	56,322	448	219	10	245
岐阜	31,994	1,696	1,083	60	56,698	737	285	25	228
静岡	42,118	2,326	1,230	68	81,607	506	212	26	302
愛知	81,892	4,631	3,150	255	135,281	627	354	34	379
三重	27,761	1,359	866	42	28,727	309	134	8	144
滋賀	24,668	1,134	181	24	22,432	161	90	12	106
京都	49,478	2,360	1,116	47	25,240	267	200	12	230
大阪	84,170	6,919	2,874	106	43,901	868	411	17	484
兵庫	64,254	2,826	977	46	79,105	647	356	20	335
奈良	17,629	952	178	13	9,937	138	52	4	96
和歌山	14,524	700	520	28	24,784	231	123	6	128
鳥取	13,664	679	1	7	15,789	78	94	3	55
島根	11,397	572	69	4	27,213	376	186	7	122
岡山	15,580	791	263	17	28,445	237	163	10	128
広島	27,182	1,284	325	17	27,838	308	158	19	125
山口	21,202	991	480	37	22,934	182	134	8	114
徳島	7,493	376	73	4	20,508	116	58	1	63
香川	6,806	443	95	4	22,144	89	47	4	71
愛媛	24,018	1,133	1,345	58	41,504	233	122	13	141
高知	10,171	620	49	8	23,329	261	141	9	103
福岡	64,656	2,063	1,633	64	59,836	796	313	20	386
佐賀	6,221	355	156	10	22,301	82	30	4	51
長崎	13,093	613	241	14	34,885	431	179	6	148
熊本	10,477	505	807	44	59,510	239	197	9	101
大分	11,599	588	301	13	23,298	164	90	8	82
宮崎	7,227	378	422	20	31,153	282	105	4	85
鹿児島	15,221	773	116	16	53,125	297	153	8	128
沖縄	12,227	714	716	45	12,811	167	89	6	104
合計	1,499,485	75,378	72,843	3,675	2,427,543	16,712	8,065	587	8,730
前年	1,388,212	72,809	78,922	3,853	2,192,795	15,713	7,618	579	7,325
前年増減数	111,273	2,569	▲ 6,079	▲ 178	234,748	999	447	8	1,405

別表11 応急手当指導員養成状況

(平成19年中)

区分 都道府県	応急手当指導員養成講習について								本年累計	抹消者累	回数累計
	本年中修了者	講習Ⅰ修了者	講習Ⅱ修了者	講習Ⅲ修了者	消防長認定者	講習Ⅰ免除者	講習回数				
北海道	417	331	51	2	22	11	68	7,803	281	1,273	
青森	234	184	22	0	27	1	13	1,736	36	122	
岩手	54	52	1	0	0	1	5	1,526	17	117	
宮城	106	80	26	0	0	0	8	2,427	62	144	
秋田	134	61	27	0	0	46	113	1,514	11	260	
山形	55	35	12	4	2	2	17	1,408	138	185	
福島	137	44	57	0	35	1	7	2,536	388	183	
茨城	338	279	33	14	12	0	71	3,626	89	431	
栃木	115	110	0	0	2	3	11	2,111	34	227	
群馬	51	38	9	0	1	3	32	2,065	69	646	
埼玉	489	207	223	3	56	0	85	6,205	223	874	
千葉	968	209	341	9	402	7	55	5,892	186	463	
東京	985	68	696	189	21	11	0	20,000	0	0	
神奈川	641	215	270	22	134	0	36	7,030	186	586	
新潟	268	59	180	0	25	4	25	4,222	24	319	
富山	56	33	0	12	10	1	5	713	32	28	
石川	18	7	10	0	1	0	3	1,150	18	116	
福井	34	24	8	0	0	2	1	640	6	159	
山梨	52	23	0	1	25	3	2	845	17	47	
長野	77	75	1	0	0	0	30	2,821	529	340	
岐阜	146	55	0	0	86	5	19	2,654	124	280	
静岡	322	96	183	3	28	12	31	4,139	170	570	
愛知	342	285	9	13	31	4	58	5,966	107	748	
三重	396	120	70	0	172	34	27	3,743	93	271	
滋賀	55	52	3	0	0	0	8	1,126	19	145	
京都	140	132	0	5	3	0	18	1,874	30	239	
大阪	492	198	268	0	24	2	48	8,039	132	701	
兵庫	457	310	8	41	94	4	34	5,378	50	480	
奈良	66	21	0	43	2	0	7	1,748	48	142	
和歌山	78	63	0	0	14	1	2	1,243	12	63	
鳥取	41	14	16	11	0	0	7	813	4	62	
島根	106	36	32	2	18	18	11	1,124	23	182	
岡山	102	95	0	0	6	1	9	1,921	85	192	
広島	175	74	65	36	0	0	16	2,764	29	524	
山口	49	43	6	0	0	0	11	1,419	28	140	
徳島	127	124	0	0	3	0	0	713	15	3	
香川	36	34	0	2	0	0	3	582	2	72	
愛媛	88	26	0	0	56	6	6	1,217	8	45	
高知	47	47	0	0	0	0	11	1,136	2	226	
福岡	383	226	101	49	7	0	31	5,106	229	596	
佐賀	13	7	0	0	6	0	0	420	1	40	
長崎	100	79	4	15	2	0	19	862	22	129	
熊本	53	34	18	1	0	0	9	1,454	22	147	
大分	44	37	7	0	0	0	7	1,144	25	250	
宮崎	38	20	15	1	2	0	2	999	15	58	
鹿児島	111	11	60	0	40	0	14	1,947	101	204	
沖縄	17	10	0	1	5	1	1	779	2	42	
合計	9,253	4,383	2,832	479	1,374	184	996	136,580	3,744	13,071	

別表12 都道府県別経営主体別救急病院及び診療所告示状況一覧表

(平成20年4月1日現在)

区分 都道府県	病院				病院 計	診療所	合計	人口10万人 対救急医療 機関数
	国立	公立	公的	私的				
北海道	8	46	68	131	253	22	275	4.9
青森	4	27	2	20	53	4	57	4.0
岩手	0	33	4	18	55	2	57	4.1
宮城	4	29	5	29	67	3	70	3.0
秋田	2	9	10	10	31	0	31	2.7
山形	1	21	2	13	37	0	37	3.0
福島	3	9	9	38	59	0	59	2.8
茨城	5	8	11	75	99	5	104	3.5
栃木	2	3	9	43	57	17	74	3.7
群馬	3	10	3	63	79	19	98	4.8
埼玉	3	10	7	160	180	15	195	2.8
千葉	5	24	4	105	138	9	147	2.4
東京	9	19	11	282	321	17	338	2.7
神奈川	4	16	10	137	167	14	181	2.1
新潟	4	22	15	26	67	2	69	2.8
富山	3	11	7	18	39	14	53	4.8
石川	2	16	5	25	48	17	65	5.5
福井	2	6	4	31	43	20	63	7.7
山梨	2	13	3	18	36	8	44	5.0
長野	5	21	18	43	87	8	95	4.3
岐阜	2	19	10	36	67	5	72	3.4
静岡	5	23	12	38	78	16	94	2.5
愛知	6	30	12	119	167	37	204	2.8
三重	2	13	10	34	59	11	70	3.7
滋賀	2	12	4	15	33	0	33	2.4
京都	4	13	5	72	94	0	94	3.6
大阪	5	18	11	224	258	2	260	2.9
兵庫	5	35	6	132	178	12	190	3.4
奈良	2	9	5	26	42	0	42	3.0
和歌山	4	13	3	34	54	9	63	6.1
鳥取	3	7	3	8	21	1	22	3.6
島根	2	11	3	8	24	0	24	3.2
岡山	4	17	3	60	84	7	91	4.6
広島	6	19	9	85	119	34	153	5.3
山口	5	15	11	29	60	7	67	4.5
徳島	2	6	7	18	33	4	37	4.6
香川	5	10	4	35	54	19	73	7.2
愛媛	2	14	6	34	56	5	61	4.2
高知	2	9	2	23	36	3	39	4.9
福岡	6	13	7	110	136	4	140	2.8
佐賀	4	8	2	30	44	7	51	5.9
長崎	4	16	7	36	63	0	63	4.3
熊本	3	15	8	40	66	9	75	4.1
大分	3	5	3	39	50	2	52	4.3
宮崎	4	18	2	36	60	6	66	5.7
鹿児島	3	11	4	68	86	10	96	5.5
沖縄	1	6	1	18	26	0	26	1.9
合計	167	738	367	2,692	3,964	406	4,370	3.4

II 救助編

◎ 平成20年4月1日現在の救助活動体制

- 消防本部数 807 本 部
(単独 491、組合 316)
- 救助隊設置消防本部数 782 本 部
- 救助隊設置市町村数 1,693 市町村
(777 市、752 町、164 村)
- 救助隊数 1,500 隊
(専任 553 隊、兼任 947 隊)
- 救助隊員数 24,351 人
(専任 8,224 人、兼任 16,127 人)

(注) 東京都特別区は全体を1市として計上している。以下同じ。

◎ 平成19年中の救助活動状況

- 救助出動件数 80,645 件
(うち火災によるもの 6,488 件)
- 救助活動件数 52,183 件
(うち火災によるもの 6,488 件)
- 救助人員 56,039 人
(うち火災によるもの 1,941 人)
- 救助出動人員
 - ・ 消防職員 1,195,229 人
(うち火災によるもの 212,071 人)
 - ・ 消防団員 151,933 人
(うち火災によるもの 118,143 人)

(注) 火災による救助出動件数は、実際に救助活動を行った件数のみ計上している。

第1 救助活動体制の現状（平成20年4月1日現在）

1 救助隊の範囲

昭和61年4月の消防法改正により救助隊が法的に位置付けられ、さらにこれを受け同年10月に救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和61年10月1日自治省令第22号）が公布（昭和62年1月1日施行）されたことに伴い、同省令に基づき市町村が配置する人命の救助を行うため必要な特別の救助器具を装備した消防隊を救助隊として取り扱っている。

なお、昭和61年度までの年報の救助隊の定義は、火災のみならず各種の災害、事故に際して、人命救助を任務とする隊が消防機関に設置されている場合は、その名称のいかんを問わず、そのすべてを救助隊として取り扱っていたものである。

2 救助隊の設置状況

平成20年4月1日現在、全国で救助隊を設置している消防本部は、807消防本部の96.9%に当たる782消防本部となっている。このうち、単独市町村の消防本部で救助隊を設置しているのは477消防本部（416市60町1村）（61.0%）、一部事務組合で救助隊を設置しているのは305消防本部（333市610町142村）（39.0%）となっている。

また、これらの消防本部に常備消防を委託している市町村は28市82町21村である。

この結果、平成20年4月1日現在、救助隊を設置している消防本部の管轄対象となっている市町村は、全国1,789市町村の94.6%に当たる1,693市町村（777市、752町、164村）となっている。

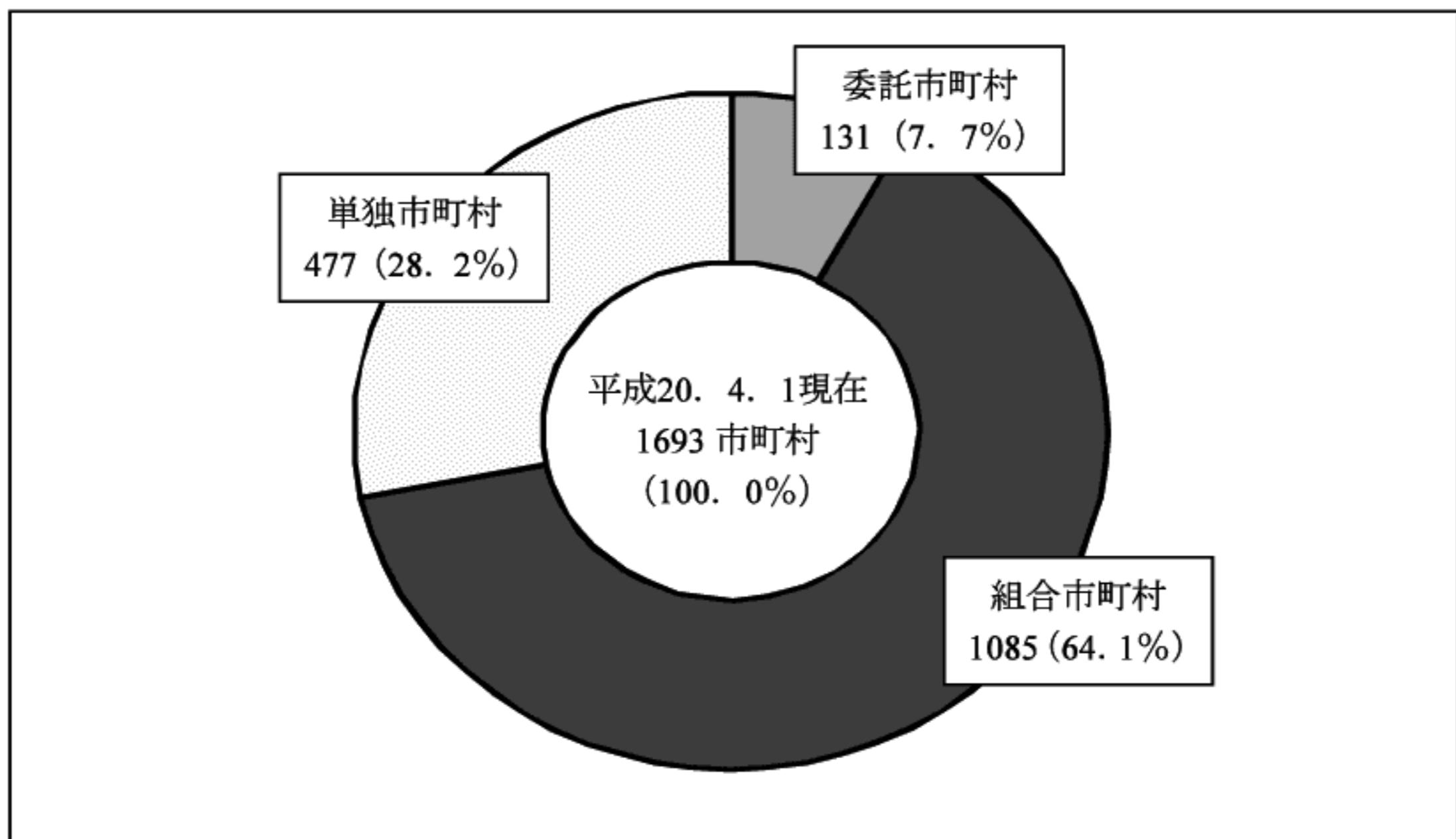
また、この救助隊設置市町村の人口は126,878,537人であり、平成17年の国勢調査の確定値による全国人口127,767,994人の99.3%となっている（第1表、第2図及び別表1参照）。

第1表 救助隊の設置状況(設置消防本部及び設置市町村数)

区分	全国消防本部数 a	設置消防本部数		全国市町村数 c	設置市町村数 d	$d/c \times 100$	設置市町村人口
		b	b/a × 100				
平成20年4月1日	807	782	96.9%	1,789	1,693	94.6%	126,878,537
平成19年4月1日	807	781	96.8%	1,805	1,705	94.5%	126,934,665
平成18年4月1日	811	788	97.2%	1,821	1,718	94.3%	126,969,503
平成17年4月1日	848	817	96.3%	2,396	2,278	95.1%	126,294,937
平成16年4月1日	886	851	96.0%	3,101	2,942	94.9%	126,034,329

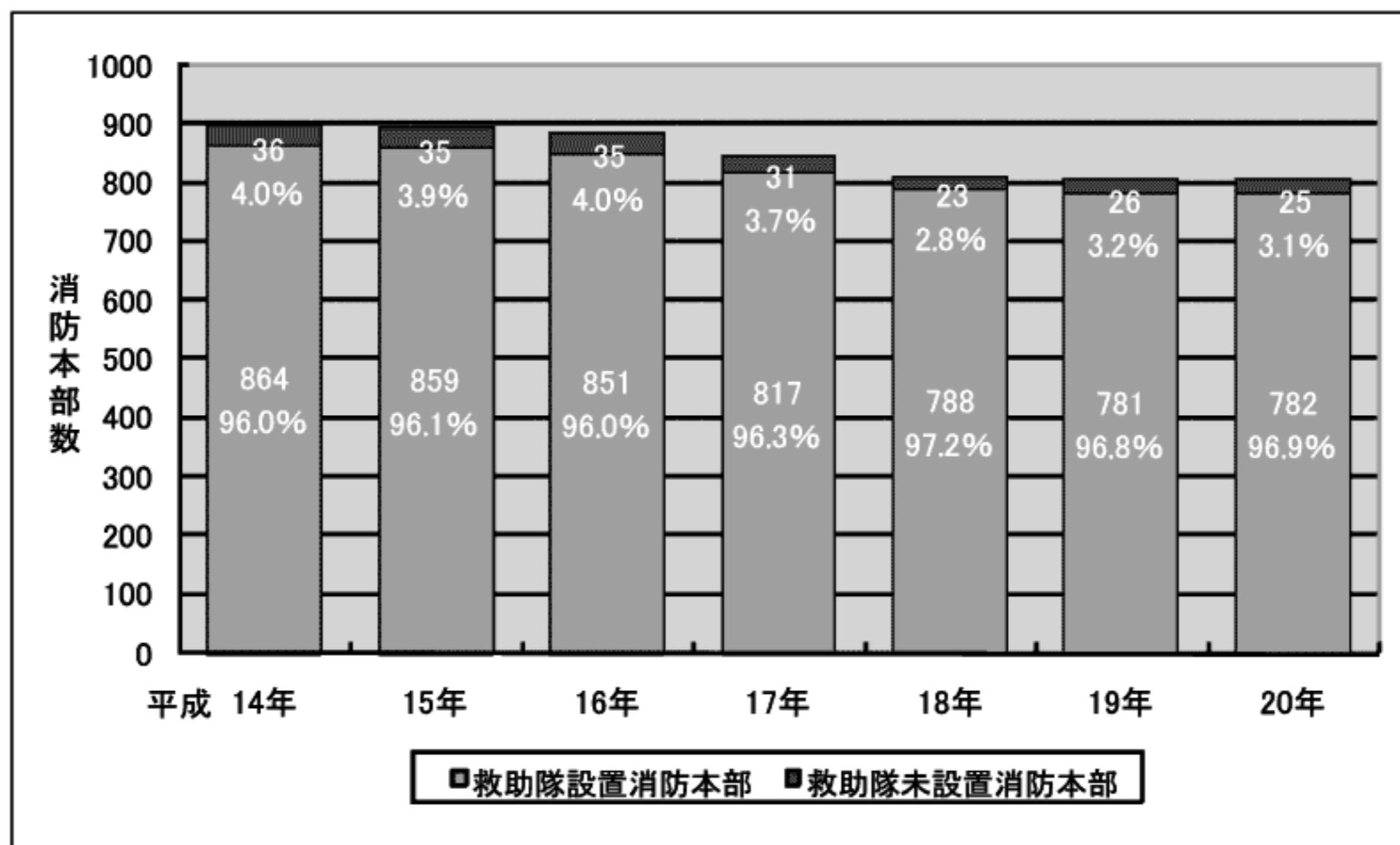
第2図 救助隊設置消防本部の管轄対象市町村の内訳

(平成20年4月1日現在)



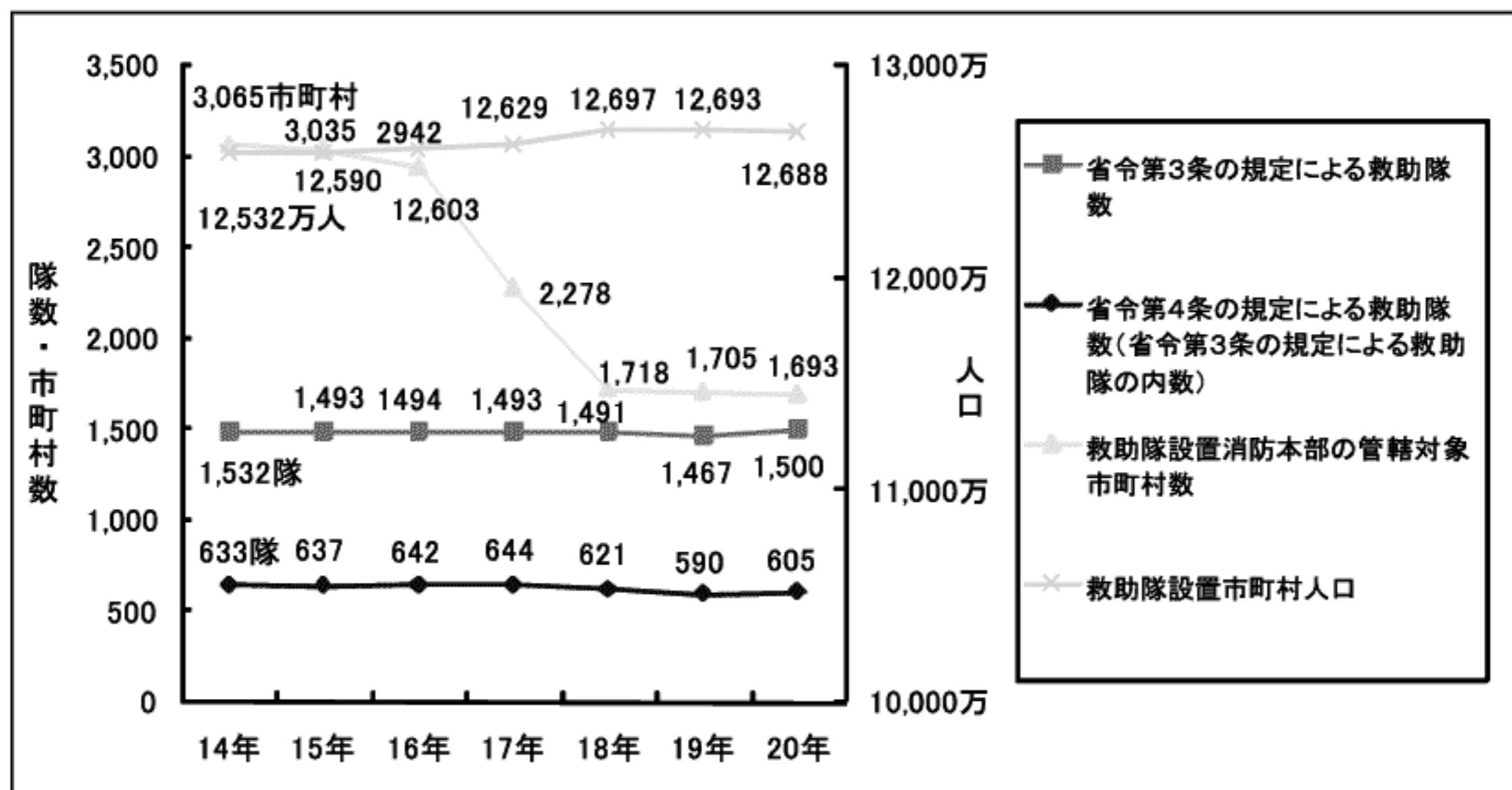
全国の救助隊設置消防本部数の推移は、第3図のとおりである。

第3図 救助隊設置消防本部数の推移



また、救助隊設置状況等の推移は、第4図のとおりである。

第4図 救助隊設置状況等の推移



(注) 1 各年とも4月1日現在の数値である。

2 人口は、平成13年から17年については平成12年国勢調査人口確定値、平成18年については平成17年国勢調査人口速報値、平成19年及び平成20年については平成17年国勢調査人口確定値である。

人口段階別の救助隊の設置状況は第5表のとおりである。人口10万人以上の都市では、すべての消防本部で設置されている（第5表参照）

第5表 消防本部管轄区域内人口段階別救助隊設置率等

（平成20年4月1日現在）

区分	5万人未満	5万人以上10万人未満	10万人以上30万人未満	30万人（大都市を除く）	大都市	計
消防本部数	267	222	238	62	18	807
設置消防本部数	244	220	238	62	18	782
救助隊数	286	280	457	203	274	1,500
設置率（%）	91.4	99.1	100.0	100.0	100.0	96.9

（注）「大都市」とは政令指定都市と東京都特別区（東京都が受託している市町村を含む）。以下同じ。

なお、救助隊設置本部における救助隊1隊当たりの人口等については、第6表のとおりである。

第6表 消防本部管轄区域内人口段階別救助隊1隊当たりの人口等

（平成20年4月1日現在）

区分	5万人未満	5万人以上10万人未満	10万人以上30万人未満	30万人（大都市を除く）	大都市
1隊当たりの人口	27,920	56,875	86,495	130,605	134,918
1本部当たりの部隊数	1.2	1.3	1.9	3.3	15.2
1部隊当たりの隊員数	17.1	17.2	15.0	16.0	16.5

3 救助隊及び救助隊員

救助隊は、全国に 1,500 隊設置されており、このうち、553 隊が専任救助隊である。救助隊員数は、24,351 人でこのうち、専ら救助活動に従事する専任救助隊員は 8,224 人となっている。(第 7 表、第 8 表、第 9 表及び別表 2 参照)。

第 7 表 救助隊数及び救助隊員数

(平成 20 年 4 月 1 日現在)

区分	救助隊数				救助隊員数			
	基準	隊数			基準	隊員数		
			専任	兼任			専任	兼任
省令第3条の規定による救助隊	1,581	1,500	553	947	21,760	24,351	8,224	16,127
省令第4条の規定による救助	655	605	442	163	9,331	9,894	6,966	2,928

(注) 1 「専任隊」とは、災害時において専ら救助工作車で出動し、救助活動を行う隊をいう。

「兼任隊」とは、災害の態様により、救助活動のほか消火活動等を兼ねる隊をいう。

「専任隊員」とは、専任救助隊の隊員のうち辞令又は職務命令により、専ら救助活動を行う救助隊員をいう。

「兼任隊員」とは、救助隊員のうち、専任救助隊員以外の救助隊員をいう。

2 「省令」とは、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和 61 年 10 月 1 日自治省令第 22 号）」をいう。

3 「基準」とは、省令第 3 条及び第 4 条の規定による救助隊の配置数及び救助隊員数をいう。

4 省令第 4 条の規定による救助隊（特別救助隊）のうち、中核市消防本部・中核市を有しない県の代表消防本部へ「高度救助隊」、東京消防庁・政令市消防本部へ「特別高度救助隊」を配備することとしている。

第8表 消防本部人口段階別救助隊専任率

(平成20年4月1日現在)

区分	5万人未満	5万人以上10万人未満	10万人以上30万人未満	30万人(大都市を除く)	大都市	計
救助隊数	286	280	457	203	274	1,500
専任救助隊数	8	41	193	120	191	553
専任率(%)	2.8	14.6	42.2	59.1	69.7	36.9

第9表 消防本部人口段階別救助隊員の専任、兼任の状況

(平成20年4月1日現在)

区分	5万人未満	5万人以上10万人未満	10万人以上30万人未満	30万人(大都市を除く)	大都市	計
専任隊員数	80	492	2,617	1,867	3,168	8,224
専任率(%)	1.6	10.2	38.1	57.6	70.0	33.8
兼任隊員数	4,802	4,332	4,260	1,377	1,356	16,127
兼任率(%)	98.4	89.8	61.9	42.4	30.0	66.2
隊員数計	4,882	4,824	6,877	3,244	4,524	24,351

第2 救助活動の状況（平成19年中）

1 救助活動の範囲

調査に当たって対象とした救助活動は、次のいずれにも該当する火災、災害又は事故により発生したものである。

- ① 要救助者の存在が予想され、しかも、その生命又は身体に現実の危険が及んでいるものであること。
- ② 緊急に被害者を人力、機械力、器具等を用いて安全な場所に救出する必要があるものであること。
- ③ 消防機関が行ったものであること（救助隊未設置の消防機関が行ったものも含む）。ただし、この調査では直接人命救助を伴わない警戒活動・危険物排除活動等及び死体捜索は調査対象から除外している。
- ④ 「火災」の場合における「救助出動件数」は、出動件数そのものではなく、出動して実際に救助活動を実施した場合のみ救助出動件数として計上している。すなわち、救助出動件数と救助活動件数は同数となっている。また、火災時に救助隊員の誘導に従って自力で脱出した者の数は「救助人員」には含めていないが、救助隊員の誘導については「救助出動件数」及び「救助活動件数」には含めている。
なお、昭和61年度から消防本部及び消防署を置かない市町村における救助活動の状況についても調査対象とした。

2 救助活動状況の概要

平成 19 年中における全国の救助活動の状況は、救助出動件数 8 万 645 件、救助活動件数 5 万 2,183 件であり、これを前年と比較すると、救助出動件数 2,916 件 (3.5%)、救助活動件数 1,436 件 (2.7%) 減少している。

また、救助人員は全国で 5 万 6,039 人であり、前年の 5 万 6,728 人に比較すると 689 人 (1.2%) 減少している（第 10 表、別表 3, 4, 5 参照）。

第 10 表 救助出動・活動件数及び救助人員の推移

(平成 19 年中)

区分 年	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件 数	対前年増減率 (%)	件 数	対前年増減率 (%)	人 員	対前年増減率 (%)
平成 15 年	80,824	3.8%	51,810	2.8%	52,301	0.0%
平成 16 年	88,269	9.2%	56,388	8.8%	65,854	25.9%
平成 17 年	85,716	-2.9%	54,598	-3.2%	57,300	-13.0%
平成 18 年	83,561	-2.5%	53,619	-1.8%	56,728	-1.0%
平成 19 年	80,645	-3.5%	52,183	-2.7%	56,039	-1.2%

3 事故種別救助活動状況

事故種別ごとに救助活動の状況をみると、救助出動件数で最も多いのは、交通事故の 3 万 353 件で全体の 37.6% を占めている。次いで建物等による事故 2 万 1,233 件 (26.3%)、火災 6,488 件 (8.1%) の順となっている。

また、救助活動件数でも交通事故が最も多く 1 万 7,287 件で全体の 33.1% を占め、次に多いのは建物等による事故の 1 万 6,659 件 (31.9%) で、以下、火災、水難事故、機械による事故の順となっている。交通事故は、救助出動件数では昭和 55 年から、救助活動件数でも昭和 58 年から、第 1 位となっている。

救助人員については、交通事故によるものが最も多く、2 万 4,449 人で全体の 43.6% を占めており、次いで建物等による事故 1 万 6,251 人 (29.0%)、水難事故 2,848 人 (5.1%)、火災 1,941 人 (3.4%) の順になっている（第 11 表、第 12 表、別表 3, 4, 5 参照）。

第11表 事故種別救助活動状況

(平成19年中 単位:件)

事故種別区分	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
救助出動件数	6,488 (8.1)	30,353 (37.6)	3,340 (4.2)	264 (0.3)	1,945 (2.4)	21,233 (26.3)	211 (0.3)	10 (0.0)	16,801 (20.8)	80,645 (100.0)
救助活動件数	6,488 (12.4)	17,287 (33.1)	2,238 (4.3)	155 (0.3)	1,014 (1.9)	16,659 (31.9)	100 (0.3)	3 (0.0)	8,239 (15.8)	52,183 (100.0)
救助人員	1,941 (3.4)	24,449 (43.6)	2,848 (5.1)	436 (0.8)	1,385 (2.5)	16,251 (29.0)	96 (0.2)	3 (0.0)	8,630 (15.4)	56,039 (100.0)

(注) () 内は、構成比である。

第12表 救助活動1件当たりの救助人員

(平成19年中 単位:人)

事故種別区分	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他
救助員	0.3	1.4	1.3	2.8	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0

(注) 事故種別は、次により区分した。

- 1 「火災」とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 2 「交通事故」とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は单一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- 3 「水難事故」とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 4 「自然災害」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害事故をいう。
- 5 「機械による事故」とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーアーなどの建設機械、工作機械等による事故をいう。
- 6 「建物等による事故」とは、建物、門、柵、へい等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
- 7 「ガス及び酸欠事故」とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
- 8 「破裂事故」とは、直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ポンベ等の物理的破裂による事故をいう。
- 9 「その他」とは、上記に掲げる事故等(1~8)以外の事故等で、消防機関による救助を必要とした事故をいう。

4 救助出動人員及び救助活動人員

救助出動人員は、消防職員 119 万 5,229 人、消防団員 15 万 1,933 人である。このうち、火災以外の出動人員は、消防職員 98 万 3,158 人、消防団員 3 万 3,790 人である。

また、事故種別ごとの出動人員を多い順にみると、消防職員については、交通事故（38 万 4,158 人）と建物等による事故（25 万 7,228 人）で、消防団員については、火災（11 万 8,143 人）と水難事故（5,167 人）である（第 13 表、別表 6 参照）。

次に、救助活動人員は、消防職員で 51 万 5,822 人、消防団員 3 万 213 人である。

また、事故種別ごとに、救助活動 1 件当たりの従事人員をみると、水難事故 16.5 人が最も多く、次に火災の 16.1 人となっている。（第 14 表、別表 7 参照）。

第 13 表 救助出動人員及び救助活動人員の状況

（平成 19 年中 単位：人）

事故種別区分	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
専任救助隊員	30,281	76,587	13,335	704	5,985	69,819	756	26	53,261	250,754
	19,155	22,176	7,031	395	2,413	15,147	267	4	14,983	81,571
兼任救助隊員	8,083	50,431	7,371	447	3,243	5,858	276	21	23,734	99,464
	4,763	21,766	4,439	238	1,444	3,566	65	4	10,358	46,643
消防職員	153,158	141,117	33,946	1,527	10,091	119,069	2,193	86	121,440	582,627
	55,366	71,196	17,001	839	4,139	74,453	703	14	31,939	255,650
救急隊員	20,549	116,023	10,511	421	5,925	62,482	674	33	45,766	262,384
	6,965	58,235	5,244	176	2,383	40,187	262	9	18,497	131,958
消防職員計	212,071	384,158	65,163	3,099	25,244	257,228	3,899	166	244,201	1,195,229
	86,249	173,373	33,715	1,648	10,379	133,353	1,297	31	75,777	515,822
消防団員	118,143	2,210	5,167	359	179	944	48	0	24,883	151,933
	18,266	476	3,240	283	18	195	3	0	7,732	30,213
計	330,214	386,368	70,330	3,458	25,423	258,172	3,947	166	269,084	1,347,162
	104,515	173,849	36,955	1,931	10,397	133,548	1,300	31	83,509	546,035

（注）各欄の上段は出動人員、下段は活動人員を示す。（「出動人員」とは、救助活動を行うために出動したすべての人員をいい、火災の場合は、出動したすべての人員をいう。「活動人員」とは、出動人員のうち実際に救助活動を行った人員をいう。）

第14表 救助活動1件当たりの救助活動人員（消防職員及び消防団員）

(平成19年中 単位：人)

区分 事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他
救人助員	16.1	10.1	16.5	12.5	10.3	8.0	13.0	10.3	10.5

5 火災以外の事故時における出動車両等

火災以外の事故に救助活動のため出動した車両等の状況は第15表のとおりであり、救急自動車8万548台、消防ポンプ自動車(水槽付含む)7万5,395台、救助工作車5万7,006台の順となっている。

また、事故種別ごとの救助活動車両等の数は、交通事故が5万1,102台で最も多く、建物等による事故3万5,279台、水難事故1万521台の順となっている。

さらに、車両別の救出者搬送人員の状況は、第16表のとおりである。

第15表 火災以外の事故時における救助出動車両及び救助活動車両等の状況

(平成19年中 単位:台等)

事故種別 車両等区分	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
救助工作車	25,964	4,088	223	2,045	8,782	224	10	15,670	57,006
	10,266	2,194	112	860	3,934	78	2	5,413	22,859
消防ポンプ自動車 (水槽付含む)	27,626	4,814	248	1,787	18,887	400	17	21,616	75,395
	14,447	2,530	129	726	13,094	108	3	5,914	36,951
はしご車・ 屈折はしご車	451	212	8	60	485	11	0	2,129	3,356
	148	101	5	16	139	2	0	209	620
化 学 車	3,743	513	26	184	2,496	51	5	1,984	9,002
	1,868	248	12	86	1,848	12	1	409	4,484
指揮車 司令車	9,704	2,543	102	985	6,964	157	4	8,028	28,487
	3,884	1,313	49	378	2,764	51	0	2,446	10,885
救急自動車	38,665	3,535	138	1,989	20,694	242	11	15,274	80,548
	19,271	1,724	60	784	13,292	87	3	6,078	41,299
船 舶	12	799	0	1	0	4	0	70	886
	5	354	0	1	0	3	0	15	378
ヘリコプター	135	225	14	7	2	0	0	414	797
	52	122	10	3	1	0	0	211	399
その他の車両	3,180	2,985	94	223	854	88	1	4,817	12,242
	1,121	1,543	68	84	207	9	0	1,254	4,286
消防団車両	232	604	33	12	56	4	0	2,519	3,460
	40	392	19	2	0	0	0	749	1,202
計	109,712	20,318	886	7,293	59,220	1,181	48	72,521	271,179
	51,102	10,521	464	2,940	35,279	350	9	22,698	123,363

(注) 各欄の上段は出動車両等、下段は活動車両等を示す。「出動車両等」とは、救助活動を行うために出動したすべての車両等をいい、「活動車両等」とは、出動車両等のうち実際に救助活動を行った車両等をいう。)

第16表 事故種別車両別救出者搬送人員

(平成19年中 単位：人)

事故種別区分	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
救急自動車	1,094	21,656	1,262	57	885	14,436	81	3	5,619	45,093
消防機関 その他の車両等	2	70	27	29	15	3	0	0	33	179
消防機関以外の車両等	41	155	151	20	15	20	1	0	282	685
計	1,137	21,881	1,440	106	915	14,459	82	3	5,934	45,957

第3 救助器具等の保有状況

1 救助活動のための車両

救助活動に使用している車両の状況は、第17表のとおりであり、最も多いのは救助工作車の1,232台で全体の41.3%を占め、次いで、はしご車499台(16.7%)、水槽付ポンプ車423台(14.1%)、ポンプ車330台(11.0%)となっている。

このことは、昭和61年までは、救助活動に使用される車両は、多くの場合、消防活動に使われる車両と兼用していたが、救助活動を必要とする災害等の多様化、複雑化等に対処するため救助器具を十分に装備した救助工作車の整備が進められ、救助工作車を救助活動のための専用車両として使用する傾向が強くなっていることを示している。(別表12参照)

第17表 救助活動に使用する車両保有状況

(平成20年4月1日現在)

使用車両	救助工作車	はしご車	屈折はしご車	消防ポンプ車	水槽付消防ポンプ車	化学車	その他	計
車両台数	1,232	499	59	330	423	121	325	2,989
(占有率%)	(41.3)	(16.7)	(2.0)	(11.0)	(14.1)	(4.0)	(10.9)	(100.0)

(注)「その他」とは、排煙車、電源車、クレーン車等の車両である。

2 救助活動のための救助器具等

救助活動のために保有されている主な救助器具等の種類、保有状況は第18表のとおりである。

地域の特性、各本部における救助活動の内容、程度の差異により、各本部で保有している救助器具等の種類及び数量は一様でない（別表8、9、10、11参照）。

第18表 救助活動のための主な救助器具等の保有状況

(平成20年4月1日現在)

区分	名 称	保 有 数
省令別表第1	三連はしご	5,900
	救命索発射銃	2,278
	油圧スプレッター	1,974
	油圧切断機	1,701
	可搬ワインチ	4,028
	エンジンカッター	4,826
	チェーンソー	5,312
	ガス溶断器	1,506
	可燃性ガス測定器	4,394
	空気呼吸器	41,994
	化学防護服（陽圧除く）	7,030
	陽圧式化学防護服	3,761
省令別表第2	放射線防護服	5,222
	空気式ジャッキ	2,536
	大型油圧スプレッター	1,898
	大型油圧切断機	1,844
	削岩機	1,530
	空気鋸	1,908
	簡易画像探索機	690
	ロープ登降機	2,219
	ハンマードリル	1,102
	送排風機	1,740
省令別表第3	酸素呼吸器	3,600
	電磁波探査装置	31
	水中探査装置	51
	二酸化炭素探査装置	23
	画像探索機	435
	地中音響探知機	254
	熱画像直視装置	602
	夜間用暗視装置	264
	地震警報器	58

これらの救助活動のための救助器具の保守点検は、各本部においてそれぞれの知識、経験をもとに定期又は隨時に実施され、さらに法令等で検査を義務化されているものは、定期に実施し、安全管理に努めている。

第4 救助隊員の教育訓練の実施状況

消防職員の救助活動に関する教育訓練については、消防学校の教育訓練の基準（昭和45年消防庁告示第1号）により、専科教育に救助科を設け、災害救助対策、救助器具取扱訓練等について計140時間以上の教育訓練を行うべきこととされている。

消防本部における救助訓練の状況をみてみると、月間及び年間の計画を樹立し、基本訓練から応用訓練にいたるまで定期的に実施している本部が多い。

訓練内容別の実施状況は第19表のとおりである。

第19表 救助隊員の訓練実施状況

(平成19年中)

訓練 内容 回数等	体力鍛成 訓練	ロープ基本 ・応用 訓練	検索救助 訓練	各種救助 器具 取扱訓練	各種救助 事象 想定訓練	その他の 訓練	合計
実施延回数	296,192	100,506	90,536	110,718	66,299	81,660	745,911
実施延人数	1,567,450	557,369	542,775	571,943	392,699	453,393	4,085,629
実施延時間	691,508.5	346,299.0	345,760.5	330,790.0	221,427.5	277,919.5	2,213,705.0

(注)

1 「体力鍛成訓練」とは

柔軟体操、ランニング、サーキット・トレーニング、ウェイト・トレーニング等の体力を鍛成するための訓練

2 「ロープ基本・応用訓練」とは

結索、登はん、確保、ロープブリッジ等の基本訓練及びこれを基礎としたロープによる進入、救出等の応用訓練

3 「検索・救助訓練」とは

救助隊員の検索・救助技術の向上のため、隊員が一体となって行う連携訓練

4 「各種救助器具取扱訓練」とは

消防救助操法の基準（昭和53年消防庁告示第4号）第2編第1章から第18章までに規定する消防救助基本操法で第16章に規定するロープ操法以外のもの並びにこれらに類する各種器具の取扱訓練

5 「各種救助事象想定訓練」とは

各種基本・応用訓練を基礎として実際の救助活動を想定した総合訓練

6 「その他の訓練」とは

1から5までの訓練以外の訓練で各地域の特性に応じた定期的に行う訓練

第5 国際消防救助隊の活躍

昭和61年、消防庁では、海外で大規模災害が発生した場合に人道上及び国際協力推進の観点から世界のトップレベルにある我が国の消防機関の救助隊を迅速に派遣する体制を整備することとし、国際消防救助隊（International Rescue Team of Japanese Fire-Service 略号‘IRT-JF’ 愛称‘愛ある手’）を発足させた。

その後、政府において外務省を中心に、海外における大規模災害に対し、被災国政府の要請に応じ、緊急援助活動を行うため、昭和62年9月に「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」が制定された。

国際消防救助隊は同法に基づく国際緊急援助隊の一部を構成するものであり、平成20年12月現在、全国62消防本部、599名の隊員が登録されている。これまで16回にわたり、延べ301名が派遣されている。（第20表参照）

第20表 國際消防救助隊の派遣実績

(平成20年12月1日現在)

	派遣年月日	災害名	被災地	被害状況 (概数)	派遣実績、活動概要等
1	昭61.8.27 ～9.6 (11日間)	ニオス湖 有毒ガス噴出灾害	カメルーン共和国 ニオス湖周辺	死者 1,700人以上	国際消防救助隊員1人(東京消防庁) 有毒ガスの再噴出に備え、調査団に対する呼吸保護具の指導
2	昭61.10.11 ～10.20 (10日間)	エル・サルバドル 地震灾害	エル・サルバドル共和国 サンサルバドル市	死者 1,226人 倒壊家屋 3万户	国際消防救助隊員9人(東京消防庁5人、横浜市消防局3人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
3	平2.6.22 ～7.2 (11日間)	イラン地震灾害	イランイスラム共和国 カスピ海沿岸	死者 8万人以上	国際消防救助隊員6人(東京消防庁5人、消防庁1人) 倒壊家屋からの救助
4	平2.7.18 ～7.26 (9日間)	フィリピン地震灾害	フィリピン共和国 ルソン島北部	死者 1,600人以上	国際消防救助隊員11人(東京消防庁2人、名古屋市消防局4人、広島市消防局4人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
5	平3.5.15 ～6.6 (23日間)	バングラデシュ サイクロン灾害	バングラデシュ人民共和国	死者 13万人	国際消防救助隊員38人(東京消防庁17人、大阪市消防局11人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、消防庁2人)及びヘリコプター2機 被災民への救援物資の輸送等を実施
6	平5.12.13 ～12.20 (8日間)	マレイシア ビル倒壊被害	マレイシア クアラルンプール郊外 ウルクラン地区	死者 48人 倒壊 ビル1棟	国際消防救助隊員11人(東京消防庁6人、名古屋市消防局2人、北九州市消防局2人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
7	平8.10.30 ～11.6 (8日間)	エジプト ビル崩壊被害	エジプト・アラブ共和国 カイロ郊外 ヘリオポリス	死者 64人 崩壊ビル 1棟	国際消防救助隊員9人(東京消防庁3人、札幌市消防局2人、大阪市消防局1人、松戸市消防局1人、消防庁1人) 崩壊ビルからの救助
8	平9.10.22 ～11.11 (21日間)	インドネシア 森林火災	インドネシア共和国 ランブン州	焼失面積 1万8,000 ha (ランブン州内)	国際消防救助隊員30人(東京消防庁19人、名古屋市消防局5人、大阪市消防局3人、横浜市消防局2人、消防庁1人)及びヘリコプター2機 火災地点の上空からの情報収集、消火活動の助言
9	平11.1.24 ～2.4 (12日間)	コロンビア 地震灾害	コロンビア共和国 アルメニア市周辺	死者 1,171人 負傷者 4,765人	国際消防救助隊員15人(東京消防庁8人、大阪市消防局2人、千葉市消防局2人、船橋市消防局2人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
10	平11.8.17 ～8.24 (8日間)	トルコ地震灾害	トルコ共和国 ヤロヴァ地区周辺	死者 1万5,370人 負傷者 2万3,954人	国際消防救助隊員25人(東京消防庁12人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、市川市消防局2人、尼崎市消防局2人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
11	平11.9.21 ～9.28 (8日間)	台湾地震灾害	台湾中部	死者 2,333人 負傷者 1万2人	国際消防救助隊員46人(東京消防庁18人、仙台市消防局4人、千葉市消防局3人、京都市消防局4人及び川口市、松戸市、新潟市、岡山市、倉敷市、佐世保市、鹿児島市消防局から各2人、消防庁3人) 倒壊建物からの救助
12	平15.5.22 ～5.29 (8日間)	アルジェリア 地震灾害	アルジェリア民主人民共和国 ブーメルデス県周辺	死者 2,266人 負傷者 1万人以上	国際消防救助隊17人(東京消防庁8人、京都市消防局、仙台市消防局、川口市消防本部、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部から各2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
13	平16.2.25 ～3.1 (6日間)	モロッコ地震灾害	モロッコ王国 アルホセイマ周辺	死者 628人 負傷者 300人以上	国際消防救助隊員7人(東京消防庁4人、千葉市消防局1人、京都市消防局1人、消防庁1人) 現地被害状況の調査、救助資機材取扱いに関する技術供与等を実施
14	平16.12.29 ～17.1.20 (23日間)	スマトラ沖大地震・ インド洋津波災害	タイ王国 プーケット周辺	死者 17万6,453人 行方不明者 4万6,891人	国際消防救助隊員46人(東京消防庁23人、大阪市消防局15人、千葉市消防局2人、横浜市消防局1人、相模原市消防本部1人、川越地区消防組合消防本部1人、消防庁3人)及びヘリコプター2機 捜索救助活動、人員・物資搬送、捜索救助技術指導等を実施
15	平17.10.9 ～17.10.18 (10日間)	パキスタン・イスラム共和国地震灾害	パキスタン・イスラム共和国 バトグラム周辺	死者 7万3,338人 負傷者 6万9,412人	国際消防救助隊員13人(東京消防庁6人、横浜市消防局3人、船橋市消防局2人、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部1人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
16	平20.5.15 ～20.5.21 (7日間)	中国四川省における 大地震灾害	中華人民共和国	死者 6万9,226人 行方不明者 1万7,923人 9月18日現在	国際消防救助隊17人(東京消防庁6人、名古屋市消防局3人、川崎市消防局3人、市川市消防局2人、藤沢市消防本部2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助

別表1 都道府県別救助体制

都道府県	消防 本部数	救助隊設置消防本部数			単 独				組 合			
		単独	組合	計	市	町	村	計	市	町	村	計
北海道	68	22	34	56	20	2	0	22	12	93	15	120
青森	14	2	9	11	2	0	0	2	7	19	8	34
岩手	12	4	8	12	4	0	0	4	9	14	6	29
宮城	12	5	7	12	5	0	0	5	8	22	1	31
秋田	13	7	6	13	6	1	0	7	7	8	2	17
山形	15	11	4	15	9	2	0	11	4	13	3	20
福島	12	2	10	12	2	0	0	2	11	32	15	58
茨城	26	19	6	25	15	3	1	19	17	5	1	23
栃木	13	5	8	13	5	0	0	5	9	16	0	25
群馬	11	4	7	11	4	0	0	4	7	14	9	30
埼玉	36	23	13	36	20	3	0	23	20	25	1	46
千葉	31	23	8	31	22	1	0	23	14	15	3	32
東京	6	3	0	3	3	0	0	3	0	0	0	0
神奈川	26	25	1	26	18	7	0	25	1	5	0	6
新潟	19	13	6	19	12	1	0	13	8	4	1	13
富山	13	12	1	13	8	4	0	12	2	0	0	2
石川	11	6	5	11	4	2	0	6	6	7	0	13
福井	9	4	5	9	3	1	0	4	6	7	0	13
山梨	10	5	5	10	5	0	0	5	8	9	3	20
長野	14	2	12	14	2	0	0	2	17	21	34	72
岐阜	22	15	7	22	14	1	0	15	6	18	1	25
静岡	27	17	10	27	14	3	0	17	9	12	0	21
愛知	37	28	9	37	25	3	0	28	10	18	1	29
三重	15	9	4	13	8	1	0	9	3	6	0	9
滋賀	8	3	5	8	3	0	0	3	10	10	0	20
京都	15	11	4	15	9	2	0	11	6	6	1	13
大阪	33	27	5	32	23	4	0	27	10	1	0	11
兵庫	30	27	3	30	25	2	0	27	4	3	0	7
奈良	13	6	7	13	6	0	0	6	6	15	8	29
和歌山	17	13	4	17	7	6	0	13	2	10	0	12
鳥取	3	0	3	3	0	0	0	0	4	14	1	19
島根	9	5	4	9	5	0	0	5	3	10	1	14
岡山	14	10	4	14	10	0	0	10	5	8	0	13
広島	14	11	3	14	9	2	0	11	5	2	0	7
山口	13	10	3	13	10	0	0	10	3	5	0	8
徳島	12	5	6	11	5	0	0	5	3	9	0	12
香川	9	5	4	9	4	1	0	5	4	4	0	8
愛媛	14	10	4	14	7	3	0	10	4	6	0	10
高知	15	8	7	15	8	0	0	8	3	16	5	24
福岡	26	12	14	26	11	1	0	12	17	33	4	54
佐賀	7	3	4	7	2	1	0	3	8	8	0	16
長崎	10	7	3	10	6	1	0	7	6	2	0	8
熊本	13	1	12	13	1	0	0	1	13	26	8	47
大分	14	12	2	14	12	0	0	12	2	3	0	5
宮崎	9	7	2	9	7	0	0	7	2	7	0	9
鹿児島	19	8	11	19	7	1	0	8	11	23	2	36
沖縄	18	10	6	16	9	1	0	10	1	6	8	15
計	807	477	305	782	416	60	1	477	333	610	142	1,085

(平成20年4月1日現在)

都道府県	委託				計				救助隊設置 市町村人口A	全人口に対する Aの割合
	市	町	村	計	市	町	村	計		
北海道	0	1	0	1	32	96	15	143	5,277,302	93.8%
青森	0	0	0	0	9	19	8	36	1,341,857	93.4%
岩手	0	2	0	2	13	16	6	35	1,385,041	100.0%
宮城	0	0	0	0	13	22	1	36	2,360,218	100.0%
秋田	0	0	1	1	13	9	3	25	1,145,501	100.0%
山形	0	2	0	2	13	17	3	33	1,188,243	97.7%
福島	0	0	0	0	13	32	15	60	2,091,319	100.0%
茨城	0	1	0	1	32	9	2	43	2,955,962	99.4%
栃木	0	1	0	1	14	17	0	31	2,016,631	100.0%
群馬	1	2	1	4	12	16	10	38	2,024,135	100.0%
埼玉	0	1	0	1	40	29	1	70	7,054,243	100.0%
千葉	0	1	0	1	36	17	3	56	6,056,462	100.0%
東京	24	3	1	28	27	3	1	31	12,547,857	99.8%
神奈川	0	1	0	1	19	13	0	32	8,788,090	100.0%
新潟	0	2	3	5	20	7	4	31	2,431,459	100.0%
富山	0	0	0	0	10	4	0	14	1,109,056	99.8%
石川	0	0	0	0	10	9	0	19	1,174,026	100.0%
福井	0	0	0	0	9	8	0	17	821,592	100.0%
山梨	0	0	3	3	13	9	6	28	884,515	100.0%
長野	0	4	3	7	19	25	37	81	2,196,114	100.0%
岐阜	1	0	1	2	21	19	2	42	2,107,226	100.0%
静岡	0	3	0	3	23	18	0	41	3,792,377	100.0%
愛知	0	5	1	6	35	26	2	63	7,254,704	100.0%
三重	1	6	0	7	12	13	0	25	1,773,929	95.0%
滋賀	0	3	0	3	13	13	0	26	1,380,361	100.0%
京都	0	2	0	2	15	10	1	26	2,647,660	100.0%
大阪	0	2	1	3	33	7	1	41	8,786,683	99.7%
兵庫	0	7	0	7	29	12	0	41	5,590,601	100.0%
奈良	0	0	2	2	12	15	10	37	1,421,310	100.0%
和歌山	0	3	0	3	9	19	0	28	1,031,893	99.6%
鳥取	0	0	0	0	4	14	1	19	607,012	100.0%
島根	0	2	0	2	8	12	1	21	742,223	100.0%
岡山	0	2	2	4	15	10	2	27	1,957,264	100.0%
広島	0	5	0	5	14	9	0	23	2,876,642	100.0%
山口	0	2	0	2	13	7	0	20	1,492,606	100.0%
徳島	0	0	0	0	8	9	0	17	762,573	94.2%
香川	0	3	0	3	8	8	0	16	1,008,862	99.7%
愛媛	0	0	0	0	11	9	0	20	1,467,815	100.0%
高知	0	1	1	2	11	17	6	34	796,292	100.0%
福岡	0	0	0	0	28	34	4	66	5,049,908	100.0%
佐賀	0	1	0	1	10	10	0	20	866,369	100.0%
長崎	1	7	0	8	13	10	0	23	1,478,632	100.0%
熊本	0	0	0	0	14	26	8	48	1,842,233	100.0%
大分	0	0	1	1	14	3	1	18	1,209,571	100.0%
宮崎	0	7	0	7	9	14	0	23	1,114,643	96.7%
鹿児島	0	0	0	0	18	24	2	44	1,752,044	99.9%
沖縄	0	0	0	0	10	7	8	25	1,217,481	89.4%
計	28	82	21	131	777	752	164	1,693	126,878,537	99.3%

別表2 都道府県別救助隊数、救助隊員数

(平成20年4月1日現在)

都道府県	省令第3条の規定								省令第4条の規定							
	救助隊数				救助隊員数				救助隊数				救助隊員数			
	基準	計	専任	兼任	基準	計	専任	兼任	基準	計	専任	兼任	隊員	計	専任	兼任
北海道	104	84	24	60	1,505	1,529	375	1,154	22	23	20	3	370	462	336	126
青森	35	23	7	16	389	351	75	276	8	7	4	3	98	108	40	68
岩手	20	15	2	13	265	299	46	253	7	4	1	3	80	106	46	60
宮城	28	27	12	15	419	552	161	391	15	14	11	3	222	384	155	229
秋田	21	19	3	16	313	525	59	466	7	6	2	4	96	104	41	63
山形	15	15	2	13	157	189	22	167	4	4	1	3	46	52	12	40
福島	31	28	5	23	432	422	77	345	16	15	5	10	204	244	77	167
茨城	55	52	18	34	841	861	272	589	24	18	12	6	333	287	175	112
栃木	18	19	9	10	235	266	108	158	13	13	9	4	176	187	106	81
群馬	21	20	11	9	283	255	133	122	10	6	3	3	130	112	81	31
埼玉	63	62	49	13	1,033	948	740	208	43	35	34	1	713	611	583	28
千葉	71	58	38	20	913	956	567	389	43	41	36	5	626	722	555	167
東京	86	86	27	59	1,285	1,453	568	885	36	27	27	0	535	568	568	0
神奈川	64	64	51	13	1,068	1,095	930	165	51	49	46	3	865	879	865	14
新潟	41	40	16	24	673	708	229	479	16	15	13	2	240	235	194	41
富山	24	22	3	19	273	289	33	256	7	5	2	3	57	58	20	38
石川	23	17	2	15	348	328	28	300	7	6	2	4	98	84	28	56
福井	20	19	3	16	171	246	36	210	4	4	3	1	35	48	36	12
山梨	15	14	1	13	159	193	16	177	3	3	1	2	30	39	16	23
長野	48	32	5	27	686	552	76	476	10	6	5	1	156	89	76	13
岐阜	37	34	5	29	433	476	56	420	10	12	4	8	147	134	44	90
静岡	45	44	17	27	680	812	273	539	25	19	13	6	366	322	199	123
愛知	70	72	30	42	1,051	1,243	449	794	32	39	29	10	506	686	428	258
三重	28	23	4	19	269	373	51	322	7	7	4	3	65	63	51	12
滋賀	21	21	7	14	219	308	74	234	9	6	5	1	75	74	62	12
京都	30	29	7	22	395	520	105	415	12	9	7	2	135	161	105	56
大阪	77	77	56	21	1,036	1,210	774	436	43	41	38	3	595	649	549	100
兵庫	56	57	21	36	753	834	284	550	28	25	17	8	362	360	251	109
奈良	21	19	5	14	267	330	70	260	8	7	5	2	110	108	70	38
和歌山	28	25	2	23	254	398	18	380	4	4	2	2	50	77	18	59
鳥取	14	14	1	13	247	282	27	255	4	3	1	2	68	76	27	49
島根	17	16	3	13	183	235	32	203	2	2	2	0	20	22	22	0
岡山	22	22	5	17	262	431	92	339	8	8	5	3	83	112	92	20
広島	35	32	15	17	475	433	215	218	21	18	11	7	319	269	173	96
山口	23	23	4	19	332	351	53	298	12	10	2	8	197	153	35	118
徳島	16	13	2	11	223	222	30	192	3	3	2	1	60	57	30	27
香川	16	32	4	28	242	263	34	229	5	3	3	0	56	40	26	14
愛媛	20	22	10	12	265	358	149	209	12	13	10	3	137	189	140	49
高知	19	18	0	18	284	481	0	481	2	2	0	2	30	54	0	54
福岡	45	44	25	19	627	648	360	288	25	25	21	4	387	364	313	51
佐賀	16	15	2	13	247	259	36	223	6	4	2	2	67	73	36	37
長崎	17	17	8	9	214	314	106	208	9	8	7	1	93	165	91	74
熊本	25	22	10	12	349	368	120	248	7	6	4	2	101	109	56	53
大分	16	18	7	11	217	238	86	152	1	1	0	1	15	14	0	14
宮崎	13	17	5	12	148	205	62	143	4	11	5	6	88	98	62	34
鹿児島	28	28	9	19	341	323	100	223	5	5	5	0	57	60	60	0
沖縄	23	30	1	29	289	419	17	402	5	13	1	12	31	28	16	12
計	1,581	1,500	553	947	21,760	24,351	8,224	16,127	655	605	442	163	9,331	9,894	6,966	2,928

別表3 都道府県別事故種別救助出動件数

(平成19年中 単位:件)

事故種別 都道府県	火 災	交通事故	水難事故	自然災害	機械に による事故	建物等に による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
北海道	141	1,312	184	8	63	322	12	0	746	2,788
青 森	55	418	49	3	10	25	3	0	116	679
岩 手	28	484	31	4	22	38	0	0	110	717
宮 城	189	468	80	1	33	99	7	0	302	1,179
秋 田	82	465	34	19	23	6	2	0	104	735
山 形	27	372	20	0	13	20	0	0	80	532
福 島	81	677	33	4	38	28	1	0	297	1,159
茨 城	216	879	100	3	45	44	10	0	272	1,569
栃 木	129	628	45	6	29	69	0	0	300	1,206
群 馬	182	416	45	5	25	24	2	0	221	920
埼 玉	838	1,104	97	12	97	485	14	0	640	3,287
千 葉	339	959	137	10	68	316	1	1	569	2,400
東 京	187	5,445	231	9	246	14,258	13	1	1,325	21,715
神奈川	541	1,143	181	15	91	1,016	8	0	1,888	4,883
新潟	59	783	96	40	41	25	0	0	257	1,301
富 山	71	310	43	4	17	20	0	0	87	552
石 川	36	269	44	8	22	16	0	0	137	532
福 井	22	286	24	3	19	8	0	0	103	465
山 梨	16	281	18	2	17	18	1	1	174	528
長 野	57	585	35	2	46	21	4	0	244	994
岐 阜	155	669	64	0	31	38	8	0	228	1,193
静 岡	165	775	105	33	47	89	3	1	389	1,607
愛 知	252	1,265	165	0	106	469	12	0	1,018	3,287
三 重	91	519	50	0	20	55	1	0	134	870
滋 賀	30	389	28	4	20	17	2	0	205	695
京 都	69	414	96	2	52	366	1	1	354	1,355
大 阪	649	976	200	1	142	2,008	51	0	1,447	5,474
兵 庫	279	1,117	128	0	95	720	11	0	972	3,322
奈 良	28	272	31	2	25	66	0	0	340	764
和 歌 山	35	322	63	0	20	38	2	1	219	700
鳥 取	54	179	29	1	12	11	0	0	67	353
島 根	14	311	19	1	8	5	1	0	81	440
岡 山	68	703	50	0	26	54	7	0	246	1,154
広 島	311	667	86	0	51	128	4	0	265	1,512
山 口	131	482	41	0	23	23	7	1	190	898
徳 島	39	186	28	1	13	13	0	0	121	401
香 川	23	274	37	0	25	14	3	0	48	424
愛 媛	51	330	47	1	22	17	1	0	211	680
高 知	10	212	25	0	10	7	1	0	85	350
福 岡	217	846	176	17	77	93	6	1	1,093	2,526
佐 賀	25	250	30	1	10	22	0	0	86	424
長 崎	16	240	44	0	19	22	0	0	159	500
熊 本	261	542	36	6	41	11	3	1	184	1,085
大 分	54	337	29	24	18	26	0	0	213	701
宮 崎	70	220	43	2	13	2	0	0	87	437
鹿 児 島	47	436	61	2	22	14	9	0	181	772
沖 縄	48	136	102	8	32	47	0	1	206	580
計	6,488	30,353	3,340	264	1,945	21,233	211	10	16,801	80,645

別表4 都道府県別事故種別救助活動件数

(平成19年中 単位:件)

事故種別 都道府県	火 災	交通事故	水難事故	自然災害	機械に による事故	建物等に による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
北海道	141	803	141	3	35	218	11	0	455	1,807
青森	55	213	27	2	7	20	3	0	64	391
岩手	28	196	18	3	10	21	0	0	61	337
宮城	189	324	68	1	16	98	7	0	279	982
秋田	82	145	18	10	11	4	0	0	73	343
山形	27	173	12	0	4	15	0	0	52	283
福島	81	267	17	1	17	19	0	0	165	567
茨城	216	475	59	1	25	31	2	0	136	945
栃木	129	332	32	1	19	56	0	0	127	696
群馬	182	234	33	4	11	18	2	0	139	623
埼玉	838	540	74	10	50	353	4	0	313	2,182
千葉	339	530	82	5	38	247	1	0	293	1,535
東京	187	4,547	148	7	114	11,789	10	1	806	17,609
神奈川	541	396	121	10	56	835	4	0	523	2,486
新潟	59	299	64	28	21	17	0	0	155	643
富山	71	179	29	3	9	10	0	0	51	352
石川	36	154	33	6	14	11	0	0	56	310
福井	22	155	12	3	7	8	0	0	52	259
山梨	16	118	10	1	11	15	0	0	109	280
長野	57	312	30	1	26	15	4	0	171	616
岐阜	155	281	46	0	13	23	4	0	124	646
静岡	165	444	62	21	22	68	3	0	223	1,008
愛知	252	763	120	0	58	328	4	0	296	1,821
三重	91	277	39	0	11	35	1	0	105	559
滋賀	30	197	18	0	13	10	0	0	94	362
京都	69	218	69	2	26	268	1	1	245	899
大阪	649	436	107	1	70	1,135	13	0	481	2,892
兵庫	279	548	91	0	49	531	5	0	390	1,893
奈良	28	138	23	1	12	47	0	0	247	496
和歌山	35	190	37	0	12	30	1	0	133	438
鳥取	54	123	13	1	5	9	0	0	39	244
島根	14	146	10	1	2	5	1	0	48	227
岡山	68	303	24	0	14	37	1	0	96	543
広島	311	353	57	0	27	93	4	0	163	1,008
山口	131	239	21	0	9	18	0	0	123	541
徳島	39	101	19	0	7	10	0	0	38	214
香川	23	163	30	0	12	12	3	0	36	279
愛媛	51	207	35	1	11	13	1	0	166	485
高知	10	134	14	0	4	5	1	0	60	228
福岡	217	486	140	1	41	71	4	0	310	1,270
佐賀	25	147	19	1	3	18	0	0	60	273
長崎	16	118	27	0	13	19	0	0	107	300
熊本	261	254	25	5	18	6	1	1	117	688
大分	54	179	18	10	14	21	0	0	147	443
宮崎	70	119	31	1	6	2	0	0	61	290
鹿児島	47	239	40	2	15	9	4	0	128	484
沖縄	48	92	75	7	26	36	0	0	122	406
計	6,488	17,287	2,238	155	1,014	16,659	100	3	8,239	52,183

別表5 都道府県別事故種別救助人員

(平成19年中 単位:人)

事故種別 都道府県	火 災	交通事故	水難事故	自然災害	機械に による事故	建物等に による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
北海道	125	1,219	156	1	60	219	9	0	531	2,320
青 森	19	286	26	9	7	25	7	0	116	495
岩 手	22	308	22	83	25	21	0	0	59	540
宮 城	28	325	75	1	16	94	1	0	115	655
秋 田	11	169	15	38	11	4	0	0	65	313
山 形	14	193	10	0	4	15	0	0	53	289
福 島	6	354	16	1	23	20	0	0	183	603
茨 城	39	751	55	12	30	35	2	0	131	1,055
栃 木	14	370	32	0	17	53	0	0	124	610
群 馬	20	327	25	18	11	20	5	0	192	618
埼 玉	118	629	69	29	59	341	4	0	302	1,551
千 葉	90	606	67	22	48	209	1	0	282	1,325
東 京	218	7,191	148	10	184	11,400	13	1	796	19,961
神奈川	100	483	103	27	100	810	2	0	544	2,169
新潟	21	326	59	29	21	17	0	0	145	618
富 山	5	208	25	6	12	9	0	0	28	293
石 川	11	227	34	5	15	13	0	0	65	370
福 井	2	189	14	1	7	7	0	0	49	269
山 梨	12	153	9	9	16	14	0	0	109	322
長 野	24	359	25	1	30	14	11	0	255	719
岐 阜	68	465	78	0	16	27	1	0	165	820
静 岡	34	529	56	69	33	66	2	0	230	1,019
愛 知	75	929	109	0	65	336	5	0	290	1,809
三 重	126	416	71	0	13	65	0	0	134	825
滋 賀	12	257	18	0	17	10	0	0	82	396
京 都	116	385	555	4	33	280	0	1	351	1,725
大 阪	167	621	111	3	117	1,122	12	0	470	2,623
兵 庫	105	642	84	0	53	516	4	0	329	1,733
奈 良	6	161	24	3	12	43	0	0	237	486
和 歌 山	9	238	30	0	12	32	1	0	124	446
鳥 取	7	141	21	1	5	9	0	0	35	219
島 根	1	215	11	0	2	5	1	0	61	296
岡 山	14	367	23	0	14	33	0	0	97	548
広 島	44	536	52	0	31	97	5	0	172	937
山 口	18	440	21	0	9	16	0	0	161	665
徳 島	18	191	22	0	10	16	0	0	61	318
香 川	11	254	28	0	13	12	3	0	65	386
愛 媛	15	258	30	3	12	12	1	0	169	500
高 知	4	184	21	0	4	5	1	0	65	284
福 岡	86	691	131	0	63	71	3	0	346	1,391
佐 賀	7	254	44	2	3	18	0	0	64	392
長 崎	5	211	53	0	18	17	0	0	112	416
熊 本	35	336	26	6	18	6	1	1	115	544
大 分	17	244	17	24	23	20	0	0	158	503
宮 崎	10	224	44	2	9	2	0	0	70	361
鹿 児 島	15	438	67	1	14	7	1	0	189	732
沖 縄	17	149	116	16	70	68	0	0	134	570
計	1,941	24,449	2,848	436	1,385	16,251	96	3	8,630	56,039

別表6 都道府県別事故種別救助出動人員

(平成19年中 単位:人)

事故種別 都道府県	火災		交通事故		水難事故		自然災害		機械による 事故	
	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員
北海道	6,367	877	16,290	64	4,279	26	96	0	656	2
青森	1,190	1,656	4,729	11	672	129	91	0	150	0
岩手	759	1,237	5,148	2	362	171	61	32	237	1
宮城	8,627	257	5,908	11	1,327	52	10	0	384	0
秋田	2,471	230	4,597	4	502	0	136	3	215	0
山形	861	968	3,689	6	275	0	0	0	123	0
福島	1,422	974	7,132	9	516	917	23	0	321	0
茨城	5,180	2,898	9,242	13	1,309	67	22	0	432	13
栃木	2,861	4,845	6,749	0	571	166	54	10	274	0
群馬	4,880	4,512	4,827	76	556	12	45	0	269	4
埼玉	23,045	20,615	15,563	0	2,062	27	196	4	1,294	0
千葉	10,774	7,752	13,062	73	2,209	32	95	0	883	0
東京	15,442	4,206	91,927	289	9,537	87	458	20	5,512	12
神奈川	23,011	6,877	18,089	7	4,799	103	335	87	1,454	0
新潟	1,849	941	9,652	10	1,656	15	539	118	466	0
富山	600	710	3,035	136	491	31	30	0	154	0
石川	1,597	1,812	3,182	585	732	235	62	55	230	32
福井	616	251	2,861	30	243	23	33	0	182	0
山梨	246	100	2,608	41	186	0	19	0	142	0
長野	1,484	680	5,342	2	485	22	24	0	387	0
岐阜	4,127	2,025	6,443	16	925	19	0	0	244	0
静岡	4,894	6,434	10,197	20	1,664	62	265	12	580	0
愛知	5,984	3,687	17,396	54	3,715	109	0	0	1,399	11
三重	2,116	1,232	5,522	91	760	5	0	0	186	0
滋賀	732	968	4,271	0	512	3	22	0	207	0
京都	3,321	1,799	5,829	296	2,605	107	31	0	975	104
大阪	30,878	3,573	12,603	0	4,524	0	9	0	1,835	0
兵庫	10,828	4,503	13,870	6	2,828	13	0	0	1,042	0
奈良	469	173	2,861	24	376	13	30	0	250	0
和歌山	706	739	3,337	8	734	136	0	0	223	0
鳥取	1,100	988	2,430	7	464	12	31	11	161	0
島根	423	239	2,820	0	200	15	3	0	70	0
岡山	1,823	2,372	6,757	18	597	0	0	0	271	0
広島	10,260	2,565	8,816	2	1,863	77	0	0	649	0
山口	2,904	923	4,989	14	484	55	0	0	236	0
徳島	608	1,173	1,713	154	264	84	3	0	110	0
香川	645	765	3,312	18	594	8	0	0	314	0
愛媛	1,036	1,869	3,346	1	608	0	3	0	264	0
高知	174	254	2,118	3	322	434	0	0	115	0
福岡	5,030	5,558	11,456	17	4,076	927	88	0	962	0
佐賀	589	326	2,676	0	325	43	12	0	117	0
長崎	399	381	2,271	10	537	4	0	0	147	0
熊本	5,355	8,149	4,514	35	553	245	61	5	391	0
大分	837	780	3,208	7	380	32	126	0	138	0
宮崎	1,720	3,867	2,529	35	630	477	23	2	116	0
鹿児島	1,373	393	4,113	5	711	154	24	0	240	0
沖縄	458	10	1,129	0	1,143	18	39	0	237	0
計	212,071	118,143	384,158	2,210	65,163	5,167	3,099	359	25,244	179

(平成19年中 単位:人)

事故種別 都道府県	建物等による 事故		ガス及び酸欠 事故		破裂事故		その他の 事故		計	
	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員
北海道	4,664	15	222	0	0	0	9,245	565	41,819	1,549
青森	251	0	52	2	0	0	1,538	313	8,673	2,111
岩手	367	0	0	0	0	0	1,004	167	7,938	1,610
宮城	1,347	0	146	0	0	0	6,761	94	24,510	414
秋田	53	0	14	0	0	0	1,026	252	9,014	489
山形	182	0	0	0	0	0	688	47	5,818	1,021
福島	213	0	11	0	0	0	2,565	245	12,203	2,145
茨城	381	0	105	0	0	0	3,096	79	19,767	3,070
栃木	579	0	0	0	0	0	3,420	954	14,508	5,975
群馬	214	0	30	0	0	0	2,060	145	12,881	4,749
埼玉	5,589	0	170	0	0	0	9,946	1,258	57,865	21,904
千葉	3,983	0	16	0	40	0	7,702	575	38,764	8,432
東京	179,011	191	466	0	11	0	25,188	291	327,552	5,096
神奈川	11,018	66	143	1	0	0	39,851	2,407	98,700	9,548
新潟	349	0	0	0	0	0	3,060	803	17,571	1,887
富山	215	0	0	0	0	0	777	105	5,302	982
石川	186	96	0	0	0	0	3,611	1,868	9,600	4,683
福井	75	1	0	0	0	0	1,226	146	5,236	451
山梨	144	0	15	10	17	0	1,422	105	4,799	256
長野	212	0	49	0	0	0	2,197	206	10,180	910
岐阜	332	0	143	24	0	0	2,802	366	15,016	2,450
静岡	1,082	0	55	0	35	0	5,139	831	23,911	7,359
愛知	6,796	0	177	0	0	0	22,540	2,720	58,007	6,581
三重	443	0	6	0	0	0	1,215	97	10,248	1,425
滋賀	142	0	18	0	0	0	1,963	40	7,867	1,011
京都	3,239	560	15	11	13	0	5,666	1,049	21,694	3,926
大阪	22,787	0	1,305	0	0	0	21,221	669	95,162	4,242
兵庫	6,966	6	148	0	0	0	16,912	1,015	52,594	5,543
奈良	554	0	0	0	0	0	2,572	42	7,112	252
和歌山	455	0	17	0	10	0	3,225	150	8,707	1,033
鳥取	112	0	0	0	0	0	695	344	4,993	1,362
島根	33	0	13	0	0	0	676	0	4,238	254
岡山	403	0	71	0	0	0	2,984	257	12,906	2,647
広島	1,925	0	70	0	0	0	3,262	1	26,845	2,645
山口	182	0	94	0	17	0	1,743	42	10,649	1,034
徳島	109	0	0	0	0	0	1,771	2,550	4,578	3,961
香川	187	5	55	0	0	0	404	0	5,511	796
愛媛	148	0	6	0	0	0	1,716	523	7,127	2,393
高知	126	0	13	0	0	0	707	194	3,575	885
福岡	878	2	88	0	7	0	10,644	1,129	33,229	7,633
佐賀	166	0	0	0	0	0	765	628	4,650	997
長崎	191	0	0	0	0	0	1,571	55	5,116	450
熊本	107	0	54	0	10	0	2,194	961	13,239	9,395
大分	251	0	0	0	0	0	1,794	363	6,734	1,182
宮崎	15	0	0	0	0	0	850	107	5,883	4,488
鹿児島	152	0	112	0	0	0	1,487	121	8,212	673
沖縄	414	2	0	0	6	0	1,300	4	4,726	34
計	257,228	944	3,899	48	166	0	244,201	24,883	1,195,229	151,933

別表7 都道府県別事故種別救助活動人員

事故種別 都道府県	火災		交通事故		水難事故		自然災害		機械による 事故	
	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員
北海道	1,607	240	7,448	11	2,145	17	16	0	256	0
青森	631	78	1,965	0	343	129	62	0	73	0
岩手	526	0	1,858	0	194	39	39	32	100	0
宮城	7,063	28	3,951	8	1,053	51	10	0	180	0
秋田	397	0	1,234	0	238	0	76	3	85	0
山形	769	286	1,480	0	155	0	0	0	40	0
福島	251	0	2,219	0	304	854	4	0	113	0
茨城	2,441	864	4,451	10	674	44	9	0	203	0
栃木	1,636	1,446	3,151	0	342	142	4	0	142	0
群馬	1,955	528	2,115	3	329	12	30	0	95	0
埼玉	8,491	1,372	6,339	0	1,184	27	114	4	580	0
千葉	3,323	1,565	5,759	25	1,081	11	44	0	411	0
東京	12,606	454	51,864	0	4,541	0	247	0	1,913	0
神奈川	7,013	1,684	4,250	0	2,103	17	66	43	586	0
新潟	599	101	2,952	1	876	15	420	118	211	0
富山	130	0	1,310	43	290	24	17	0	61	0
石川	355	48	1,538	122	469	69	48	55	111	2
福井	216	20	1,256	0	110	4	33	0	56	0
山梨	78	0	911	8	74	0	9	0	74	0
長野	1,088	94	2,637	2	355	22	11	0	229	0
岐阜	1,160	152	2,541	7	595	0	0	0	107	0
静岡	3,299	2,292	5,172	0	854	44	143	12	241	0
愛知	2,177	260	7,508	0	1,679	89	0	0	555	0
三重	854	358	2,547	90	561	5	0	0	90	0
滋賀	263	30	1,698	0	258	3	0	0	133	0
京都	582	12	1,712	40	1,174	0	16	0	201	16
大阪	8,392	538	4,277	0	1,736	0	9	0	873	0
兵庫	2,374	120	4,391	0	1,002	12	0	0	346	0
奈良	297	0	1,054	19	233	13	23	0	90	0
和歌山	542	585	1,788	0	452	136	0	0	110	0
鳥取	430	0	1,078	7	152	7	24	11	52	0
島根	67	0	1,293	0	117	0	3	0	15	0
岡山	423	46	2,322	0	186	0	0	0	115	0
広島	2,184	560	4,272	2	1,210	77	0	0	326	0
山口	983	125	2,072	0	225	34	0	0	72	0
徳島	196	221	894	44	170	0	0	0	72	0
香川	208	0	1,401	0	337	0	0	0	100	0
愛媛	714	1,421	1,942	1	397	0	3	0	135	0
高知	90	0	1,129	2	160	434	0	0	25	0
福岡	3,610	1,625	5,403	15	2,594	400	9	0	451	0
佐賀	489	109	1,505	0	183	43	12	0	37	0
長崎	166	21	1,016	10	297	0	0	0	84	0
熊本	3,729	480	2,153	1	388	100	35	5	161	0
大分	240	254	1,441	0	200	17	52	0	82	0
宮崎	268	0	1,203	3	386	226	12	0	56	0
鹿児島	1,027	243	2,104	2	446	109	20	0	145	0
沖縄	310	6	769	0	863	14	28	0	186	0
計	86,249	18,266	173,373	476	33,715	3,240	1,648	283	10,379	18

(平成19年中 単位:人)

事故種別 都道府県	建物等による 事故		ガス及び酸欠 事故		破裂事故		その他の 事故		計	
	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員
北海道	1,432	1	93	0	0	0	3,671	451	16,668	720
青森	149	0	16	2	0	0	657	171	3,896	380
岩手	183	0	0	0	0	0	543	158	3,443	229
宮城	1,221	0	141	0	0	0	5,190	94	18,809	181
秋田	30	0	0	0	0	0	641	250	2,701	253
山形	125	0	0	0	0	0	361	30	2,930	316
福島	121	0	0	0	0	0	1,130	38	4,142	892
茨城	213	0	16	0	0	0	1,058	0	9,065	918
栃木	374	0	0	0	0	0	888	16	6,537	1,604
群馬	135	0	30	0	0	0	1,044	119	5,733	662
埼玉	2,862	0	57	0	0	0	2,610	48	22,237	1,451
千葉	2,034	0	13	0	0	0	2,532	29	15,197	1,630
東京	96,662	0	271	0	8	0	11,453	4	179,565	458
神奈川	5,136	0	70	1	0	0	5,534	692	24,758	2,437
新潟	128	0	0	0	0	0	1,433	705	6,619	940
富山	55	0	0	0	0	0	260	12	2,123	79
石川	76	0	0	0	0	0	537	114	3,134	410
福井	61	0	0	0	0	0	401	36	2,133	60
山梨	96	0	0	0	0	0	727	13	1,969	21
長野	102	0	45	0	0	0	1,357	107	5,824	225
岐阜	132	0	43	0	0	0	915	57	5,493	216
静岡	665	0	55	0	0	0	2,218	0	12,647	2,348
愛知	2,404	0	30	0	0	0	2,419	2	16,772	351
三重	217	0	3	0	0	0	852	77	5,124	530
滋賀	49	0	0	0	0	0	657	2	3,058	35
京都	1,207	191	0	0	13	0	2,113	502	7,018	761
大阪	10,482	0	112	0	0	0	4,266	33	30,147	571
兵庫	2,890	1	26	0	0	0	2,808	426	13,837	559
奈良	264	0	0	0	0	0	1,530	42	3,491	74
和歌山	311	0	8	0	0	0	1,193	142	4,404	863
鳥取	51	0	0	0	0	0	325	108	2,112	133
島根	30	0	13	0	0	0	373	0	1,911	0
岡山	201	0	14	0	0	0	623	116	3,884	162
広島	1,426	0	58	0	0	0	1,789	0	11,265	639
山口	124	0	0	0	0	0	866	1	4,342	160
徳島	75	0	0	0	0	0	303	323	1,710	588
香川	88	0	43	0	0	0	219	0	2,396	0
愛媛	99	0	6	0	0	0	1,254	523	4,550	1,945
高知	80	0	13	0	0	0	467	194	1,964	630
福岡	498	0	64	0	0	0	2,844	84	15,473	2,124
佐賀	129	0	0	0	0	0	504	573	2,859	725
長崎	159	0	0	0	0	0	879	0	2,601	31
熊本	44	0	17	0	10	0	1,065	933	7,602	1,519
大分	122	0	0	0	0	0	954	362	3,091	633
宮崎	15	0	0	0	0	0	545	27	2,485	256
鹿児島	71	0	40	0	0	0	934	114	4,787	468
沖縄	325	2	0	0	0	0	835	4	3,316	26
計	133,353	195	1,297	3	31	0	75,777	7,732	515,822	30,213

別表8 救助活動のための主な救助器具の保有状況(省令別表第1)

(平成20年4月1日現在)

都道府県	救助器具 三連 はしご	救命索 発射銃	油圧 スプレッター	油圧 切断機	可搬 ウインチ	エンジン カッター	チェーン ソー	ガス 溶断機	可燃性ガス 測定器	空気 呼吸器
北海道	384	122	133	139	262	397	325	79	264	2,761
青森	105	33	44	41	59	65	61	19	58	818
岩手	62	24	27	28	47	61	65	22	67	429
宮城	121	44	30	29	63	63	73	26	54	649
秋田	61	26	33	29	46	60	54	18	39	508
山形	80	28	17	15	39	42	39	19	49	539
福島	66	41	24	25	61	48	44	29	55	566
茨城	172	77	52	52	108	125	148	47	98	1,081
栃木	95	40	34	27	61	65	73	23	60	550
群馬	123	36	41	32	83	98	84	16	78	684
埼玉	424	104	101	87	240	301	250	90	258	2,406
千葉	269	81	84	69	171	273	295	69	244	1,921
東京	758	95	86	82	294	331	193	57	357	3,369
神奈川	197	103	80	61	263	297	417	66	372	1,930
新潟	190	71	74	53	99	96	108	50	85	1,214
富山	47	46	26	27	41	34	36	28	30	453
石川	70	31	20	20	47	56	72	20	47	449
福井	48	39	12	13	34	46	51	14	42	450
山梨	28	48	13	9	31	22	24	12	23	172
長野	107	59	80	57	92	82	102	31	72	798
岐阜	100	60	56	39	121	101	131	50	64	725
静岡	184	84	75	54	167	236	298	58	182	1,312
愛知	307	110	93	85	240	246	249	98	238	2,340
三重	104	38	37	48	83	93	91	29	74	889
滋賀	61	28	27	11	53	38	65	16	34	439
京都	82	23	33	19	48	59	52	23	76	784
大阪	245	81	72	73	140	235	149	52	230	2,568
兵庫	195	71	79	65	134	164	198	52	193	1,521
奈良	51	26	27	22	43	40	52	21	34	354
和歌山	63	38	25	22	56	60	75	19	57	522
鳥取	41	17	15	17	32	31	32	14	35	223
島根	45	26	28	23	26	30	34	17	39	358
岡山	46	27	23	19	39	49	40	23	35	631
広島	75	46	40	30	70	100	180	34	105	910
山口	78	34	30	29	52	72	96	23	52	544
徳島	30	25	18	14	34	31	45	12	29	263
香川	41	30	17	9	39	46	92	13	40	420
愛媛	80	31	37	24	67	55	135	26	70	573
高知	44	40	19	17	50	39	43	11	34	293
福岡	156	69	45	33	100	130	191	44	112	1,353
佐賀	33	23	16	18	25	27	35	13	21	302
長崎	62	24	38	28	34	72	71	17	54	393
熊本	84	34	33	23	32	56	106	23	61	580
大分	63	37	9	12	36	35	74	20	46	454
宮崎	42	27	16	17	31	34	48	14	30	378
鹿児島	99	58	26	28	83	87	133	24	63	626
沖縄	82	23	29	27	52	98	83	25	34	492
計	5,900	2,278	1,974	1,701	4,028	4,826	5,312	1,506	4,394	41,994

別表9 救助活動のための主な救助器具の保有状況(省令別表第2)

(平成20年4月1日現在)

都道府県	救助器具 空気 ジャッキ	大型油圧 スプレッター	大型油圧 切断機	削岩機	空気鋸	簡易画像 探索機	ロープ 登降機	ハンマー ドリル	送排風機	酸素 呼吸器
北海道	196	172	158	49	112	19	88	38	108	151
青森	36	30	31	15	24	3	16	12	25	26
岩手	34	28	25	11	31	5	20	10	27	79
宮城	32	49	79	49	29	14	56	16	35	88
秋田	33	27	25	13	26	7	19	16	20	49
山形	21	22	22	13	21	3	16	10	19	28
福島	27	38	36	21	30	9	40	18	29	79
茨城	72	48	45	37	67	31	43	33	52	101
栃木	34	39	30	20	29	15	36	22	34	76
群馬	43	22	23	11	29	6	27	13	19	50
埼玉	101	92	96	80	114	60	158	63	96	308
千葉	149	81	75	71	97	42	86	63	74	204
東京	90	31	31	46	82	84	30	33	46	154
神奈川	204	82	81	223	79	58	123	70	91	255
新潟	79	57	52	34	53	16	135	29	50	79
富山	29	27	27	12	22	5	9	13	17	21
石川	34	21	20	17	22	4	18	15	20	21
福井	28	22	23	17	17	8	13	10	14	32
山梨	30	13	11	11	17	4	20	13	19	26
長野	66	54	53	25	47	17	64	22	34	58
岐阜	66	49	46	34	50	21	39	31	40	82
静岡	89	77	71	69	61	28	51	44	57	101
愛知	119	110	125	109	99	40	100	70	115	259
三重	33	24	22	32	31	10	57	26	25	70
滋賀	21	22	22	18	16	4	52	13	21	33
京都	38	27	26	23	31	13	111	19	29	60
大阪	121	107	107	97	108	29	86	70	88	162
兵庫	80	78	78	67	61	21	99	51	87	68
奈良	25	19	20	21	24	7	34	17	23	71
和歌山	44	24	29	17	27	5	26	13	20	13
鳥取	9	10	10	6	10	2	6	5	8	28
島根	23	9	11	10	19	4	18	3	12	13
岡山	30	28	20	20	32	8	29	21	25	65
広島	52	32	33	29	38	13	33	29	67	96
山口	43	24	24	19	26	10	34	17	25	62
徳島	20	11	11	10	15	4	12	8	12	25
香川	28	20	19	15	10	1	14	14	17	47
愛媛	45	29	30	17	31	7	44	16	29	85
高知	26	15	19	8	25	4	74	8	10	20
福岡	61	46	47	41	77	14	99	32	40	129
佐賀	18	13	10	9	13	2	18	6	11	31
長崎	23	16	16	8	22	6	15	10	13	21
熊本	42	32	31	20	40	11	51	22	23	67
大分	26	26	25	12	16	9	12	10	15	7
宮崎	14	48	13	12	14	4	32	10	21	33
鹿児島	51	23	21	18	41	3	42	10	27	60
沖縄	51	24	15	14	23	0	14	8	51	7
計	2,536	1,898	1,844	1,530	1,908	690	2,219	1,102	1,740	3,600

別表10 救助活動のための主な救助器具の保有状況

【省令別表第1(地域の実情に応じ備えるもの)】

(平成20年4月1日現在)

都道府県 救助器具	耐熱服	放射線 防護服	潜水器具	救助用 簡易起重機	有毒ガス 測定器	化学防護服 (陽圧除ぐ)	陽圧式化 学防護服	除染 シャワー	除染剤 散布器	酸素濃度 測定器
北海道	388	57	140	2	175	304	101	9	20	180
青森	94	44	158	4	17	20	32	1	0	38
岩手	55	25	14	5	21	38	31	2	8	27
宮城	92	49	39	6	44	144	91	5	14	24
秋田	41	17	96	0	24	18	55	3	6	23
山形	73	7	8	1	25	19	12	3	3	30
福島	88	48	59	1	36	61	50	6	11	42
茨城	133	483	145	4	51	95	122	10	11	56
栃木	61	44	74	4	49	124	55	5	8	55
群馬	93	23	27	4	20	113	45	4	7	28
埼玉	236	180	208	18	136	342	265	31	67	174
千葉	232	123	175	17	139	511	331	29	54	122
東京	386	61	72	3	376	1,472	90	22	58	355
神奈川	160	363	269	8	137	343	330	32	36	311
新潟	110	62	89	2	43	117	56	5	8	52
富山	62	2	40	8	25	13	38	2	4	18
石川	87	42	104	0	25	80	79	3	4	31
福井	37	70	58	3	28	18	39	1	5	28
山梨	19	13	6	1	19	63	44	4	4	17
長野	94	20	31	6	36	119	42	4	4	231
岐阜	83	33	158	8	57	60	48	2	2	52
静岡	151	103	222	11	80	53	136	8	6	96
愛知	475	133	330	13	198	455	213	19	23	214
三重	62	20	103	4	37	37	36	4	7	33
滋賀	40	42	60	0	37	297	51	5	8	35
京都	60	111	89	9	34	196	111	7	14	58
大阪	238	353	196	3	122	315	262	19	23	161
兵庫	157	107	191	7	152	355	200	13	21	158
奈良	42	26	83	2	23	68	47	1	6	24
和歌山	59	24	99	1	29	17	30	2	2	30
鳥取	29	24	21	0	11	104	20	3	2	17
島根	44	8	5	0	19	51	32	2	3	24
岡山	75	38	30	0	45	65	55	3	3	26
広島	108	40	298	0	38	78	75	4	7	32
山口	66	30	94	1	27	130	78	2	8	23
徳島	31	9	65	0	21	7	17	1	2	19
香川	70	17	62	1	18	18	9	3	3	28
愛媛	65	23	50	0	41	53	63	5	12	55
高知	17	4	86	0	19	0	6	1	2	19
福岡	165	58	315	2	81	143	118	6	5	47
佐賀	45	9	80	0	15	36	28	2	4	15
長崎	64	21	15	0	24	39	24	3	2	26
熊本	64	23	148	4	35	21	47	4	8	38
大分	52	17	67	0	25	106	25	3	6	18
宮崎	27	13	20	4	15	131	53	5	4	10
鹿児島	99	11	99	2	61	160	34	2	2	39
沖縄	46	13	344	2	27	21	35	6	7	19
計	4,975	3,043	5,142	171	2,717	7,030	3,761	316	524	3,158

別表11 救助活動のための主な救助器具の保有状況(省令別表第3)

(平成20年4月1日現在)

救助器具 都道府県	画像 探査機	地中音響 探知機	熱画像 直視装置	夜間用 暗視装置	地震 警報機	電磁波 探査装置	二酸化炭素 探査装置	水中 探査装置
北海道	13	7	30	12	3	1	1	2
青森	7	3	6	7	2	0	0	0
岩手	9	3	7	3	1	0	0	0
宮城	12	6	14	7	2	1	0	3
秋田	4	2	4	2	0	0	0	0
山形	3	2	4	3	1	0	0	0
福島	6	4	9	4	1	0	0	1
茨城	12	6	8	6	4	0	2	0
栃木	9	5	15	6	1	0	0	0
群馬	8	3	4	3	0	0	0	1
埼玉	29	16	57	16	3	6	2	2
千葉	35	10	41	14	2	1	1	1
東京	10	13	30	8	3	3	2	6
神奈川	22	34	53	16	3	4	2	5
新潟	11	8	13	6	1	2	1	2
富山	5	2	5	3	0	0	0	1
石川	6	2	4	2	1	0	0	0
福井	6	3	5	3	1	0	0	2
山梨	1	1	1	1	1	0	0	0
長野	7	4	5	4	1	0	0	1
岐阜	5	3	7	4	1	0	0	0
静岡	28	15	25	16	1	1	1	1
愛知	20	10	41	13	3	1	0	3
三重	6	3	5	5	0	0	2	0
滋賀	6	3	6	3	1	0	0	0
京都	10	4	5	4	2	1	1	2
大阪	22	20	59	18	3	3	2	3
兵庫	30	15	33	20	1	1	1	1
奈良	6	3	6	3	0	0	0	1
和歌山	2	1	3	1	1	1	1	1
鳥取	3	2	4	2	2	0	0	0
島根	3	1	2	1	1	0	0	0
岡山	7	3	10	2	1	0	0	0
広島	11	6	13	6	2	2	1	2
山口	8	4	9	5	1	0	0	0
徳島	4	2	3	3	0	0	0	1
香川	5	3	4	3	1	0	0	1
愛媛	4	3	10	3	1	1	1	1
高知	3	3	4	3	0	0	0	1
福岡	14	7	17	8	2	2	1	3
佐賀	1	0	1	1	0	0	0	0
長崎	2	1	1	1	0	0	0	0
熊本	2	2	7	4	1	0	0	2
大分	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎	10	3	5	6	1	0	1	0
鹿児島	7	2	6	2	1	0	0	1
沖縄	1	1	1	1	0	0	0	0
計	435	254	602	264	58	31	23	51

別表12 救助活動に使用する車両等台数

(平成20年4月1日現在)

都道府県 車両等	救助 工作車	はしご車	屈折 はしご車	ポンプ車	水槽付 ポンプ車	化学車	その他	計
北海道	57	15	4	11	31	3	15	136
青森	16	5	1	8	9	1	7	47
岩手	14	3	3	3	1	0	2	26
宮城	21	14	2	12	3	2	3	57
秋田	17	6	2	4	4	1	1	35
山形	16	4	1	0	3	2	2	28
福島	23	13	0	11	13	5	3	68
茨城	37	18	4	25	44	10	20	158
栃木	20	9	0	1	0	2	2	34
群馬	15	9	2	4	4	0	1	35
埼玉	61	29	4	3	3	4	8	112
千葉	50	38	3	3	8	3	10	115
東京	33	2	0	24	23	8	0	90
神奈川	64	32	4	9	7	2	22	140
新潟	38	30	1	3	6	4	16	98
富山	17	9	1	9	7	2	1	46
石川	13	2	0	3	2	0	6	26
福井	16	9	2	1	4	0	0	32
山梨	14	1	1	10	3	3	3	35
長野	30	10	1	7	3	2	3	56
岐阜	32	15	2	17	23	8	21	118
静岡	42	12	2	3	9	2	4	74
愛知	71	30	0	8	13	4	22	148
三重	17	12	2	7	25	6	6	75
滋賀	15	3	0	5	10	3	8	44
京都	22	5	0	10	4	2	4	47
大阪	55	15	0	9	24	3	7	113
兵庫	50	8	0	3	9	3	1	74
奈良	19	7	0	0	2	0	5	33
和歌山	22	3	0	5	9	1	9	49
鳥取	6	1	0	4	3	1	0	15
島根	15	2	2	1	0	0	1	21
岡山	21	16	0	12	4	3	1	57
広島	31	19	1	4	8	0	6	69
山口	20	14	2	11	11	4	7	69
徳島	13	3	0	3	2	2	2	25
香川	13	8	1	6	3	1	3	35
愛媛	21	9	2	12	16	7	18	85
高知	14	3	0	11	9	0	23	60
福岡	45	14	0	12	11	4	5	91
佐賀	11	7	1	1	4	1	3	28
長崎	17	6	0	10	11	3	16	63
熊本	22	6	1	12	3	2	2	48
大分	14	3	2	7	8	3	2	39
宮崎	12	4	3	0	3	2	3	27
鹿児島	24	9	1	1	2	0	5	42
沖縄	16	7	1	5	19	2	16	66
計	1,232	499	59	330	423	121	325	2,989

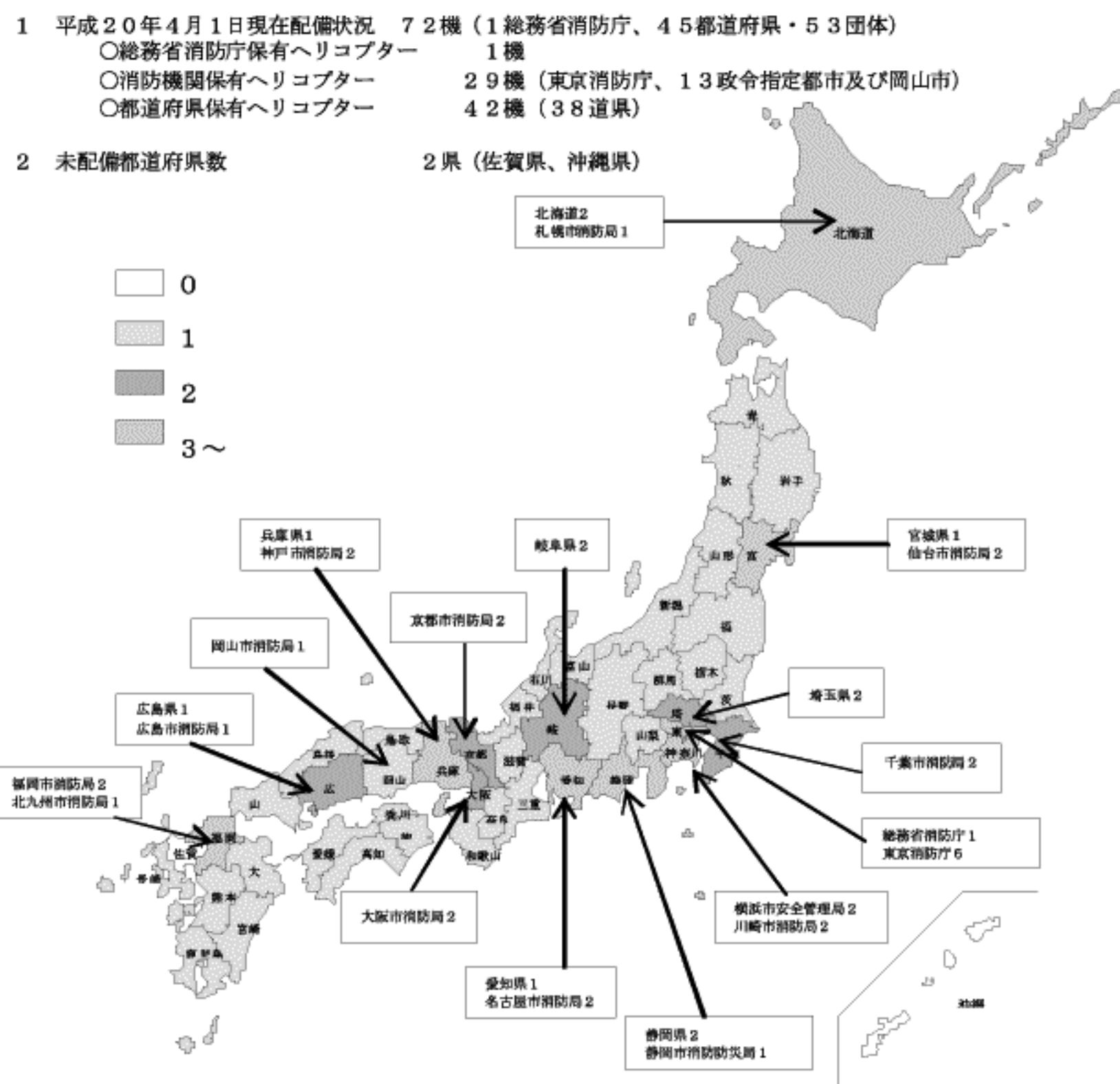
III 航 空 編

ヘリコプターによる救急・救助業務

1 消防防災ヘリコプターの保有状況

平成 20 年 4 月 1 日現在の消防防災ヘリコプターの保有状況は、総務省消防庁保有が 1 機、消防機関保有が 29 機、道県保有が 42 機の計 72 機となっており、未配備県は 2 県となっている。（別図、第 1 表参照）

別図 消防防災ヘリコプターの保有状況



第 1 表 消防防災ヘリコプター保有状況の推移

年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
区分						
総務省消防庁保有ヘリ				1	1	1
消防機関保有ヘリ	27	27	27	28	28	29
都道府県保有ヘリ	41	41	42	42	42	42
計	68	68	69	71	71	72

(注) 各年とも 4 月 1 日現在

2 消防防災ヘリコプターの災害活動状況

平成19年中の消防防災ヘリコプターの出動実績は、火災出動1,238件、救助出動1,720件、救急出動3,167件、その他の出動224件、合計6,349件となっている。(第2表、第3表参照)

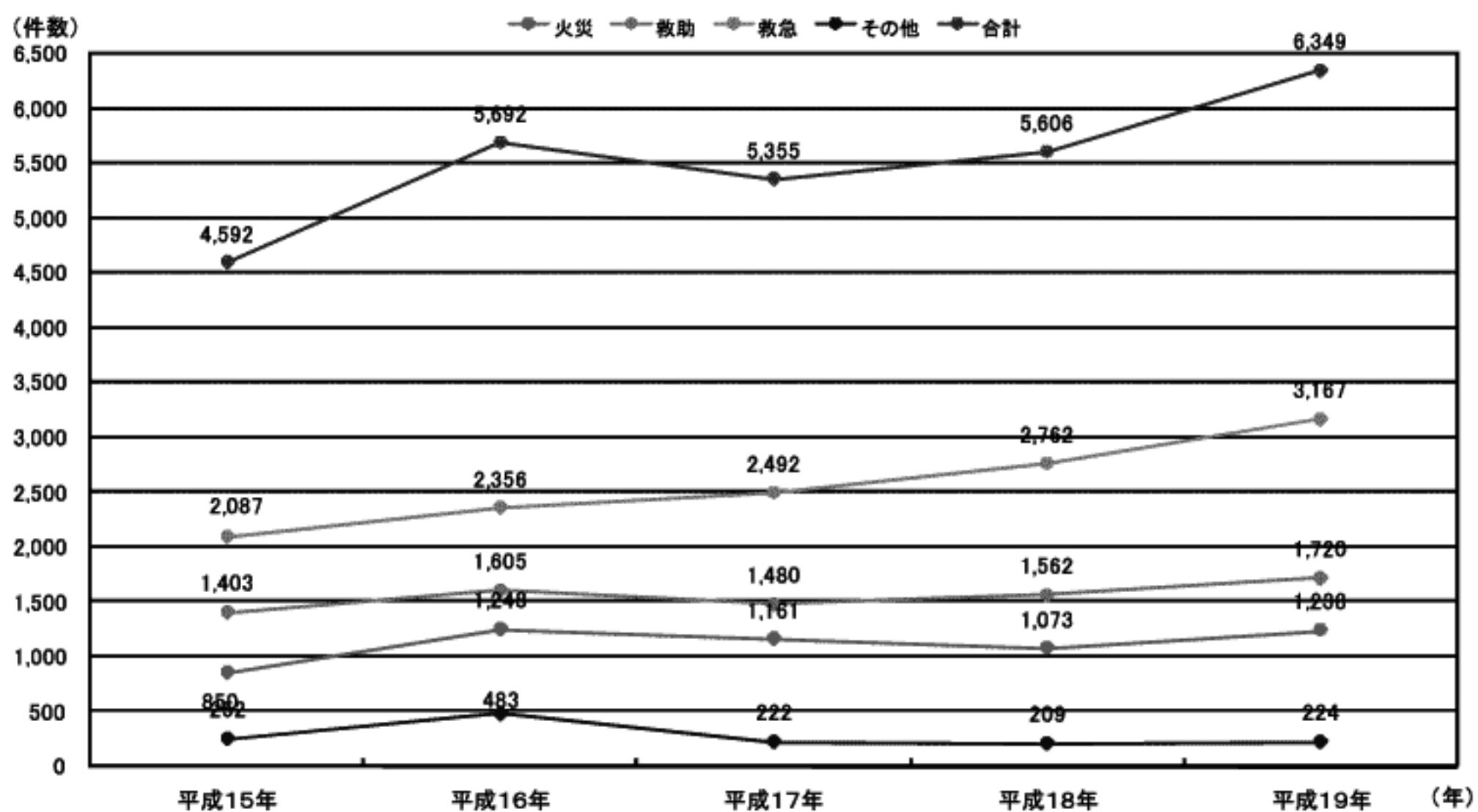
第2表 平成19年中消防防災ヘリコプター災害出動状況

区分	災害区分												計			
	火災			救助			救急			その他						
	管内	管外応援	合計	管内	管外応援	合計	管内	管外応援	合計	管内	管外応援	合計	管内	管外応援	合計	
消防ヘリ	1 札幌市消防局	27	0	27	20	1	21	195	5	200	1	0	1	243	6	249
	2 仙台市消防局	32	0	32	23	4	27	39	6	45	14	5	19	108	15	123
	3 千葉市消防局	34	0	34	4	0	4	12	1	13	12	0	12	62	1	63
	4 東京消防庁	123	0	123	79	5	84	360	0	360	2	4	6	564	9	573
	5 横浜市消防局	92	0	92	4	0	4	0	0	0	9	1	10	105	1	106
	6 川崎市消防局	40	0	40	17	4	21	3	0	3	6	1	7	66	5	71
	7 名古屋市消防局	101	1	102	24	10	34	5	0	5	3	1	4	133	12	145
	8 京都市消防局	32	3	35	30	4	34	77	20	97	0	3	3	139	30	169
	9 大阪市消防局	51	1	52	10	2	12	5	3	8	6	4	10	72	10	82
	10 神戸市消防局	144	0	144	72	0	72	51	0	51	2	0	2	269	0	269
	11 岡山市消防局	48	6	54	7	1	8	38	9	47	1	0	1	94	16	110
	12 広島市消防局	35	5	40	26	0	26	20	36	56	3	0	3	84	41	125
	13 北九州市消防局	51	2	53	2	0	2	9	1	10	6	0	6	68	3	71
	14 福岡市消防局	64	3	67	27	6	33	68	7	75	3	0	3	162	16	178
	小計	874	21	895	345	37	382	882	88	970	68	19	87	2,169	165	2,334
道県ヘリ	1 北海道	7	0	7	37	0	37	84	0	84	2	0	2	130	0	130
	2 青森県	3	0	3	51	2	53	36	0	36	0	0	0	90	2	92
	3 岩手県	5	0	5	53	0	53	29	1	30	1	0	1	88	1	89
	4 宮城県	9	1	10	22	1	23	35	3	38	4	0	4	70	5	75
	5 秋田県	2	0	2	48	3	51	30	0	30	5	0	5	85	3	88
	6 山形県	3	1	4	67	0	67	38	0	38	2	0	2	110	1	111
	7 福島県	11	4	15	54	5	59	72	3	75	2	0	2	139	12	151
	8 茨城県	7	1	8	40	1	41	49	3	52	2	0	2	98	5	103
	9 栃木県	17	0	17	29	4	33	48	7	55	1	3	4	95	14	109
	10 群馬県	4	6	10	45	2	47	46	2	48	2	0	2	97	10	107
	11 埼玉県	46	7	53	71	5	76	89	15	104	19	3	22	225	30	255
	12 新潟県	0	0	0	32	0	32	25	0	25	15	0	15	72	0	72
	13 富山県	5	0	5	44	0	44	65	0	65	2	6	8	116	6	122
	14 石川県	1	0	1	21	4	25	35	5	40	21	0	21	78	9	87
	15 福井県	3	0	3	36	2	38	35	0	35	0	0	0	74	2	76
	16 山梨県	4	1	5	47	2	49	48	3	51	0	2	2	99	8	107
	17 長野県	14	1	15	86	3	89	112	4	116	1	0	1	213	8	221
	18 岐阜県	25	0	25	55	2	57	99	2	101	6	0	6	185	4	189
	19 静岡県	5	0	5	30	0	30	21	1	22	0	0	0	56	1	57
	20 愛知県	17	0	17	63	0	63	28	0	28	0	0	0	108	0	108
	21 三重県	9	1	10	31	6	37	31	3	34	4	1	5	75	11	86
	22 滋賀県	3	3	6	28	6	34	29	5	34	0	0	0	60	14	74
	23 兵庫県	16	0	16	18	0	18	90	1	91	0	1	1	124	2	126
	24 奈良県	7	0	7	24	5	29	15	4	19	0	0	0	46	9	55
	25 和歌山県	5	1	6	29	4	33	47	6	53	0	0	0	81	11	92
	26 鳥取県	9	3	12	26	0	26	78	0	78	6	0	6	119	3	122
	27 島根県	7	0	7	8	0	8	81	0	81	3	0	3	99	0	99
	28 広島県	4	2	6	0	1	1	43	0	43	0	0	0	47	3	50
	29 山口県	11	0	11	11	1	12	24	1	25	0	0	0	46	2	48
	30 徳島県	6	0	6	12	0	12	26	0	26	1	0	1	45	0	45
	31 香川県	13	2	15	5	2	7	24	10	34	7	0	7	49	14	63
	32 愛媛県	0	0	0	8	0	8	9	5	14	1	0	1	18	5	23
	33 高知県	5	0	5	51	1	52	229	8	237	3	1	4	288	10	298
	34 長崎県	0	0	0	6	0	6	7	0	7	0	0	0	13	0	13
	35 熊本県	10	0	10	18	0	18	205	2	207	4	0	4	237	2	239
	36 大分県	9	2	11	22	1	23	29	5	34	3	0	3	63	8	71
	37 宮崎県	2	1	3	31	0	31	51	3	54	1	0	1	85	4	89
	38 鹿児島県	0	2	2	16	0	16	53	0	53	2	0	2	71	2	73
	小計	304	39	343	1,275	63	1,338	2,095	102	2,197	120	17	137	3,794	221	4,015
	合計	1,178	60	1,												

第3表 消防防災ヘリコプター災害出動状況の推移

(件)

区 分	災 害 区 分												計		
	火 灾			救 助			救 急			その 他					
	管 内	管 外 応 援	合 计	管 内	管 外 応 援	合 计	管 内	管 外 応 援	合 计	管 内	管 外 応 援	合 计	管 内	管 外 応 援	合 计
平成15年	806	44	850	1,334	69	1,403	1,894	193	2,087	214	38	252	4,248	344	4,592
平成16年	1,132	116	1,248	1,412	193	1,605	2,096	260	2,356	303	180	483	4,943	749	5,692
平成17年	1,046	115	1,161	1,379	101	1,480	2,292	200	2,492	207	15	222	4,924	431	5,355
平成18年	1,009	64	1,073	1,468	94	1,562	2,539	223	2,762	204	5	209	5,220	386	5,606
平成19年	1,178	60	1,238	1,620	100	1,720	2,977	190	3,167	188	36	224	5,963	386	6,349



3 消防防災ヘリコプターによる救急業務実施状況

(1) 救急出動件数

平成19年中の消防防災ヘリコプターの救急出動件数は、3,167件（前年比14.6%増）である。（第4表参照）

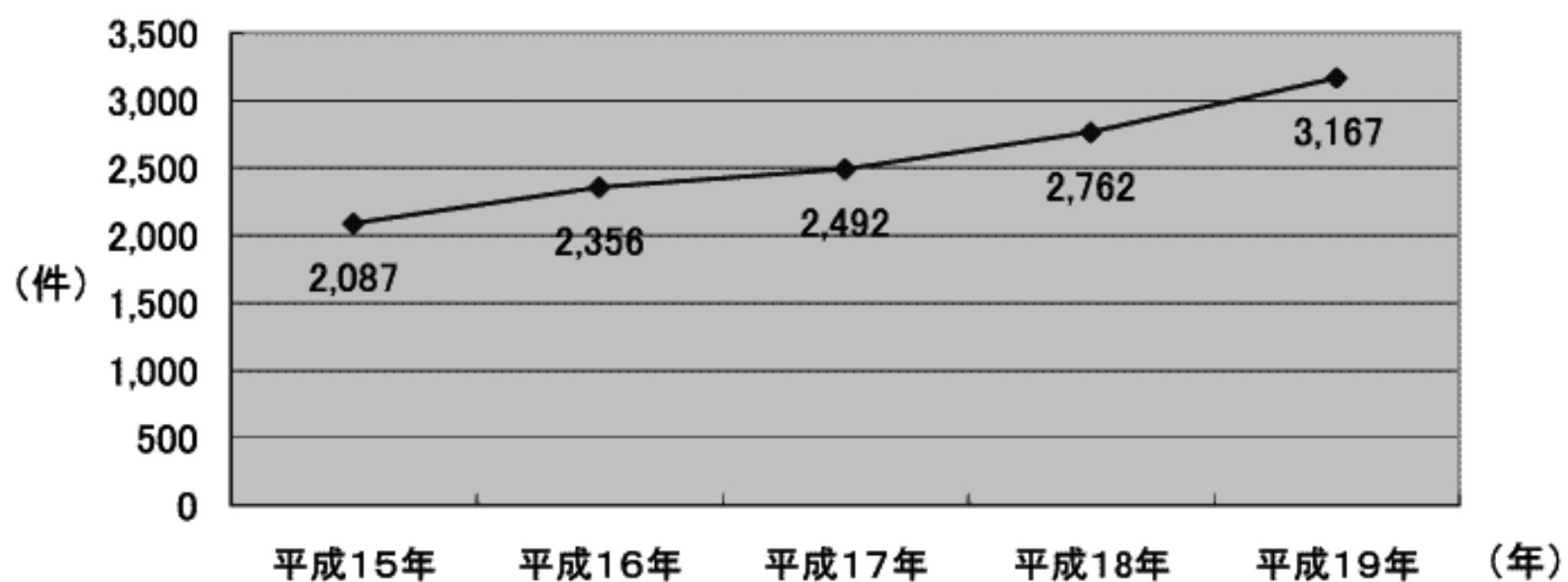
消防防災ヘリコプターによる救急業務については、平成10年3月に消防法施行令が一部改正され、ヘリコプターによる救急業務が消防法上の救急業務として明確に位置づけられた。

さらに、平成12年2月に、救急ヘリコプターの出動基準ガイドラインを示し、各都道府県はこれをもとに出動基準を作成し、それぞれの地域の実情を踏まえた実効性のあるヘリコプター救急業務実施体制の整備が進められている。

平成15年6月、消防組織法が改正され、都道府県航空消防隊が航空機（ヘリコプター等）を用いて管内市町村の消防を支援できることが法律に明記された。消防防災ヘリコプターの積極的活用により安全かつ効果的な運航の推進のため、消防防災ヘリコプターのさらなる整備推進、医療機関との連携体制の整備、離着陸場の整備推進、救急業務実施体制の充実等を図り、消防防災ヘリコプターの機動力を救急活動へ積極的に活用していく。

第4表 消防防災ヘリコプター救急出動件数の推移

年 区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
救急出動件数	2,087	2,356	2,492	2,762	3,167
対前年比割合	+0.9%	+12.9%	+5.8%	+10.8%	+14.6%



(2) 事故種別救急出動件数

消防防災ヘリコプターの事故種別救急出動件数は、第5表のとおりである。

第5表 消防防災ヘリコプター事故種別救急出動件数の推移

事故種別	平成15年中	平成16年中	平成17年中	平成18年中	平成19年中	増減数
火 災	8	12	11	14	8	-6
自然災害	3	66	6	4	5	+1
水 難	22	42	36	48	61	+13
交通事故	109	145	157	168	206	+38
労働災害	78	97	86	110	98	-12
運動競技	5	5	11	6	13	+7
一般負傷	405	479	522	545	601	+56
加 害	2	1	2	2	1	-1
自損行為	30	41	23	31	33	+2
急 病	253	254	233	258	371	+113
転院搬送	1,098	1,100	1,295	1,403	1,495	+92
その 他	74	114	110	173	275	+102
合 計	2,087	2,356	2,492	2,762	3,167	+405

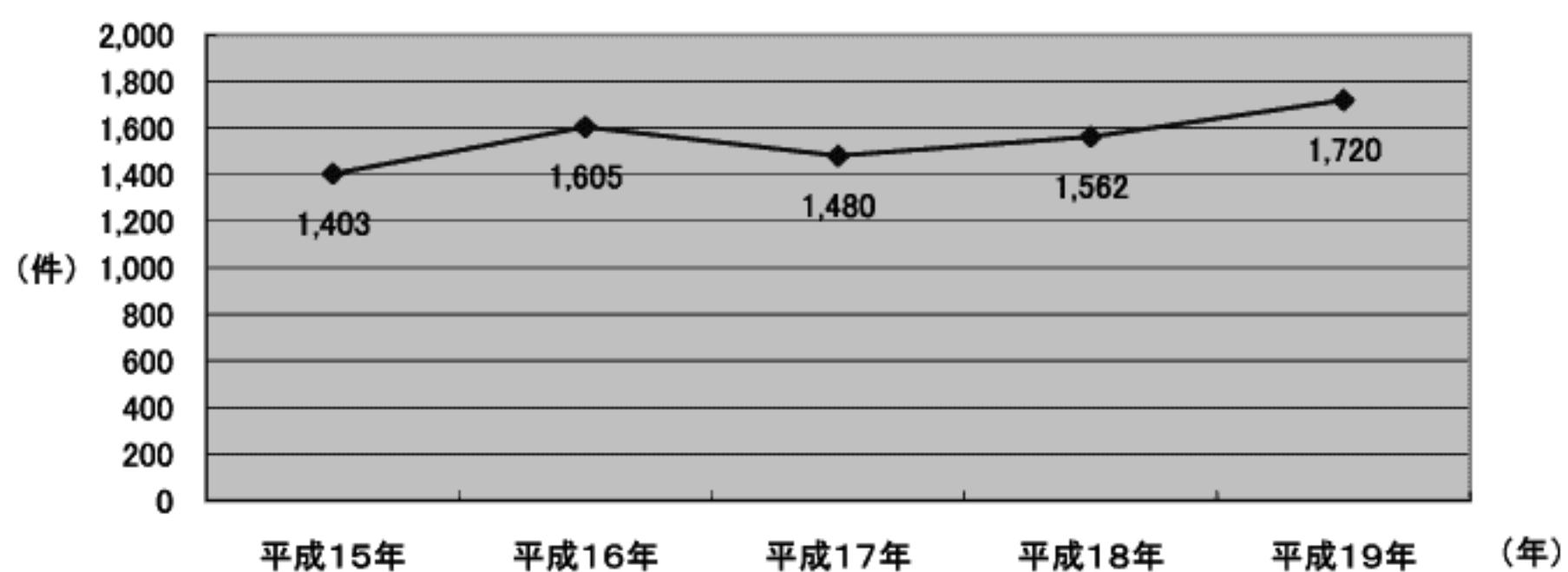
4 消防防災ヘリコプターによる救助業務実施状況

(1) 救助出動件数

平成 19 年中の消防防災ヘリコプターの救助出動件数は、1,720 件（前年比 10.1% 増）である。（第 6 表参照）

第6表 消防防災ヘリコプター救助出動件数の推移

年 区分	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
救助出動件数	1,403	1,605	1,480	1,562	1,720
対前年比割合	+7.5%	+14.4%	-7.8%	+5.5%	+10.1%



(2) 事故種別救助出動件数

消防防災ヘリコプターの事故種別救助出動件数は、第 7 表のとおりである。

第7表 消防防災ヘリコプター事故種別救助出動件数の推移

事故種別	平成 15 年中	平成 16 年中	平成 17 年中	平成 18 年中	平成 19 年中	増減数
火 災	1	2	0	0	2	+2
水 難	506	533	484	585	589	+4
自然灾害	11	114	26	20	23	+3
山 岳	649	689	689	706	839	+133
その 他	236	267	281	251	267	+16
合 計	1,403	1,605	1,480	1,562	1,720	+158